

令和5年度第1回四街道市環境審議会 次第

令和5年5月25日(木) 9時30分から
市役所新館5階 第2会議室

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 市長あいさつ

4. 諮 問

- (1) 第3次四街道市環境基本計画について

5. 議 題

- (1) 第2次四街道市環境基本計画の進捗状況評価について(報告)
- (2) 環境に関するアンケート調査の結果について(報告)
- (3) 第3次四街道市環境基本計画(骨子案)について
- (4) 今後のスケジュールについて

6. その他

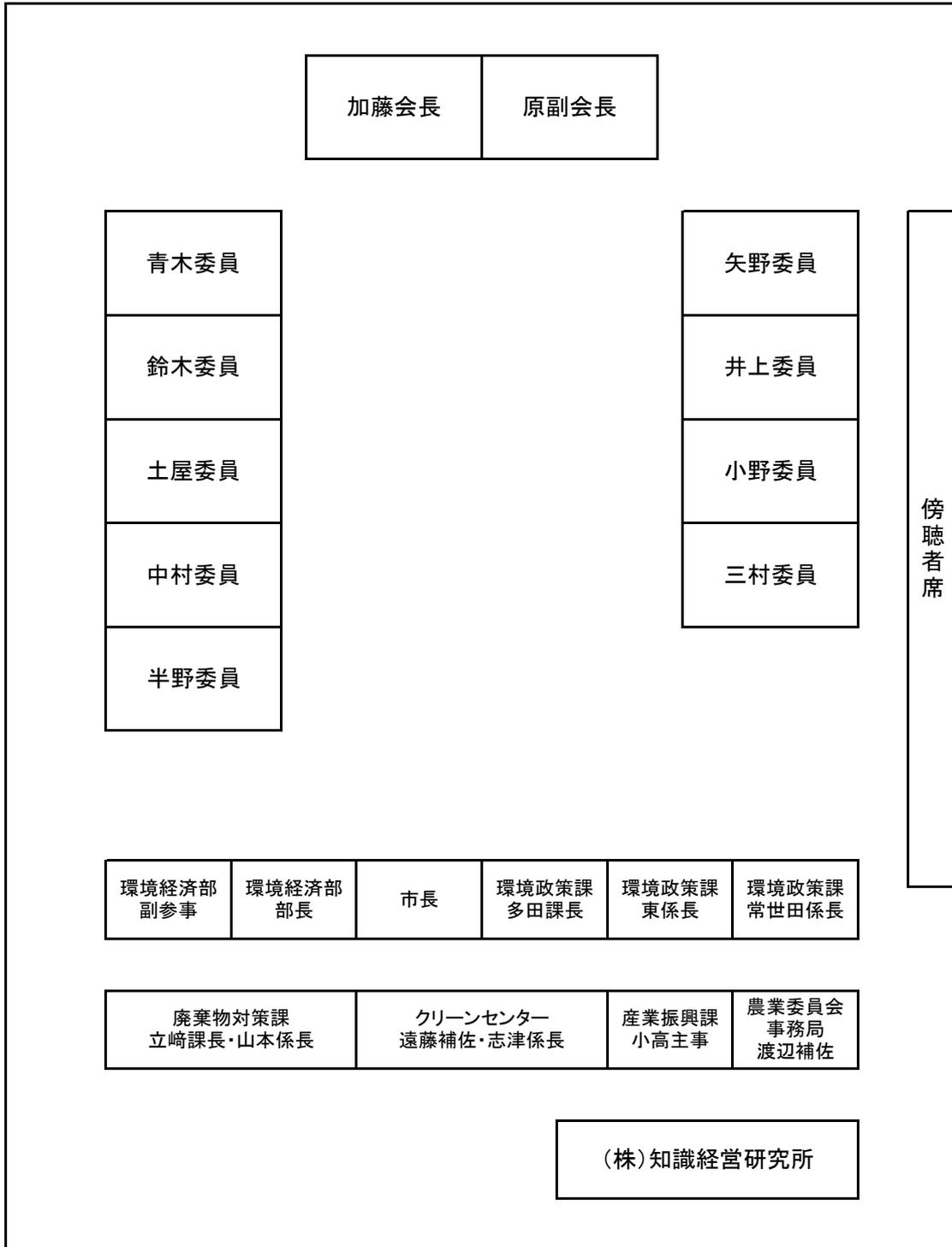
7. 閉 会

席次表

令和5年度 第1回四街道市環境審議会

日時: 令和5年5月25日(木)9時30分から

場所: 四街道市役所新館5階 第2会議室

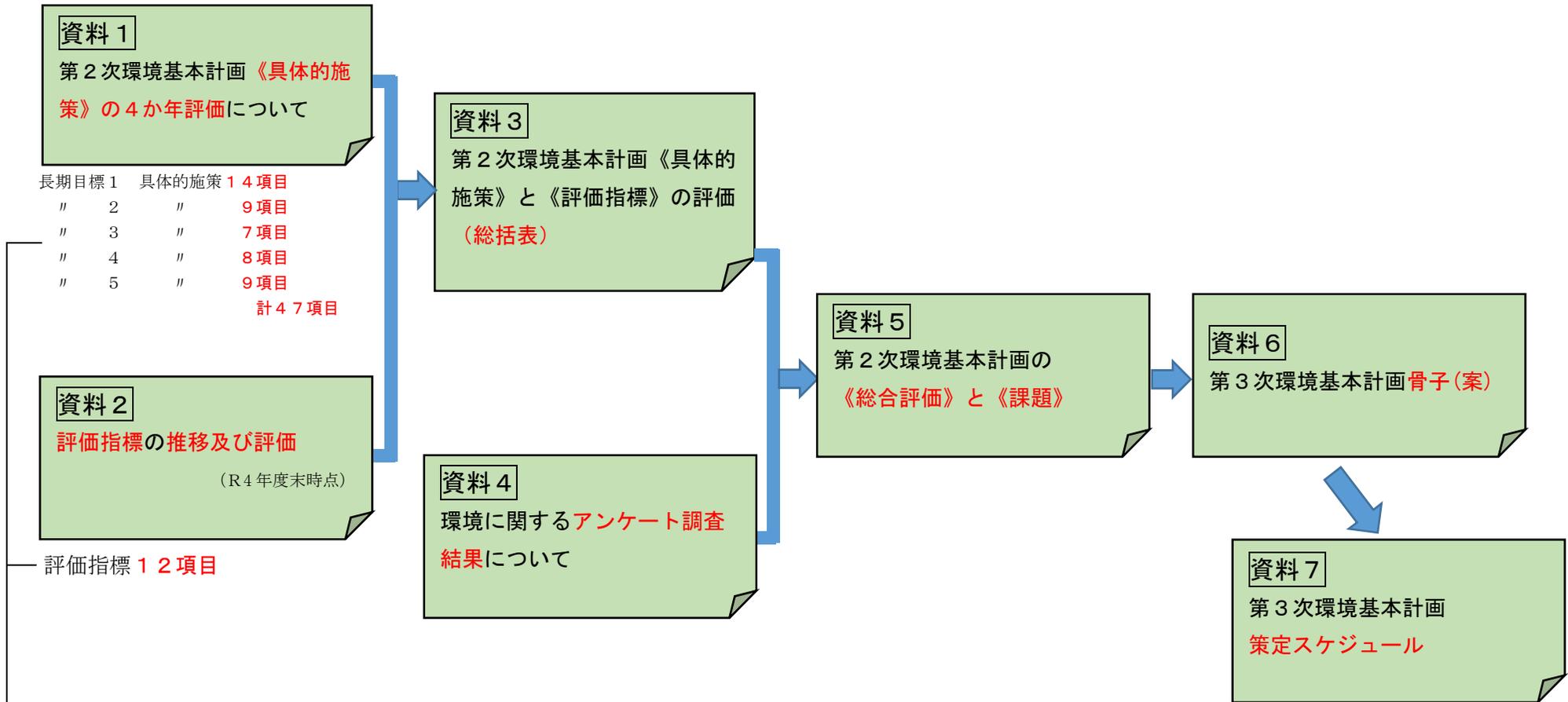


四街道市環境審議会委員名簿

任期：令和4年11月18日～令和6年11月17日

区分	氏名	職業等	備考
学識経験者	青木 秀幸	NPO法人トージバ理事	
	加藤 和彦	千葉工業大学社会システム科学部教授	
	鈴木 純子	一般財団法人千葉県環境財団	
	土屋 裕	元千葉県環境生活部	
	中村 圭三	敬愛大学名誉教授	
	濱田 昌孝	四街道市食品衛生組合長	
	原 慶太郎	東京情報大学名誉教授	
	半野 勝正	公益財団法人印旛沼環境基金	
関係行政機関	矢野 秀和	印旛地域振興事務所地域環境保全課長	
市民代表	有賀 正彦	公募委員	
	井上 尚久	公募委員	
	小野 利恵	公募委員	
	松川 由次	公募委員	
	三村 幸弘	公募委員	

〈第3次環境基本計画策定〉について 資料構成



第2次環境基本計画の体系 (イメージ)

長期目標 1	安心安全・生活環境分野	---	施策の基本方針	○生活環境の保全対策	---	具体的施策	a 大気汚染の防止	評価指標 (数値目標)
2	循環型社会分野			・			b 水質汚濁の防止	高度処理型合併処理浄化槽補助件数
3	低炭素社会分野			・			・	・
4	自然分野			・			・	・
5	環境教育・行動分野			・			・	・

第2次環境基本計画《具体的施策》の4か年評価

第2次環境基本計画について、中間見直し後である令和元年度から4年度までの4か年における各施策の進捗状況をまとめました。なお、各欄の評価基準は次のとおりです。

各年度の評価基準	4か年評価の基準
「○」…実施した 「△」…一部のみ実施 「×」…実施なし	<p>具体的施策において、各年度を点数化（○2点、△1点、×0点）し、合計点を「施策の内容」事業数で除して得られた得点が、0～2.6点→「×」、2.6超～5.4点→「△」、5.4超～8.0点→「○」。</p> <p>例：具体的施策において、「施策の内容」事業数が2つあり、1つは4か年で○、○、○、△もう1つが4か年で△、△、×、×だった場合、合計点9点。事業数2で除すと4.5点となり、4か年評価は「△」。</p>

長期目標1. 安全安心・生活環境分野「健やかに安心して暮らせるまち」

【1 - ① 生活環境の保全対策（計画書P.30）】

具体的施策	施策の内容	各年度の評価				4か年評価
		R1	R2	R3	R4	
a. 大気汚染の防止	大気汚染状況の監視の継続	○ (NOx：達成) (Ox：未達成) (SPM：達成) (PM2.5：達成) (DXN：達成)	○ (NOx：達成) (Ox：未達成) (SPM：達成) (PM2.5：達成) (DXN：達成)	○ (NOx：達成) (Ox：未達成) (SPM：達成) (PM2.5：達成) (DXN：達成)	○ (NOx：達成) (Ox：未達成) (SPM：達成) (PM2.5：達成) (DXN：達成)	○ (8点)
	野焼き監視パトロールの実施	○	○	○	○	
b. 水質汚濁の防止	県や周辺自治体と連携した水質汚濁の監視・測定体制の拡充	○ (BOD：達成)	○ (達成)	○ (達成)	○ (達成)	○ (8点)
	工場・事業場に対し汚濁物質削減への協力要請	○	○	○	○	
	公共下水道への接続の促進及び啓発	○	○	○	○	
c. 航空機騒音への対応	高度処理型合併処理浄化槽の設置補助の推進と維持管理の促進	○ (設置補助：5件)	○ (5件)	○ (1件)	○ (1件)	○ (8点)
	羽田空港再拡張事業に伴う航空機騒音について、千葉県、関係自治体と連携した国へ対する騒音軽減に向けた対策の要望	○	○	○	○	
d. 自動車利用の抑制	マイカーの利用抑制の呼びかけの実施	○	○	○	○	○ (8点)
e. 身近な生活環境問題への対策	騒音、振動、悪臭、野焼き等の身近な生活環境の保全対策の推進	○	○	○	○	○ (8点)
	不法ヤード対策を強化するため、千葉県、警察など関係機関との連絡体制や地域と連携した監視体制の整備	○	○	○	○	

【1 - ② 美しく快適なまちづくりの推進（計画書 P.32）】

具体的施策	施策の内容	各年度の評価				4か年評価
		R1	R2	R3	R4	
a. 公園・緑地の整備	都市公園の確保・整備の継続	○ (確保:2か所)	○ (2か所)	○ (3か所)	○ (14か所)	○ (8点)
	社寺林・屋敷林の保全	○	○	○	○	
b. 公共施設や住居、工場・事業所等の緑化促進	公共施設の緑化（グリーンカーテンなど）の推進	○	○	○	○	○ (8点)
	自治会等の団体との協働による公園の維持・管理の推進	○	○	○	○	
c. 街路樹の整備	街路樹の維持・管理の推進	○	○	○	○	○ (8点)
	四街道駅前大日線の松並木通り等の維持管理	○	○	○	○	
d. 保存樹木、保存樹林指定制度の活用	古木や巨木等を保存樹木に指定し、樹木等の保存管理への補助の実施	○	○	○	○	○ (8点)
e. 親水性と田園環境に配慮した水辺空間の創出	河川、水路等の整備に伴う生態系に配慮した市民に親しまれる良好な水辺空間の創出	△ (清掃活動のみ)	△ (清掃活動のみ)	△ (清掃活動のみ)	△ (清掃活動のみ)	△ (4点)
f. 違法駐輪対策の推進	違法駐輪の発生防止についての市民への啓発	○	○	○	○	○ (8点)
	放置自転車の撤去の推進	○	○	○	○	
g. 良好な住宅・住環境の整備	違反建築物に対するパトロールの強化、市営住宅の改修工事の促進	○ (パトロール:12回)	○ (11回)	○ (12回)	○ (13回)	○ (8点)
	増加傾向にある空き家の実態調査の実施及び空き家の効果的な対策の検討	○	○	○	○	

【1 - ③ 暮らしやすさの向上（計画書 P.34）】

具体的施策	施策の内容	各年度の評価				4か年評価
		R1	R2	R3	R4	
a. 道路網の整備と安全対策の推進	一般市道（生活道路）の整備・充実	○	○	○	○	○ (8点)
	都市計画道路等の整備	○	○	○	○	
	道路の不法占用、沿道樹木の張り出しによる交通障害物対策の実施	○	○	○	○	
	交通環境を向上させるため、歩道のバリアフリー化や交通安全施設の整備の推進	○	○	○	○	
b. 排水対策の推進	道路冠水や住宅浸水を改善するための雨水管、雨水貯留施設、道路側溝の新設と改修工事の実施	○	○	○	○	○ (8点)

長期目標2. 循環型社会分野「循環型社会の実現に向けた仕組みづくりを実践するまち」

【2 - ① 3Rの推進（計画書P.36）】

具体的施策	施策の内容	各年度の評価				4か年評価
		R1	R2	R3	R4	
a. 不用品の交換情報の提供	市役所での掲示や市政だよりによる不用品の交換情報の提供	○ (交換成立：43件)	○ (60件)	○ (14件)	○ (7件)	○ (8点)
b. エコショップの認定	「エコショップよつかいどう」認定事業の継続・推進	○ (認定：6店舗)	○ (6店舗)	○ (6店舗)	○ (6店舗)	○ (8点)
c. 資源物回収活動の推進	雑紙、植栽剪定枝、廃食用油、小型電子機器のリサイクルの推進	○	○	○	○	△ (5.3点)
	自治会や子ども会など資源物回収団体への支援	○ (団体数：65)	○ (63)	○ (61)	○ (63)	
	家具類等を引き取り、補修、販売を行うリユースの拠点施設整備の検討	×	×	×	×	
d. リサイクル処理の最適化とごみの分別と収集の検討	リサイクル処理の最適化の検討	○	○	○	○	○ (8点)
	新たな分別方法による収集の検討	○	○	○	○	
e. ごみの出し方やリサイクルに関するルール徹底	市政だより掲載の「クルちゃんのごみの話」による啓発の継続	○	○	○	○	○ (8点)
	自治会との協働によるごみの出し方のルール遵守の徹底	○	○	○	○	
	講習会や出前講座によるリサイクルに関する市民への啓発	○ (講習会等：3回)	○ (3回)	○ (3回)	○ (6回)	
f. ごみに関する意識の高揚	3Rの推進を目的とした資源物集団回収の実施を通じた市民意識の向上促進	○ (回収量：878t)	○ (783t)	○ (783t)	○ (744t)	○ (8点)

【2 - ② ごみの適正処理の推進（計画書 P.40）】

具体的施策	施策の内容	各年度の評価				4か年 評価
		R1	R2	R3	R4	
a. 焼却ごみ量の削減	古紙類（新聞、雑紙、ダンボール、雑誌、紙パック）・繊維類の分別収集の徹底等、市民への可燃ごみ削減方法の啓発	○	○	○	○	○ (8点)
	紙類の分別を促進するなど事業系ごみの減量化の推進	○	○	○	○	
b. ごみ処理施設の維持管理	クリーンセンターの定期的な点検・整備及び老朽化した設備の修繕等の実施	○	○	○	○	○ (8点)
c. 不法投棄の防止と不法投棄された廃棄物の適切な処理	不法投棄防止看板の設置と広報の継続	○	○	○	○	○ (8点)
	環境保全指導員や不法投棄等監視員による市内パトロールの実施	○ (パトロール: 週4日)	○ (週4日)	○ (週4日)	○ (週4日)	
	不法投棄された廃棄物の速やかな撤去の実施	○	○	○	○	
	一般ごみの集積所での不法投棄廃棄物へのラベルによる警告の実施	○	○	○	○	

長期目標 3. 低炭素社会分野「次世代に引き継ぐ低炭素社会の実現に貢献できるまち」

【3 - ① 省エネルギーの推進（計画書 P.42）】

具体的施策	施策の内容	各年度の評価				4か年評価
		R1	R2	R3	R4	
a. 省エネルギー建築の推進	断熱材使用やLED等の省エネルギー設備を導入した省エネルギー型建築の普及促進	○	○	○	○	○ (8点)
b. 省エネルギー設備の導入促進	公共施設への太陽光発電の導入の推進	○	○	○	○	○ (8点)
	住宅用省エネルギー設備設置費補助金等の継続	○ (補助金：48件)	○ (50件)	○ (48件)	○ (89件)	
c. 省エネルギー行動の普及	節電行動の普及啓発	○	○	○	○	○ (8点)
	公共施設における省エネルギー行動の実施	○	○	○	○	

【3 - ② 温室効果ガス排出量の削減（計画書 P.44）】

具体的施策	施策の内容	各年度の評価				4か年評価
		R1	R2	R3	R4	
a. 環境家計簿の普及	環境家計簿による省エネルギー行動の普及	○	○	○	○	○ (8点)
b. 身近な再生可能エネルギー資源の有効利用	太陽光発電以外の再生可能エネルギーの導入可能性の検討	×	×	×	×	× (0点)
	学校給食等から回収した廃食油を利用したバイオ燃料の精製の検討	×	×	×	×	
c. 上手な自動車利用の促進	マイカーの利用抑制の呼びかけ	○	○	○	○	○ (8点)
	市の公用車購入要領に基づく低燃費車等のエコカー導入	○	○	○	○	
d. 公共交通の利用促進と充実	バス、鉄道等公共交通の利用促進に向けた情報提供の充実	○	○	○	○	○ (8点)
	関係機関との協議による市内バス路線の再編成等利便性向上への取組の推進	○	○	○	○	

長期目標 4. 自然分野「思いやりの心が育まれる自然豊かなまち」

【4 - ① 自然とのふれあいの推進（計画書 P.46）】

具体的施策	施策の内容	各年度の評価				4か年 評価
		R1	R2	R3	R4	
a. 自然とふれあう機会の充実	「花と緑の基金」をはじめとする緑化推進体制の強化による一般家庭や公園等の身近なみどりの整備の推進	○	○	○	○	○ (8点)
	NPO等との連携による里山、谷津田、社寺林、屋敷林、公園など市内の自然を利用した自然観察会等市民が自然にふれあえる機会づくりの推進	○	○	○	○	
b. 環境観察モデル地区の活用	観察モデル地区を指定し、緑地や里山、湧水等の市民の学習の場としての活用	△ (自然観察地のみ)	△ (自然観察地のみ)	△ (自然観察地のみ)	△ (自然観察地のみ)	△ (4点)
c. 農林業とのふれあいの促進	市民農園の利用促進	○ (利用：166件)	○ (173件)	○ (172件)	○ (173件)	○ (8点)
	市民農林業大学を通じて農林業とのふれあいの場の提供	○ (講座：3回)	○ (3回)	○ (3回)	○ (3回)	

【4 - ② 生物多様性の保全（計画書 P.48）】

具体的施策	施策の内容	各年度の評価				4か年 評価	
		R1	R2	R3	R4		
a. 森林・里山・農地の保全	市内に残る森林、里山、農地所有者との調整や支援の検討	○	○	○	○	○ (8点)	
	水源の保全、不法投棄や耕作放棄地への有効な対策の検討	○	○	○	○		
	市民との協働による栗山地区での里山の保全、自然景観の保持、自然と触れ合う憩いの場の創出などの総合的・一体的整備の実施	○	○	○	○		
	土砂等の埋立て等による土壌汚染を防止するための監視パトロールの実施	○	○	○	○		
b. 水とみどりのネットワーク化	森林、谷津田、里山、水辺と公園、街路樹等をつなぐ水とみどりのネットワークの構築	×	×	×	×	×	× (0点)
c. 自然環境調査の実施	市全域の動植物を対象とした自然環境調査の実施	×	×	×	×	×	× (0点)
d. 森林・農地所有者への支援	農業振興地域整備計画に基づく総合的な農業の振興	○	○	○	○	○ (8点)	
	耕作放棄地の再生利用の推進	○	○	○	○		
	環境にやさしい農業経営者（エコファーマー）への支援	○	○	○	○		
	認定農業者の育成支援の促進	○	○	○	○		
	ファーマーズマーケットや朝市の開催、市内で採れた地場産の食材を利用した学校給食やレストラン等多様な販売先の開拓による地産地消の促進	○ (講座：7回)	○ (5回)	○ (5回)	○ (6回)		
	四街道市森林整備計画に基づく、森林所有者による下草刈りなど森林整備への支援の実施	○ (助成：1人)	○ (1人)	○ (2人)	○ (4人)		
e. 外来生物対策	外来生物に対する情報提供	○	○	○	○	○ (8点)	

長期目標 5. 環境教育・行動分野「みんなで環境づくりに取り組むまち」

【5 - ① 環境情報の提供（計画書 P.52）】

具体的施策	施策の内容	各年度の評価				4か年評価
		R1	R2	R3	R4	
a. 環境情報の定期的発信	環境白書や市政だより等による最新の環境情報や環境基本計画に基づく施策の実施状況についての情報公開	○	○	○	○	○ (8点)
b. 多様なツールによる情報発信	市政だよりやホームページによる環境情報発信の充実	○	○	○	○	△ (5点)
	ソーシャルネットワーキングサービス等を利用した新たな情報発信ツールの活用	×	×	×	○	

【5 - ② 環境保全活動の推進（計画書 P.54）】

具体的施策	施策の内容	各年度の評価				4か年評価
		R1	R2	R3	R4	
a. 市民やNPOの自発的な活動のサポート	環境保全活動への市民参加機会の充実を図るための「市民提案手続き」の利用促進	○ (年2回)	○ (年2回)	○ (年2回)	○ (年2回)	○ (7点)
	「みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）」による市民自らが企画し実施する環境保全活動の支援	○	×	○	○	
b. 広域的連携の推進	印旛沼流域環境・体験フェアや手繰川河川清掃活動など周辺自治体や千葉県及び市民と協働した環境保全活動の実施	○	○	○	○	○ (8点)
c. 美しいまちづくりの推進	環境美化運動や地域清掃活動、ポイ捨て防止及びごみゼロ運動の推進	○	○	○	○	○ (8点)
d. 交流の場としての機能の充実	公民館等公共施設を活用した市民の活動の場の提供	○	○	○	○	○ (8点)
e. 交流のための組織の充実	市民・市民団体、事業者、市の交流のための組織の拡充と協働の促進	△	△	△	△	△ (4点)

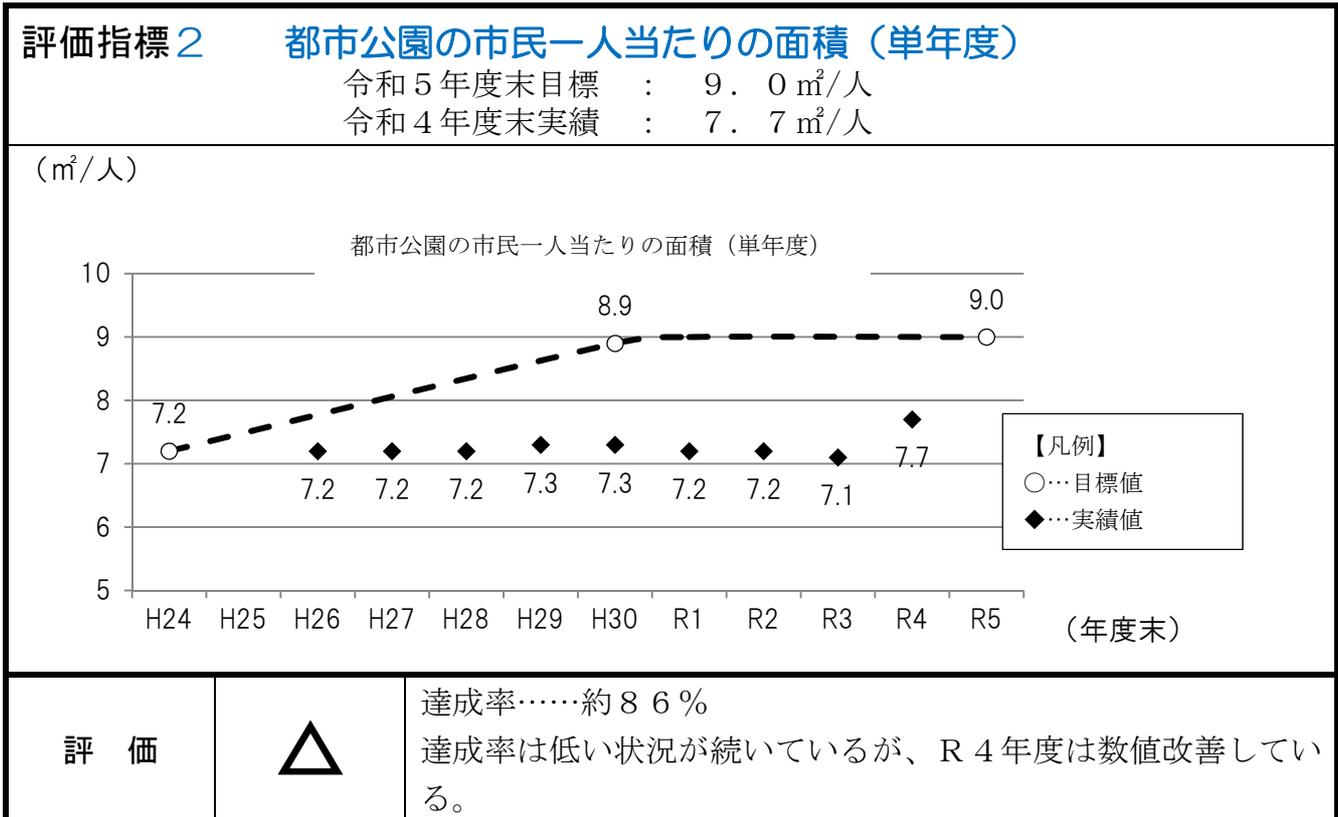
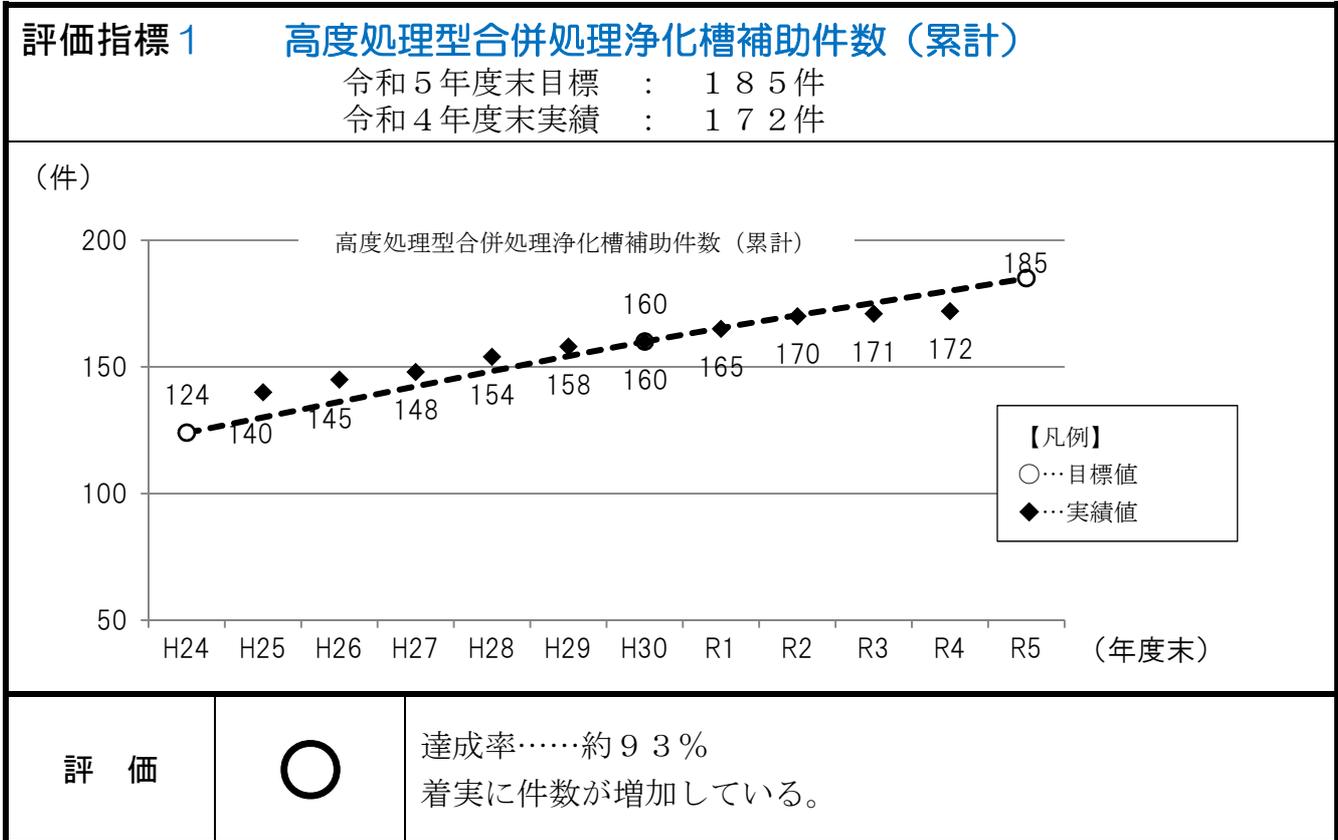
【5 - ③ 環境教育・環境学習の推進（計画書 P.56）】

具体的施策	施策の内容	各年度の評価				4か年 評価
		R1	R2	R3	R4	
a. 環境教育・ 環境学習プ ログラムづ くり	市民団体やNPO等と連携し た環境教育・学習体制の確 立	○	× (ｺｯﾁで中止)	× (ｺｯﾁで中止)	○	○ (7点)
	環境家計簿を利用した省 エネルギーに関する教育・ 学習の実施	○	○	○	○	
	学校教育や生涯学習など に活用できる環境学習プ ログラムの作成	○	○	○	○	
	「学校支援地域本部事業」 の中で学校支援コーデ イナーや地域コーデ イナーの配置による環 境教育の充実や市内小中 学校を開放した社会教育 の場の提供	○	○	○	○	
b. 地域文化の 保存・継承と 郷土学習の 充実	学校との連携による地域 文化の保存活動の推進	○	○	○	○	○ (8点)
	学校における郷土学習の 推進（副読本「わたしたち の四街道」を利用した学 習、歴史民俗資料室を利用 した学習等）や市民向け講 座での郷土資料の普及	○	○	○	○	

各評価指標の評価基準は次のとおりです。

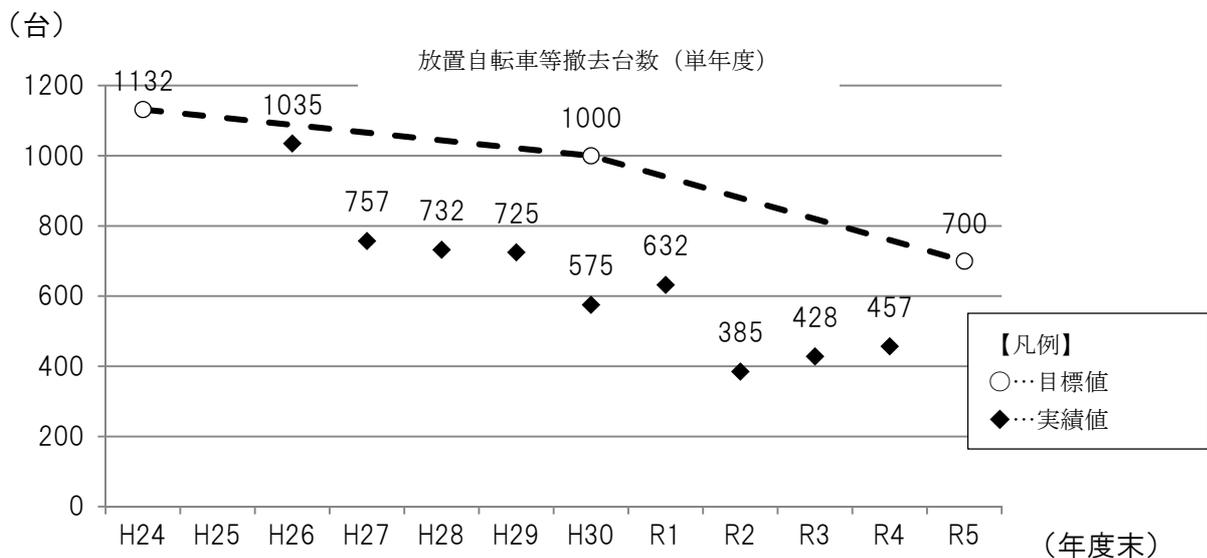
評価基準	
「○」	達成率90%以上
「△」	90%未満だが数値改善
「×」	90%未満かつ数値後退

※達成率の計算方法：【 R4 実績/R5 目標×100 】



評価指標3 放置自転車等撤去台数（単年度）

令和5年度末目標 : 700台
 令和4年度末実績 : 457台



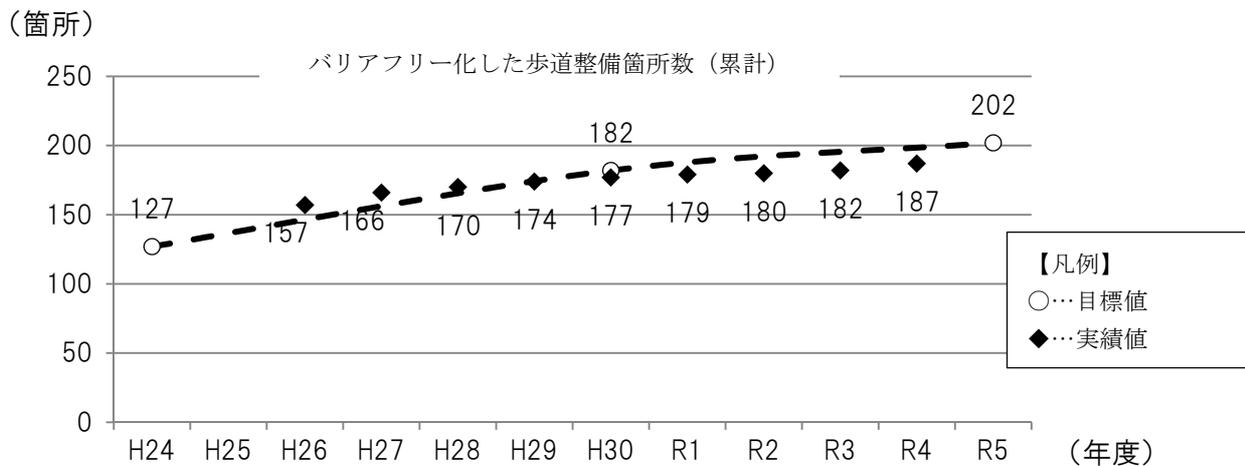
評価



数値目標を達成している。

評価指標4 バリアフリー化した歩道整備箇所数（累計）

令和5年度末目標 : 202箇所
 令和4年度末実績 : 187箇所



評価

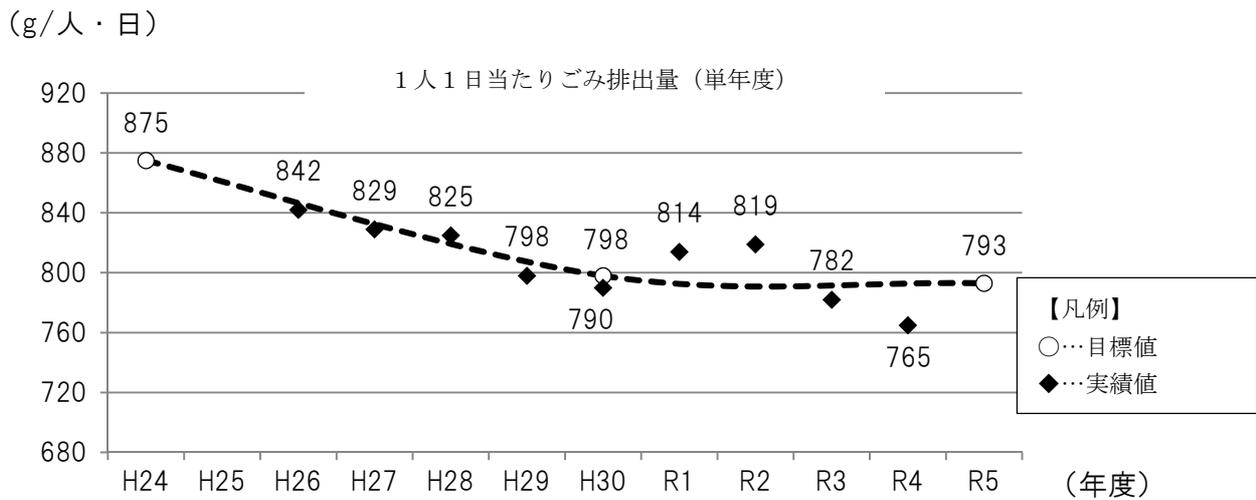


達成率……約93%
 着実に箇所数が増加している。

評価指標5 1人1日当たりごみ排出量（単年度）

令和5年度末目標 : 793g/人・日

令和4年度末実績 : 765g/人・日



評価

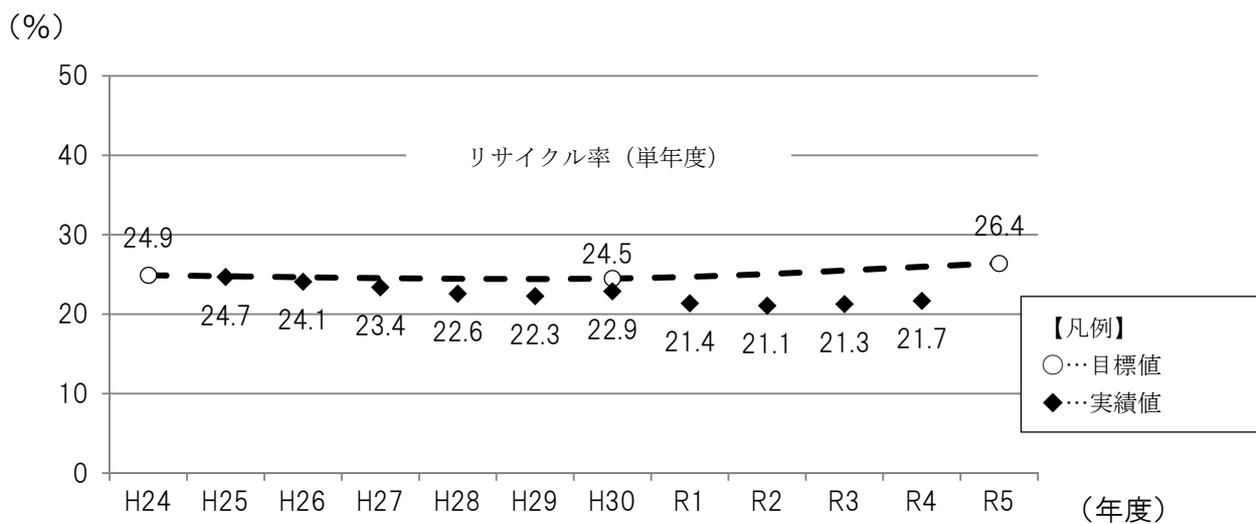


数値目標を達成している。

評価指標6 リサイクル率（単年度）

令和5年度末目標 : 26.4%

令和4年度末実績 : 21.7%



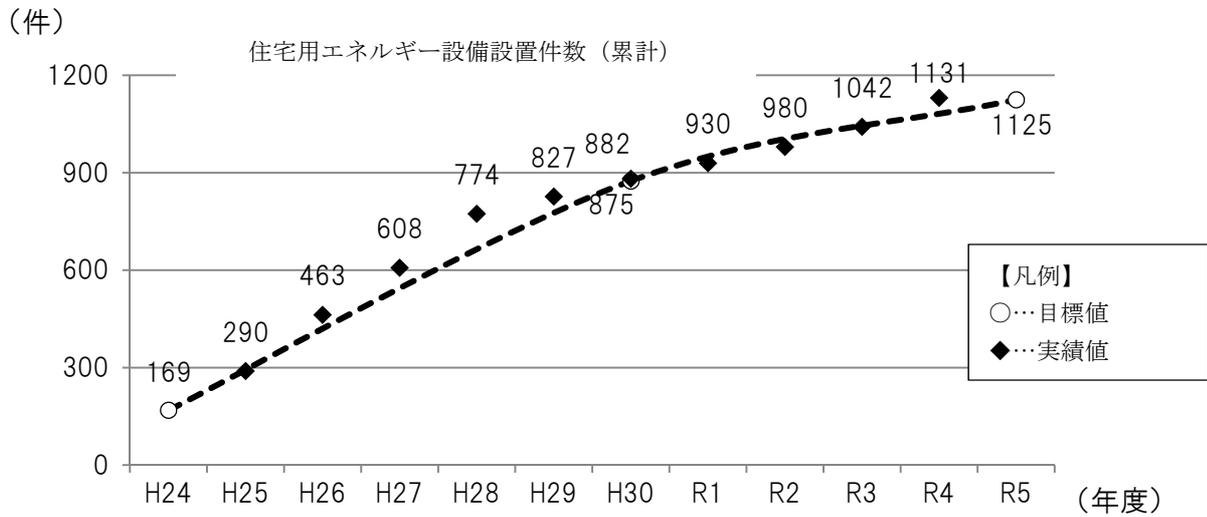
評価



達成率……約82%
目標達成には相当困難な状況となっている。

評価指標7 住宅用省エネルギー設備等設置件数（累計）

令和5年度末目標 : 1,125件
 令和4年度末実績 : 1,131件



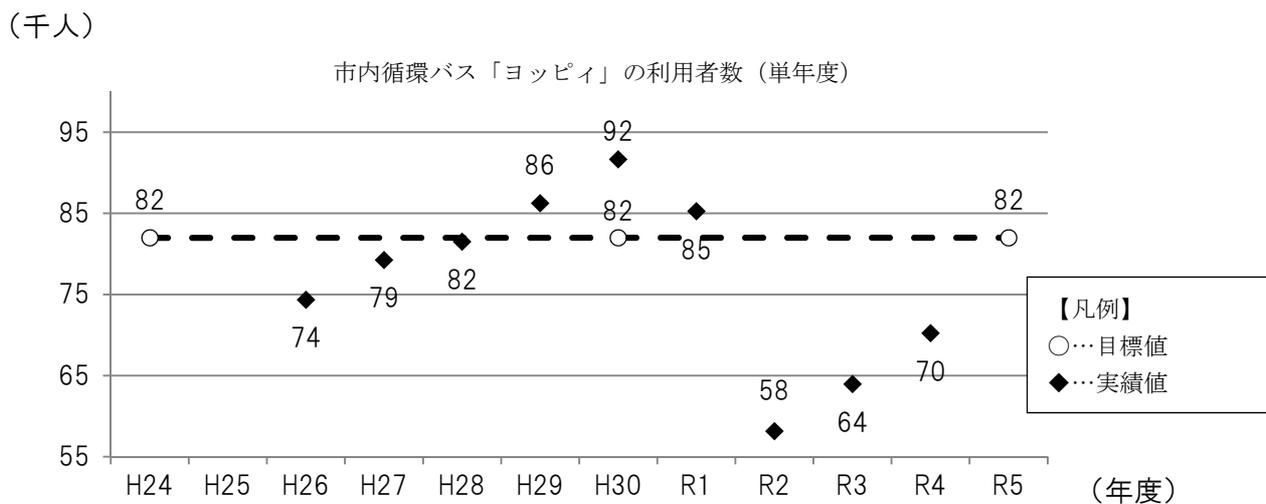
評価



数値目標を達成している。

評価指標8 市内循環バス「ヨッピー」の利用者数（単年度）

令和5年度末目標 : 82,000人
 令和4年度末実績 : 70,260人



評価

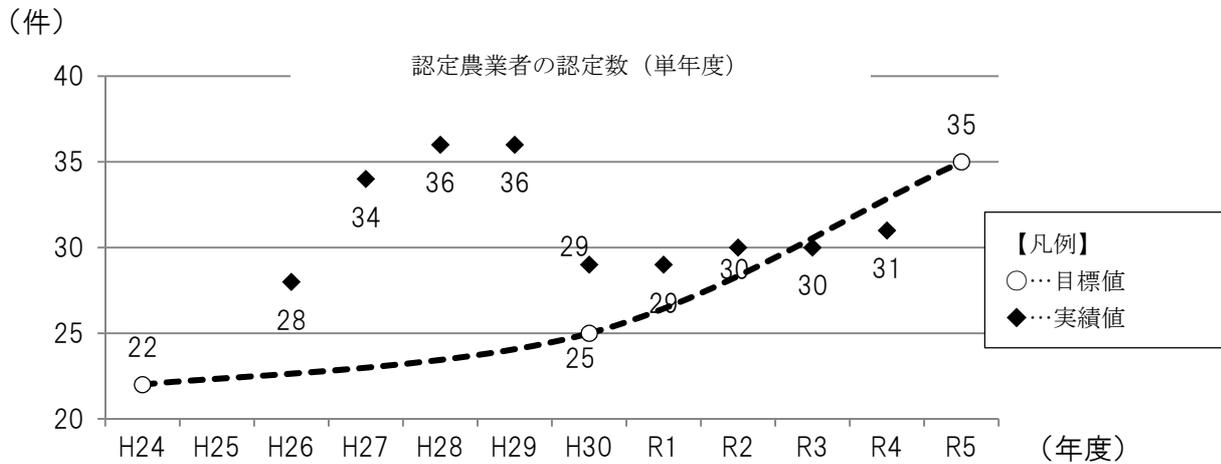


達成率……約86%

R2年度からは新型コロナウイルスの影響により利用人数が減少していると推測されるが、改善傾向にある。

評価指標 9 認定農業者の認定数（単年度）

令和5年度末目標 : 35件
 令和4年度末実績 : 31件



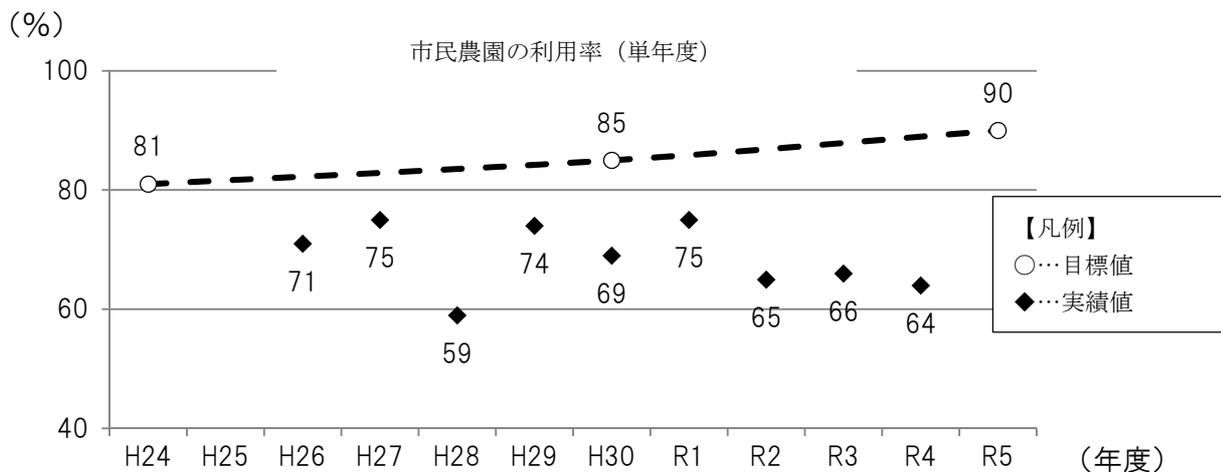
評価



達成率……約89%
 直近5か年の実績は微増となっている。

評価指標 10 市民農園の利用率（単年度）

令和5年度末目標 : 90%
 令和4年度末実績 : 64%



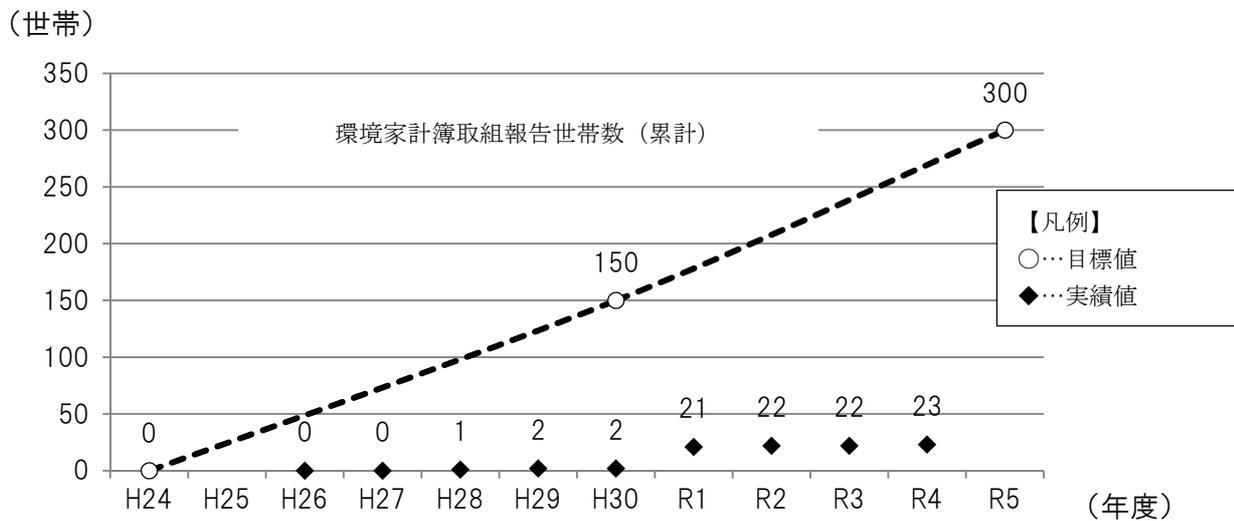
評価



達成率……約71%
 目標達成には相当困難な状況となっており、数値も後退している。

評価指標 1 1 環境家計簿取組報告世帯数（累計）

令和 5 年度末目標 : 300 世帯
 令和 4 年度末実績 : 23 世帯



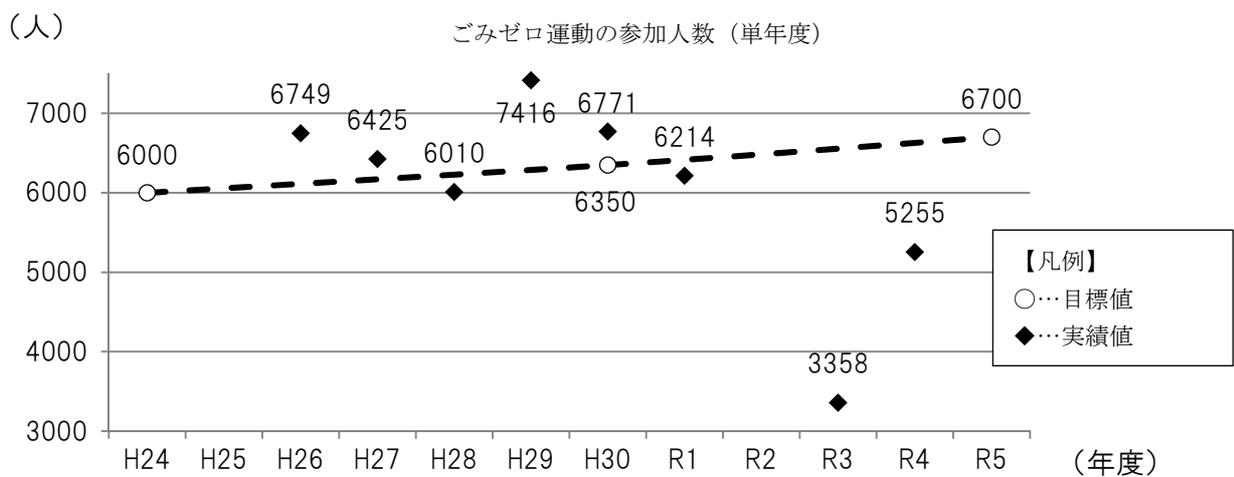
評価



達成率……約 8 %
 数値目標と実績に乖離があり、伸び悩んでいる。

評価指標 1 2 ごみゼロ運動の参加人数（単年度）

令和 5 年度末目標 : 6,700 人
 令和 4 年度末実績 : 5,255 人



評価



達成率……約 78 %
 R3・R4年度は新型コロナウイルスの影響により参加人数が減少していると推測される。R4年度は数値改善傾向にある。

第2次環境基本計画《具体的施策》と《評価指標》の評価（総括表）

長期目標	施策の基本方針	具体的施策	施策評価	評価指標	基準 H25年度始	現状 R4年度末	数値目標 R5年度末	指標 評価			
1. 健やかに安心して暮らせるまち	①生活環境の保全対策	a. 大気汚染の防止	○	→	高度処理型合併処理浄化槽補助件数（累計）（単位：人）	124	172	185	○		
		b. 水質汚濁の防止	○								
		c. 航空機騒音への対応	○								
		d. 自動車利用の抑制	○								
		e. 身近な生活環境問題への対策	○		都市公園の市民一人当たりの面積（累計）（㎡/人）	7.2	7.7	9.0	△		
	a. 公園・緑地の整備	○									
	b. 公共施設や住居、工場・事業所等の緑化促進	○									
	②美しく快適なまちづくりの推進	c. 街路樹の整備	○		→	放置自転車等撤去台数（単年度）（台）	1,132	457	700	○	
		d. 保存樹木、保存樹林指定制度の活用	○								
		e. 親水性と田園環境に配慮した水辺空間の創出	△								
		f. 違法駐輪対策の推進	○			バリアフリー化した歩道整備箇所数（累計）（箇所）	127	187	202	○	
		g. 良好な住宅・住環境の整備	○								
		a. 道路網の整備と安全対策の推進	○								
		b. 排水対策の推進	○								
	③暮らしやすさの向上	a. 不用品の交換情報の提供	○		→	1人1日当たりごみ排出量（単年度）（g/人・日）	875	765	793	○	
b. エコショップの認定		○									
c. 資源物回収活動の推進		△	リサイクル率（単年度）（%）	24.9		21.7	26.4	△			
d. リサイクル処理の最適化とごみの分別と収集の検討		○									
e. ごみの出し方やリサイクルに関するルール徹底		○	住宅用省エネルギー設備等設置件数（累計）（件）	169		1,131	1,125	○			
f. ごみに関する意識の高揚		○									
a. 焼却ごみ量の削減		○	市内循環バス「ヨッピー」の利用者数（単年度）（人）※R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により減少しているものと推測	81,988		70,260	82,000	△			
b. ごみ処理施設の維持管理		○									
c. 不法投棄の防止と不法投棄された廃棄物の適切な処理		○									
a. 省エネルギー建築の推進		○							認定農業者の認定数（単年度）（件）	22	31
b. 省エネルギー設備の導入促進	○										
2. 循環型社会の実現に向けた仕組みづくりを実践するまち	①3Rの推進	c. 省エネルギー行動の普及	○	→	市民農園の利用率（単年度）（%）	81	64	90	×		
		a. 環境家計簿の普及	○								
		b. 身近な再生可能エネルギー資源の有効利用	×		環境家計簿取組報告世帯数（累計）（世帯）	未実施	23	300	△		
	c. 上手な自動車利用の促進	○									
	d. 公共交通の利用促進と充実	○	ごみゼロ運動の参加人数（単年度）（人）※R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により減少しているものと推測		6,000	5,255	6,700	△			
	a. 自然とふれあう機会の充実	○									
	②温室効果ガス排出量の削減	b. 環境観察モデル地区の活用	△		→	環境教育・環境学習プログラムづくり	○	地域文化の保存・継承と郷土学習の充実	○		
		c. 農林業とのふれあいの促進	○								
		a. 森林・里山・農地の保全	○								
		b. 水とみどりのネットワーク化	×								
		c. 自然環境調査の実施	×								
		d. 森林・農地所有者への支援	○								
e. 外来生物対策	○										
3. 次世代に引き継ぐ低炭素社会の実現に貢献できるまち	①省エネルギーの推進	a. 環境情報の定期的発信	○	→	環境家計簿取組報告世帯数（累計）（世帯）	未実施	23	300	△		
		b. 多様なツールによる情報発信	△								
		c. 市民やNP0の自発的な活動のサポート	○		ごみゼロ運動の参加人数（単年度）（人）※R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により減少しているものと推測	6,000	5,255	6,700	△		
	d. 広域的連携の推進	○									
	②温室効果ガス排出量の削減	e. 美しいまちづくりの推進	○		→	環境教育・環境学習プログラムづくり	○	地域文化の保存・継承と郷土学習の充実	○		
		f. 交流の場としての機能の充実	○								
		g. 交流のための組織の充実	△								
		a. 環境教育・環境学習プログラムづくり	○								
	b. 地域文化の保存・継承と郷土学習の充実	○									
	4. 思いやりの心が育まれる自然豊かなまち	①自然とのふれあいの推進	a. 環境教育・環境学習プログラムづくり		○	→	環境家計簿取組報告世帯数（累計）（世帯）	未実施	23	300	△
			b. 多様なツールによる情報発信		△						
			c. 市民やNP0の自発的な活動のサポート		○		ごみゼロ運動の参加人数（単年度）（人）※R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により減少しているものと推測	6,000	5,255	6,700	△
d. 広域的連携の推進		○									
②生物多様性の保全		e. 美しいまちづくりの推進	○	→	環境教育・環境学習プログラムづくり		○	地域文化の保存・継承と郷土学習の充実	○		
		f. 交流の場としての機能の充実	○								
		g. 交流のための組織の充実	△								
		a. 環境教育・環境学習プログラムづくり	○								
		b. 地域文化の保存・継承と郷土学習の充実	○								
		c. 市民やNP0の自発的な活動のサポート	○								
d. 広域的連携の推進		○									
e. 美しいまちづくりの推進		○									
f. 交流の場としての機能の充実	○										
g. 交流のための組織の充実	△										
5. みんなで環境づくりに取り組むまち	①環境情報の提供	a. 環境教育・環境学習プログラムづくり	○	→	環境家計簿取組報告世帯数（累計）（世帯）	未実施	23	300	△		
		b. 多様なツールによる情報発信	△								
		c. 市民やNP0の自発的な活動のサポート	○		ごみゼロ運動の参加人数（単年度）（人）※R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により減少しているものと推測	6,000	5,255	6,700	△		
	d. 広域的連携の推進	○									
	②環境保全活動の推進	e. 美しいまちづくりの推進	○		→	環境教育・環境学習プログラムづくり	○	地域文化の保存・継承と郷土学習の充実	○		
		f. 交流の場としての機能の充実	○								
		g. 交流のための組織の充実	△								
		a. 環境教育・環境学習プログラムづくり	○								
		b. 地域文化の保存・継承と郷土学習の充実	○								
		c. 市民やNP0の自発的な活動のサポート	○								
	d. 広域的連携の推進	○									
	e. 美しいまちづくりの推進	○									
f. 交流の場としての機能の充実	○										
g. 交流のための組織の充実	△										
③環境教育・環境学習の推進	a. 環境教育・環境学習プログラムづくり	○	→	環境家計簿取組報告世帯数（累計）（世帯）	未実施	23	300	△			
	b. 地域文化の保存・継承と郷土学習の充実	○									
	c. 市民やNP0の自発的な活動のサポート	○		ごみゼロ運動の参加人数（単年度）（人）※R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により減少しているものと推測	6,000	5,255	6,700	△			
d. 広域的連携の推進	○										
e. 美しいまちづくりの推進	○										
f. 交流の場としての機能の充実	○										
g. 交流のための組織の充実	△										

環境に関するアンケート調査結果について

1 環境に関するアンケート調査の実施

第3次環境基本計画における施策の参考とするため、市民アンケート調査(2,000人を地区別に無作為抽出)及び事業者アンケート調査(200者を業種別に無作為抽出)を実施しました。

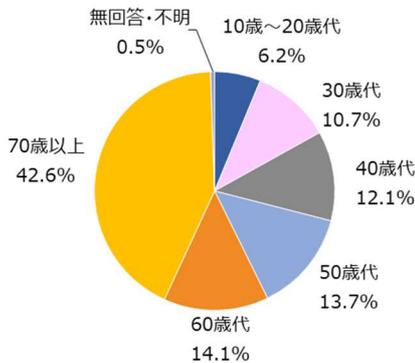
■実施概要

実施目的	①市民編：市民の皆様から市の環境の満足度や課題などについて広く意見を伺う。 ②事業者編：事業者の環境活動への取り組み状況や課題、市との将来的な協力の可能性について調査する。	
実施方法	調査票は紙媒体を郵送にて送付。	
	↳回答は2通りで受付。	①同封した返信用封筒による返送 ②WEBページ上でのオンライン回答
実施日程	令和4年12月22日～令和5年1月13日	
回収実績	①市民編 配布数：1,994（返送数：6） 回収数：758（うちWEBが124） 回収率：38.0%	②事業者編 配布数：193（返送数：7） 回収数：57（うちWEBが10） 回収率：29.5%

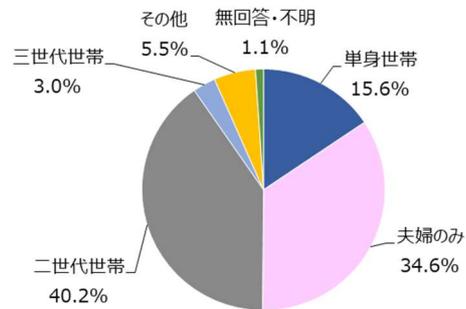
■回答者の属性

①市民編

(1) 年齢

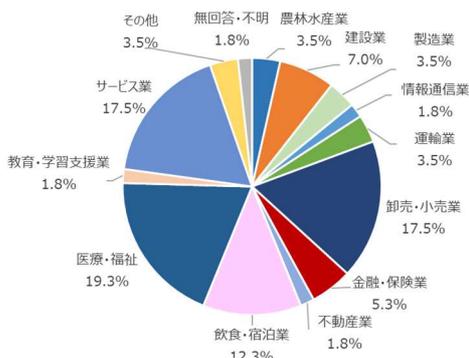


(2) 世帯構成

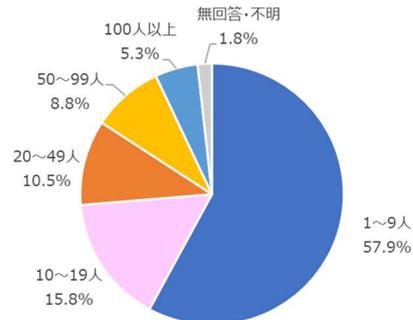


②事業者編

(1) 業種



(2) 従業員規模



2 市民アンケート調査結果

2-1 四街道市の環境に関する満足度と重要度

(1) 満足度（20項目）

本市の環境について日ごろ感じる満足度を5段階（「満足」「まあ満足」「普通」「やや不満」「不満」）で聞いた結果を、満足（計）※1が高い順に並べた。

分野	項目	満足(計)※1	不満(計)※2
安心	風水害や土砂災害などの対策がされており、安心して暮らすことができる	64.5%	3.4%
学習	環境学習の機会がある	64.4%	5.0%
脱炭素	太陽光など再生可能エネルギーが活用された暮らしができています	64.0%	6.6%
学習	環境に関する市の支援が受けられる	55.3%	7.3%
安心	土壌汚染や地盤沈下が防止されている	53.7%	5.5%
自然	身近に自然に親しめる空間がある	52.2%	12.3%
自然	希少な野生生物の生息・生育空間が守られている	52.0%	7.0%
循環	ごみの減量が進み、適切に収集・処理されている	49.5%	5.0%
循環	資源が活用され、リサイクルが積極的に行われている	45.0%	8.7%
学習	歴史的文化が自然環境と一体となって保全されている	45.0%	11.7%
脱炭素	省エネなど、温室効果ガスが削減できる暮らしができています	40.8%	18.5%
安心	安心できれいな水が保たれている	40.0%	17.7%
安心	きれいな空気が保たれている	39.7%	8.6%
自然	環境に配慮した農業が行われ、豊かな水田・畑がある	38.1%	11.6%
自然	自然景観とまちなみが調和した魅力的な景観がある	36.9%	16.4%
自然	緑と親しめる公園・緑地が整備されている	29.2%	25.7%
安心	ごみの散乱がなく、まちがきれいである	28.4%	15.4%
安心	騒音・振動の少ない静かな生活が守られている	26.5%	23.0%
自然	河川や水路、湿地と親しめる空間がある	22.2%	21.1%
学習	環境保全のための情報が提供され、取り組みやすい	21.8%	16.6%

平均値 **43.5%** **12.4%**

(凡例) **脱炭素** …脱炭素社会 **自然** …自然・みどり、生物多様性 **循環** …循環型社会
安心 …安心・安全、快適な生活環境、環境美化 **学習** …環境学習、環境活動、情報発信

※1 満足（計）は、「満足」回答及び「まあ満足」回答を合計し、全体の割合を算出

※2 不満（計）は、「やや不満」回答及び「不満」回答を合計し、全体の割合を算出

満足（計）の平均値 > 不満（計）の平均値 ⇒ **★全体的には満足度が高い**

★満足度の高い項目：「風水害や土砂災害の対策」「環境学習」「太陽光などの再生可能エネルギーの活用」

★不満度の高い項目：「緑地の整備」「振動・騒音の少ない生活」「河川等の水辺空間」

★大まかな傾向：「学習」>「安心」「自然」

(2) 重要度 (20 項目)

2-1(1)と同じ項目について日ごろ感じる重要度を5段階(「重要」「やや重要」「普通」「あまり重要でない」「重要でない」)で聞いた結果を重要(計)※1が高い順に並べた。

分野	項目	重要(計)※1	非重要(計)※2
自然	希少な野生生物の生息・生育空間が守られている	67.7%	3.2%
循環	ごみの減量が進み、適切に収集・処理されている	66.8%	1.6%
自然	環境に配慮した農業が行われ、豊かな水田・畑がある	65.2%	2.9%
安心	土壌汚染や地盤沈下が防止されている	59.1%	3.0%
自然	自然景観とまちなみが調和した魅力的な景観がある	56.3%	3.4%
安心	きれいな空気が保たれている	54.4%	7.4%
自然	身近に自然に親しめる空間がある	46.3%	16.8%
自然	河川や水路、湿地と親しめる空間がある	44.3%	9.9%
脱炭素	太陽光など再生可能エネルギーが活用された暮らしができています	42.1%	5.4%
学習	環境に関する市の支援が受けられる	41.4%	5.3%
安心	騒音・振動の少ない静かな生活が守られている	39.6%	9.4%
安心	風水害や土砂災害などの対策がされており、安心して暮らすことができる	38.4%	5.7%
学習	環境学習の機会がある	34.0%	7.5%
安心	安心できれいな水が保たれている	32.7%	12.9%
自然	緑と親しめる公園・緑地が整備されている	26.4%	13.5%
脱炭素	省エネなど、温室効果ガスが削減できる暮らしができています	23.4%	12.5%
安心	ごみの散乱がなく、まちがきれいである	20.6%	32.5%
循環	資源が活用され、リサイクルが積極的に行われている	19.8%	21.8%
学習	歴史的文化が自然環境と一体となって保全されている	15.4%	25.3%
学習	環境保全のための情報が提供され、取り組みやすい	13.2%	25.1%

平均値 **40.4%** **11.3%**

(凡例) **脱炭素** …脱炭素社会 **自然** …自然・みどり、生物多様性 **循環** …循環型社会
安心 …安心・安全、快適な生活環境、環境美化 **学習** …環境学習、環境活動、情報発信

※1 重要(計)は、「重要」回答及び「やや重要」回答を合計し、全体の割合を算出

※2 非重要(計)は、「あまり重要でない」回答及び「重要でない」回答を合計し、全体の割合を算出

重要(計)の平均値 > 非重要(計)の平均値 ⇒ **★全体的には環境が重要視されていることがわかる。**

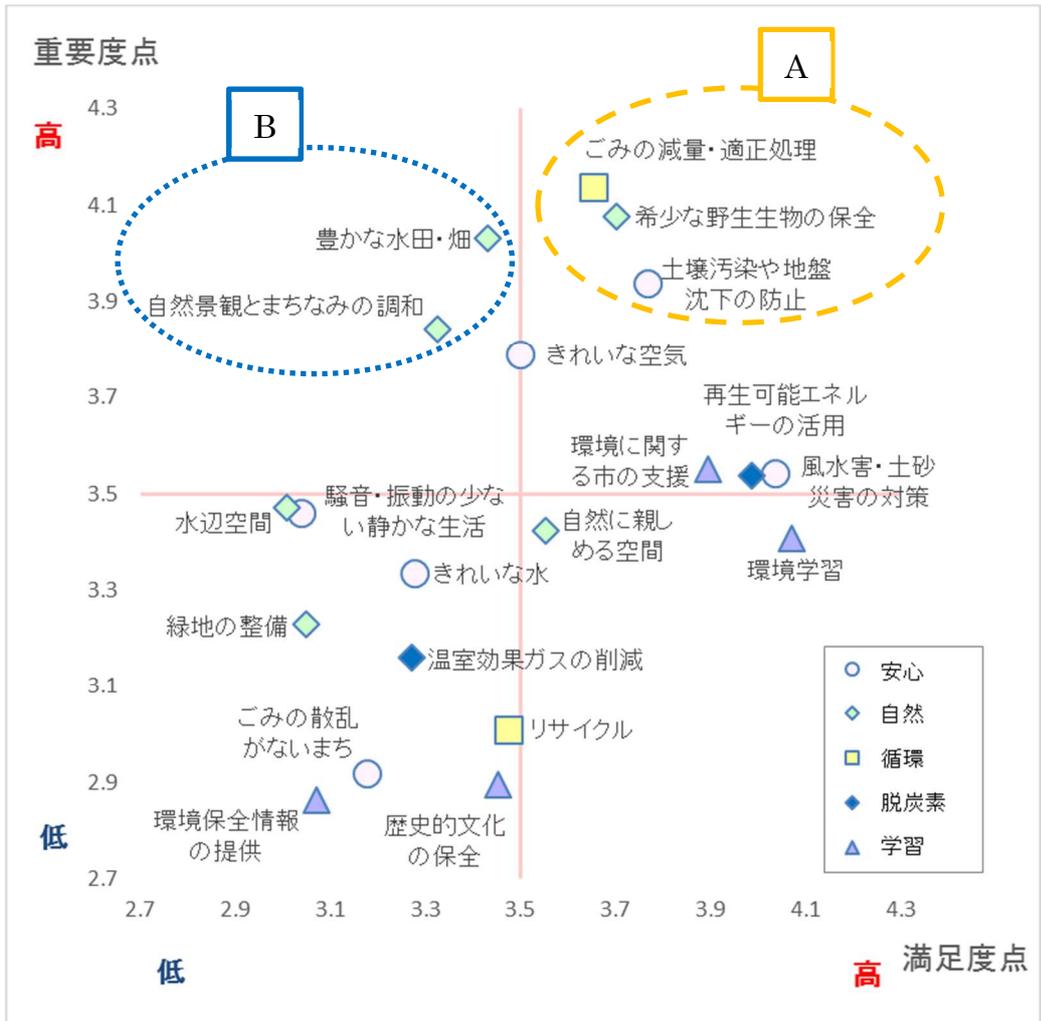
★重要度の高い項目 : 「希少な野生生物」「ごみの減量化・収集・処理」「豊かな水田・畑」

★非重要度の高い項目 : 「ごみの散乱のないまち」「歴史的文化の保全」「環境情報の提供」

★大まかな傾向 : 「自然」>「学習」

(3) 満足度点と重要度点

各項目の満足度点※1と重要度点※2をグラフにした結果は次のとおり。



※1 満足度点 = (「満足」回答数×5 + 「まあ満足」回答数×4 + … + 「不満」回答数×1) ÷ 回答者数
 ※2 重要度点 = (「重要」回答数×5 + 「やや重要」回答数×4 + … + 「重要でない」回答数×1) ÷ 回答者数

A ★ 満足度と重要度がともに高い項目
 「土壌汚染や地盤沈下の防止」「希少な野生生物の保全」「ごみの減量・適正処理」

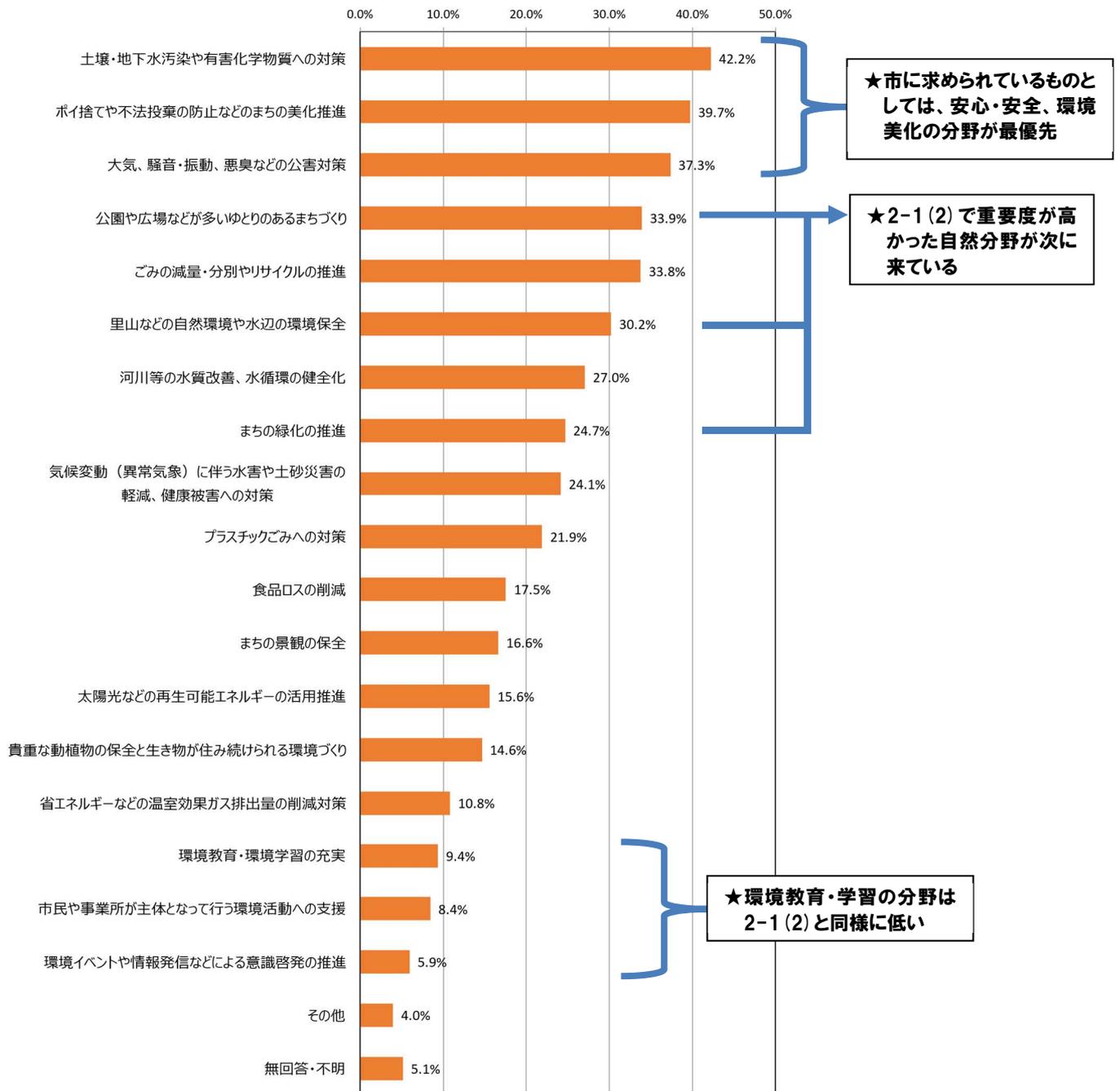
B ★ 満足度が低く、重要度が高い項目
 「自然景観とまちなみの調和」「豊かな水田・畑」

第2次環境基本計画策定時のアンケート(H24)と同趣旨の設問(17問)の満足度点と重要度点の平均を比較

	H24	R4	差
満足度点の平均	2.92	3.44	★0.52 ポイントアップ
重要度点の平均	4.10	3.48	★0.62 ポイントダウン

2-2 市の環境施策

(1) 市が重点的に取り組むべきもの（19項目から5つまで選択）

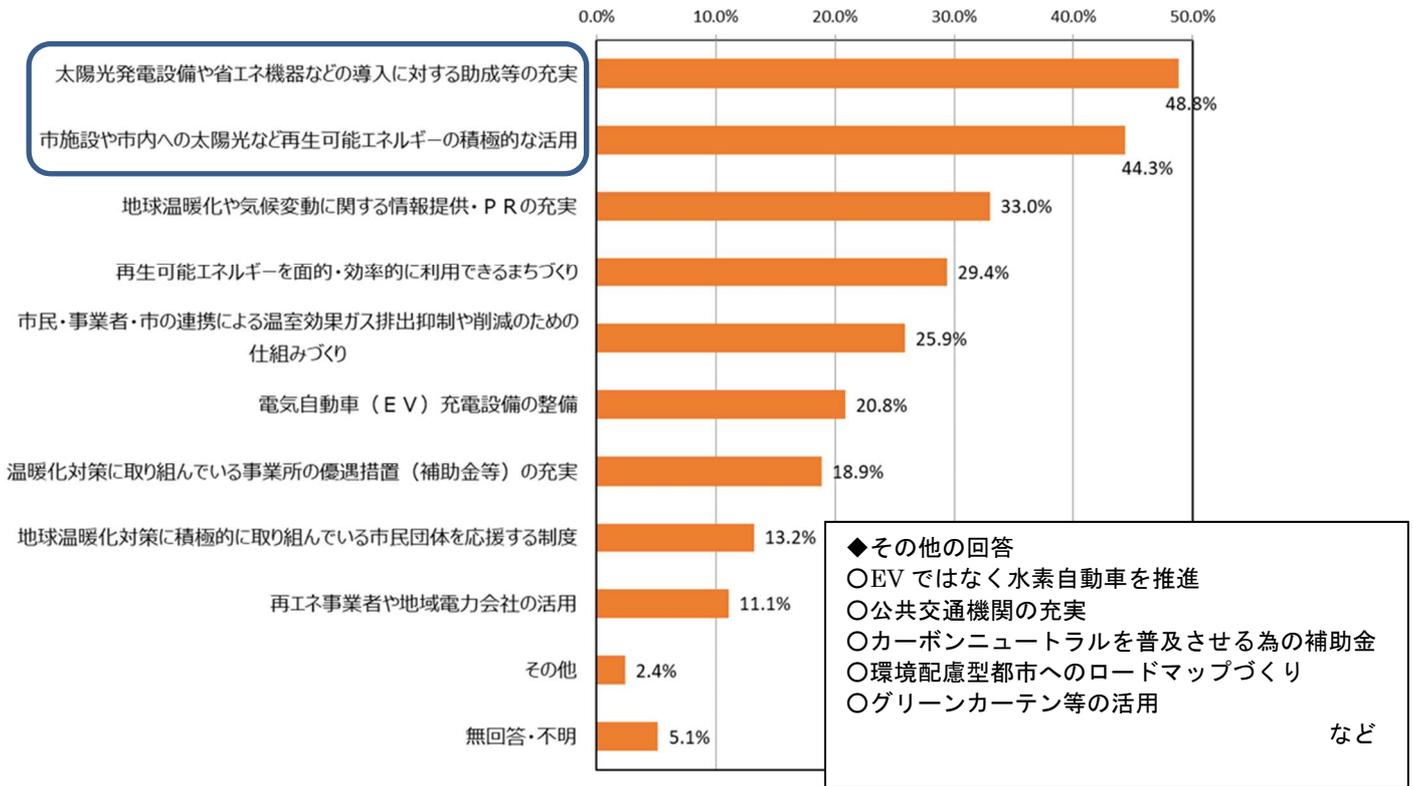


◆その他の回答

- 安全に歩行できる道路整備。四街道駅から離れている地域の道路や街灯の整備
- 一部の商業施設や駅周辺での交通渋滞の解消（通行規制等）
- 公園内緑地、水辺をもっと美しく整備すべき
- 環境保全と併せて、未来を担う子ども達が自然の中で育ち、遊ぶ場や機会を増やす
- 空き家対策（景観、倒壊の危険、防犯）
- ヤードの撲滅
- 野良猫対策

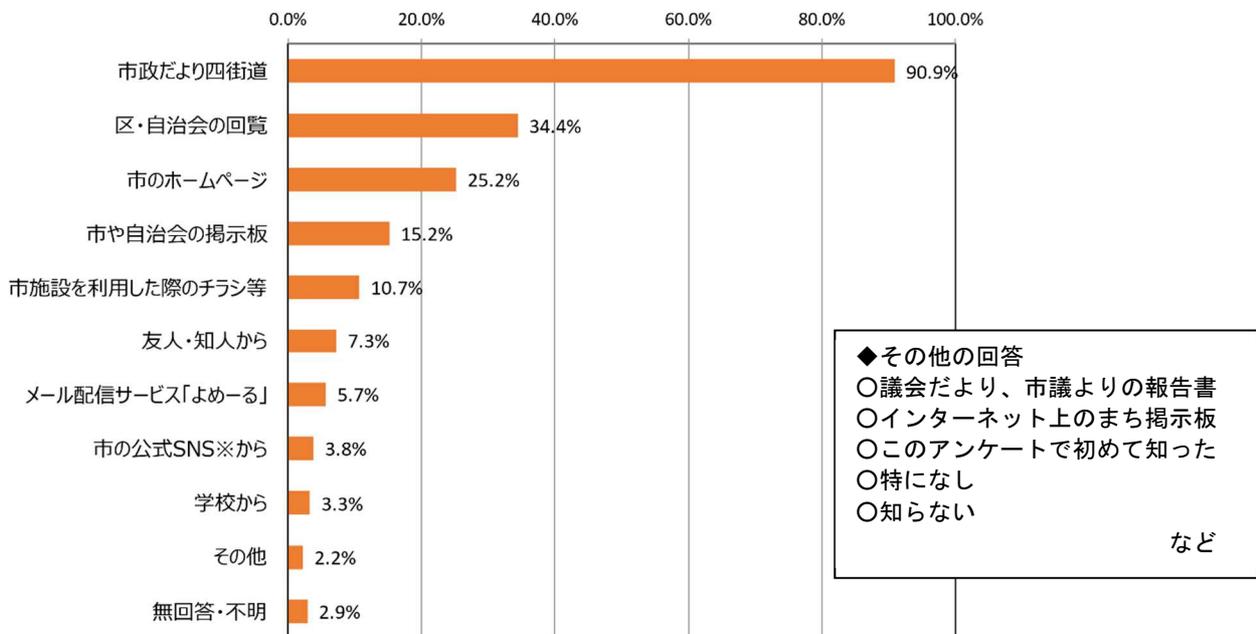
など

(2) 市が積極的に進めるべき地球温暖化対策（10項目から3つまで選択）



(3) 市が進めている環境に関する取組などの情報を入手するきっかけ（10項目から選択）

市政だよりのシェアが圧倒的 ⇒ ★市政だよりの重要性、他の発信方法の模索



(4) その他入手しやすい方法（自由記入）

◆手段	◆情報を入手する場所・機会
○ポスターやフリーペーパーなど印刷物（提案）	○駅、市役所、図書館、スーパーやコンビニ等の普段から人が多く集まる場所
○市政放送の活用やPR映像（提案）	○小中学校等の子どもを通じた情報発信
○LINEなどのスマホへのデータ配信 など	

2-3 気候変動

(1) 気候変動の影響の認知度（10項目のうち認知しているものを選択）

認知度が高いもの	認知度が低いもの
猛暑日や真夏日、熱帯夜が増える（91.6%）	デング熱などの熱帯地域で発生する感染症が増加する（39.1%）
豪雨や、雨の降らない日が増える（79.8%）	渇水が増加する（49.5%）
台風が強くなったり、これまでの進路から変化する（76.5%）	山地などの斜面崩壊など土砂災害のリスクが高くなる（59.0%）
熱中症が増加する（71.4%）	野生生物や植物の生息域が変化する（63.7%）

認知度の平均：66.9%、「すべて知らない」は0.7%

⇒ **★ほとんどの人が気候変動の影響について、何らかを認知している**

(2) 地球温暖化対策設備機器の導入状況（15項目について四択）

四択：①導入済み ②導入検討中(予定含む) ③予定はないが関心はある ④関心はない又は該当しない

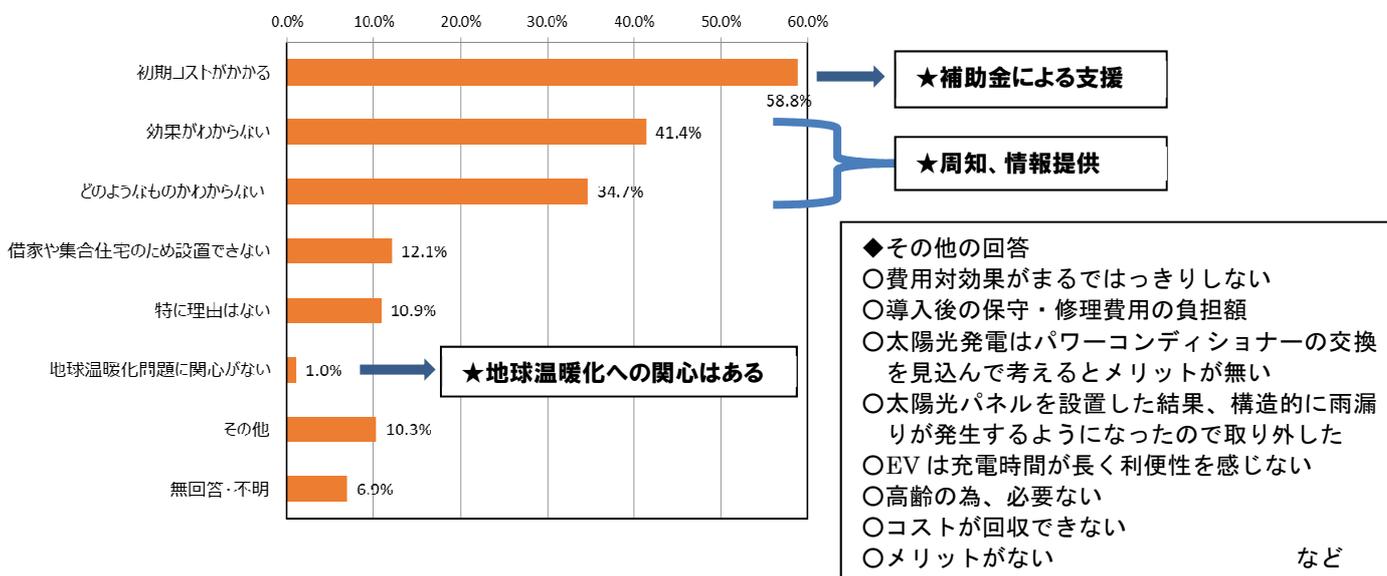
「①導入済み」が多いもの	「②導入検討中③関心はある」が多いもの
LED などの高効率照明（①68.6%）	家庭用蓄電池システム（②7.1%③64.0%）
電力消費や待機電力の少ない家電製品（①38.0%）	家庭用燃料電池システム（エネファーム） （②6.3%③63.2%）
ペアガラスや二重サッシなど気密性の高い窓・サッシ（①35.1%）	再生可能エネルギー、自然エネルギー由来の電力 （電力会社の切り替え）（②4.6%③60.2%）
効率の良い給湯器（エコキュートなど）（①34.7%）	EV（電気自動車）（②7.1%③55.8%）
壁、床、天井などの断熱（①33.4%）	住宅用太陽熱利用システム（②2.9%③59.4%）

すべての項目で①②③の回答の合計値が50%以上に ⇒ **★地球温暖化対策設備機器への関心は高い**

★家庭用燃料電池システム、エネファームなど、未導入だが関心が高いものへの補助金を継続する

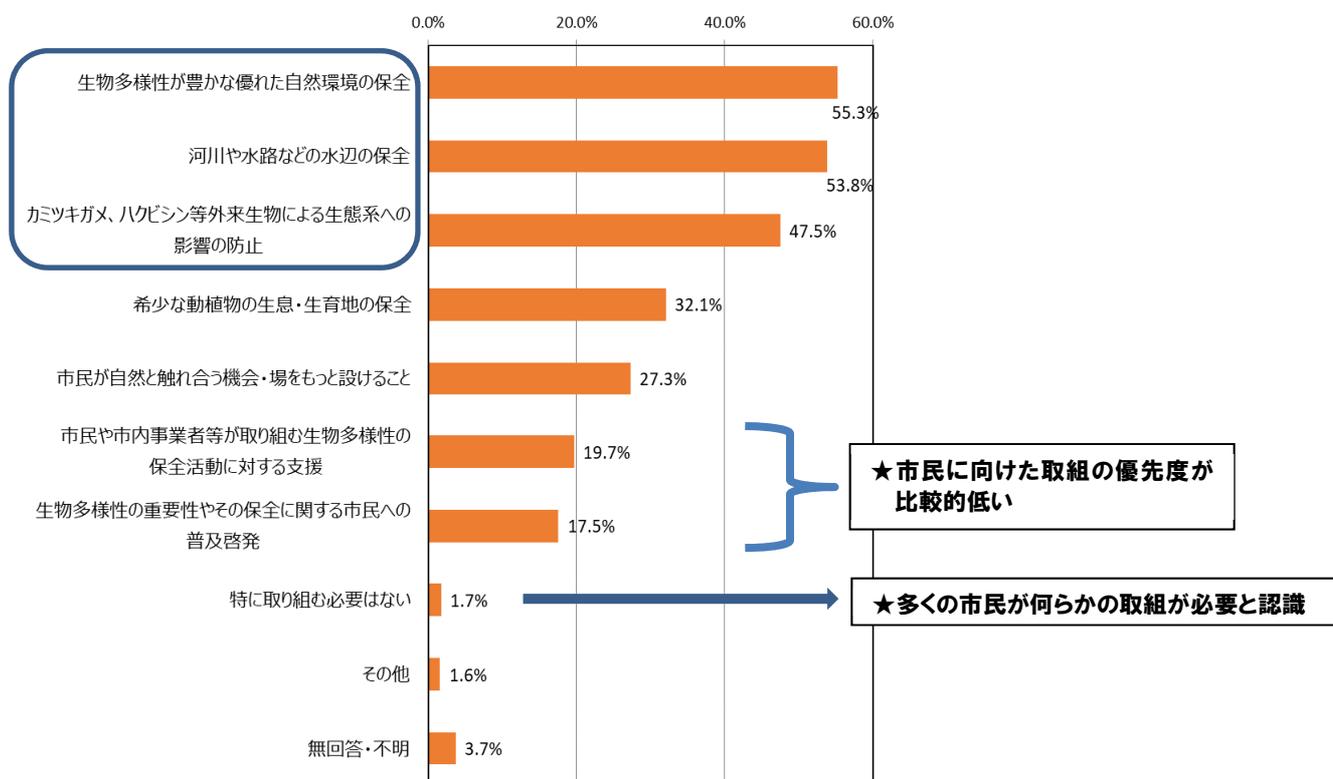
(3) 地球温暖化対策設備機器に関心をもてない理由（7項目から選択）

(2) で1つ以上「④関心はない又は該当しない」と回答した方に、設備機器を導入しない理由を聞いた。



2-4 生物多様性

(1) 市が重点的に取り組むべき生物多様性施策（8項目から3つまで選択）



(2) 将来に残したい身近な自然や環境（自由記入）

地名・地域等	意見数	地名・地域等	意見数
四街道総合公園	96	特定の区域（山梨、吉岡、和良比等）	21
四街道中央公園	76	ホテルの自然観察地	17
美しが丘近隣公園	40	四街道プレーパークどんぐりの森	11
小名木川	24	物井さとくらし公園	11
たろやまの郷	22	栗山小鳥の森	10
田んぼ・田園、農地	22	特になし、わからない等	23
その他、公園	22	その他	113
千代田調整池	20	合計	528

2-5 市民の環境に関する取組状況

(1) 普段取り組んでいる環境活動（20項目について三択）

三択：①取り組んでいる ②今後取り組みたい ③取り組むのは難しい

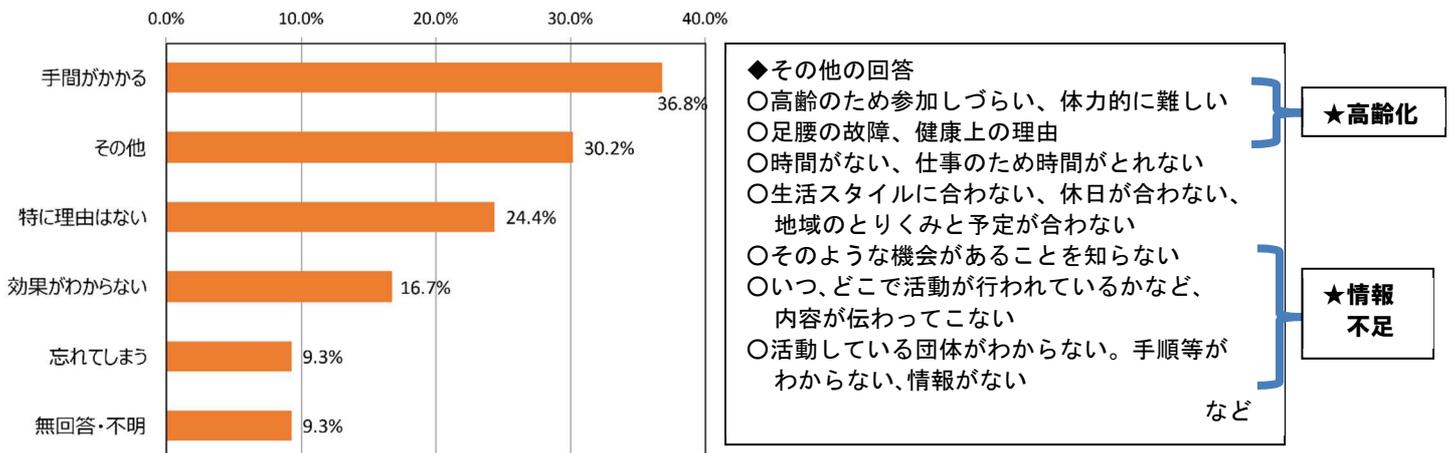
実施率が高い活動	空き缶やびん、ペットボトル、古紙などの資源を分別する（①96.4%）
	不要な照明やテレビはこまめに消す（①89.3%）
	油や調理くずは下水や浄化槽に流さない（①88.5%）
	冷暖房を使用するときは温度設定に気を付ける（①87.9%）
今後取り組みたい活動	環境ラベル、省エネラベルなどを参考にして環境に優しい商品を購入している（②50.0%）
	風水害に備えて自宅や職場周辺のハザードマップを確認している（②40.5%）
実施率が低い活動	環境に関する学習講座、講演会、自然観察会に参加する（①3.0%③57.3%）
	樹林や水辺などの自然環境の保全活動をする（①4.6%③55.1%）
	花植えや植樹などの地域の緑化活動をする（①13.7%③44.5%）
	公園や川などの地域の清掃活動をする（①17.4%③42.3%）

◆その他の回答

- マイバッグ持参、マイバッグでプラスチックゴミの削減
- 食品ロスを無くす ○太陽光発電の活用
- 生垣の美観に気を付けている ○植樹、環境保護活動に参加したい
- 鎌倉市「SDGs推進隊」のような住民ネットワーク活動や子供たちへの環境学習 など

(2) 環境活動への取組が困難な理由（6項目から選択）

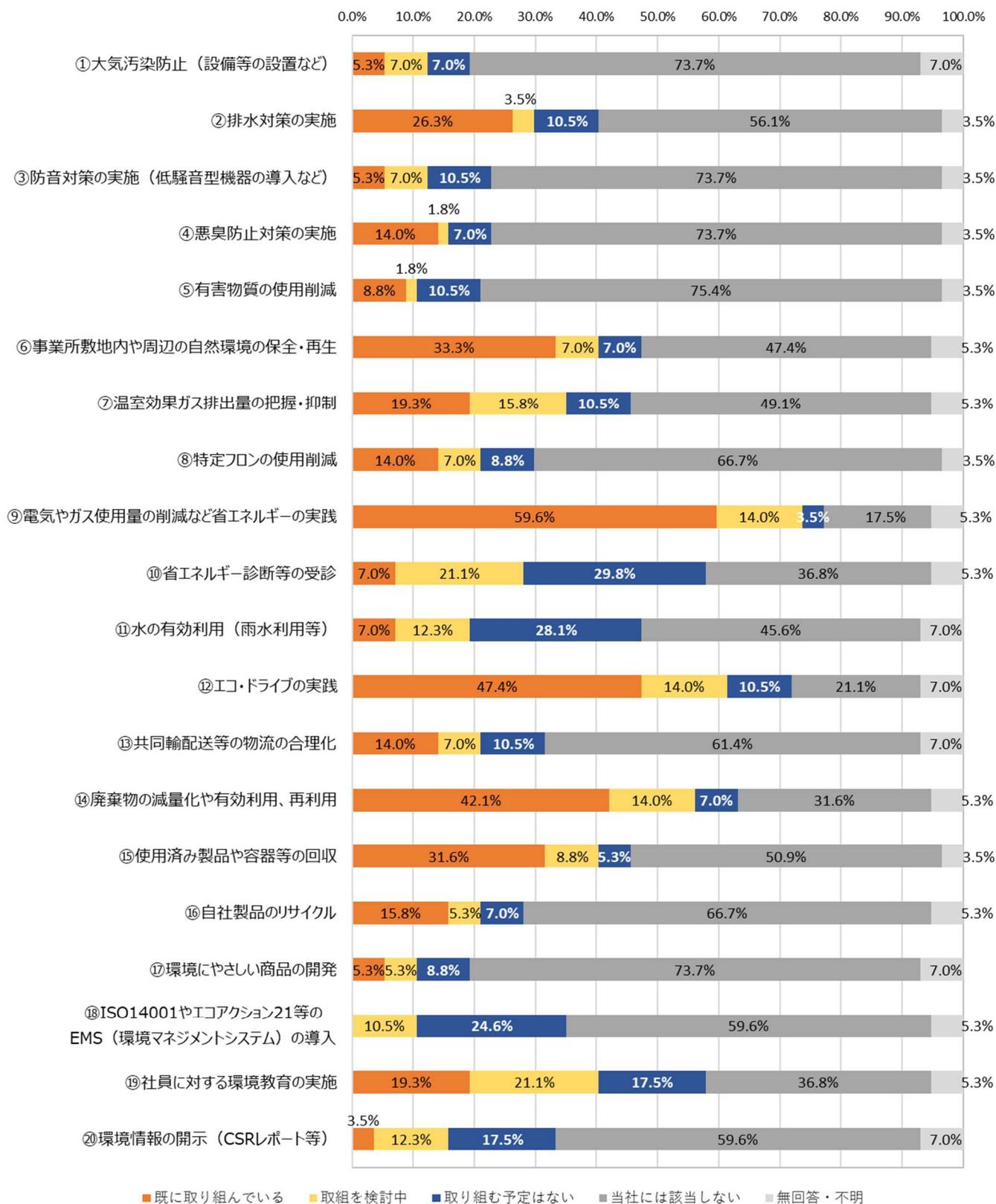
(1)で1つ以上「取り組むのは難しい」と回答した方へ、環境活動への取組が困難な理由を聞いた結果



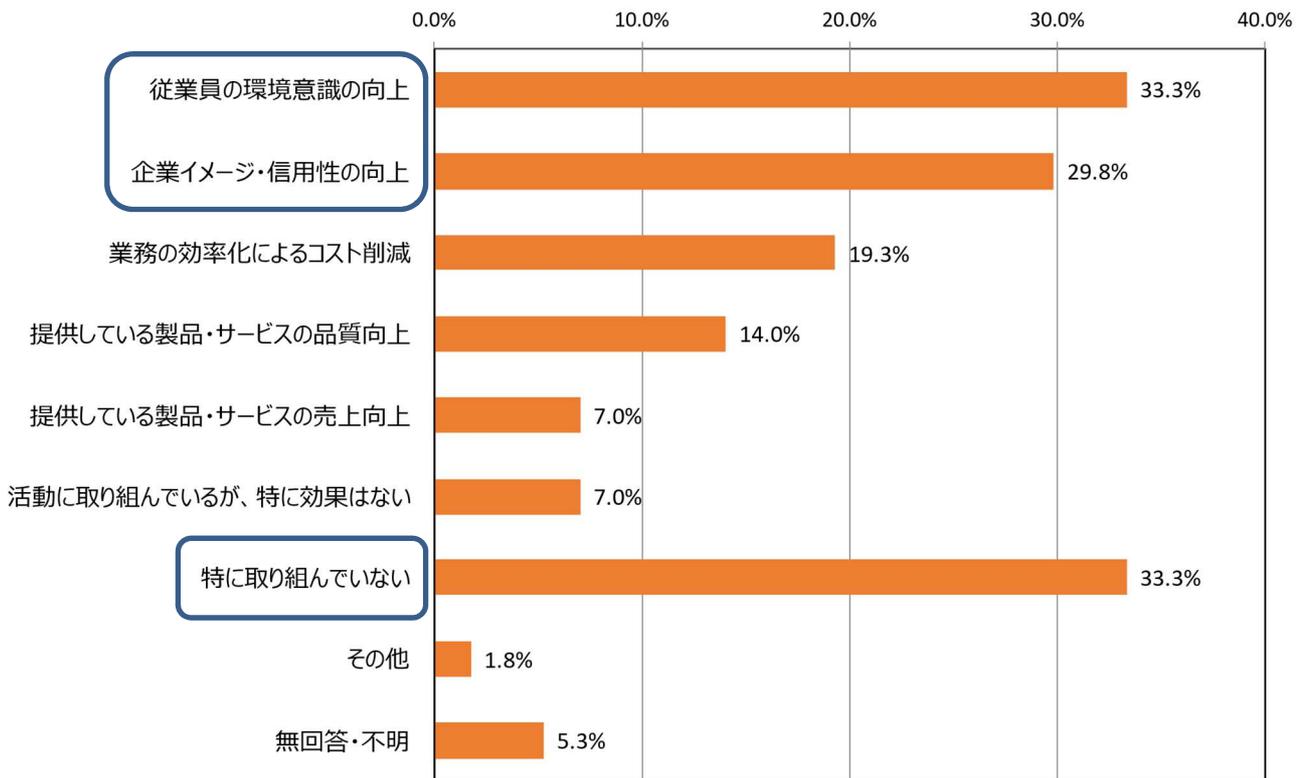
3 事業者アンケート調査結果

3-1 事業所の環境活動

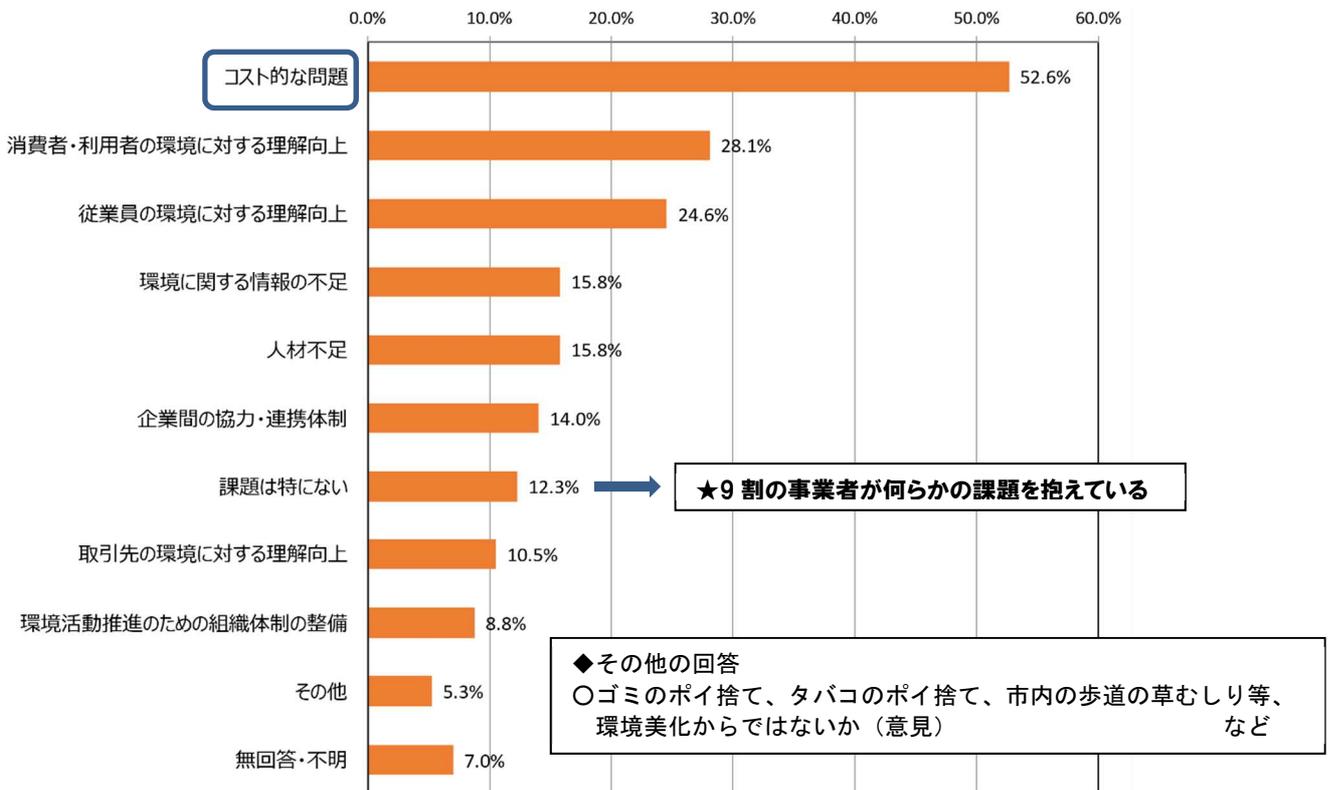
(1) 事業所で取り組んでいる環境活動（20項目について四択）



(2) 環境活動で得られた効果（8項目から選択）

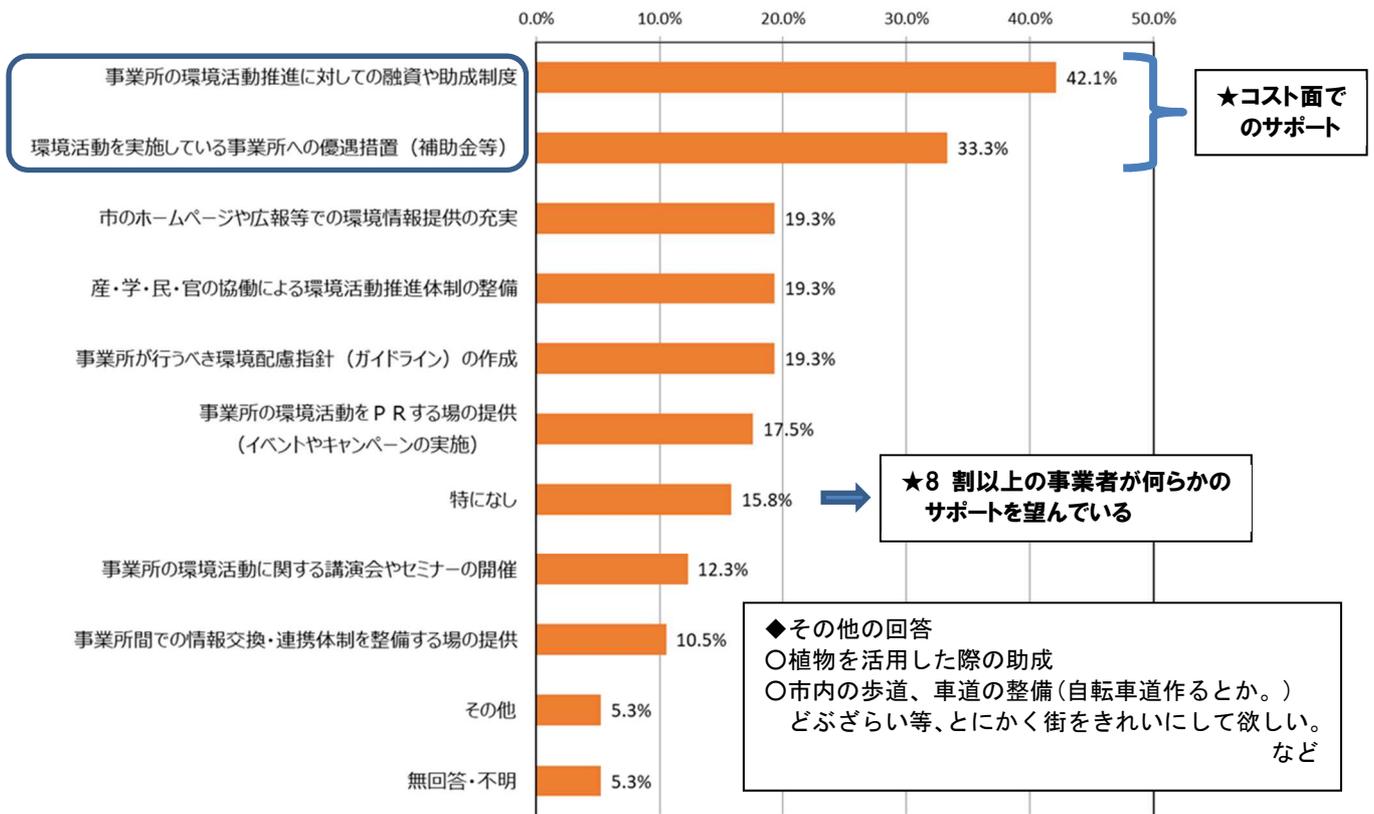


(3) 環境活動を進めるにあたっての課題（10項目から選択）

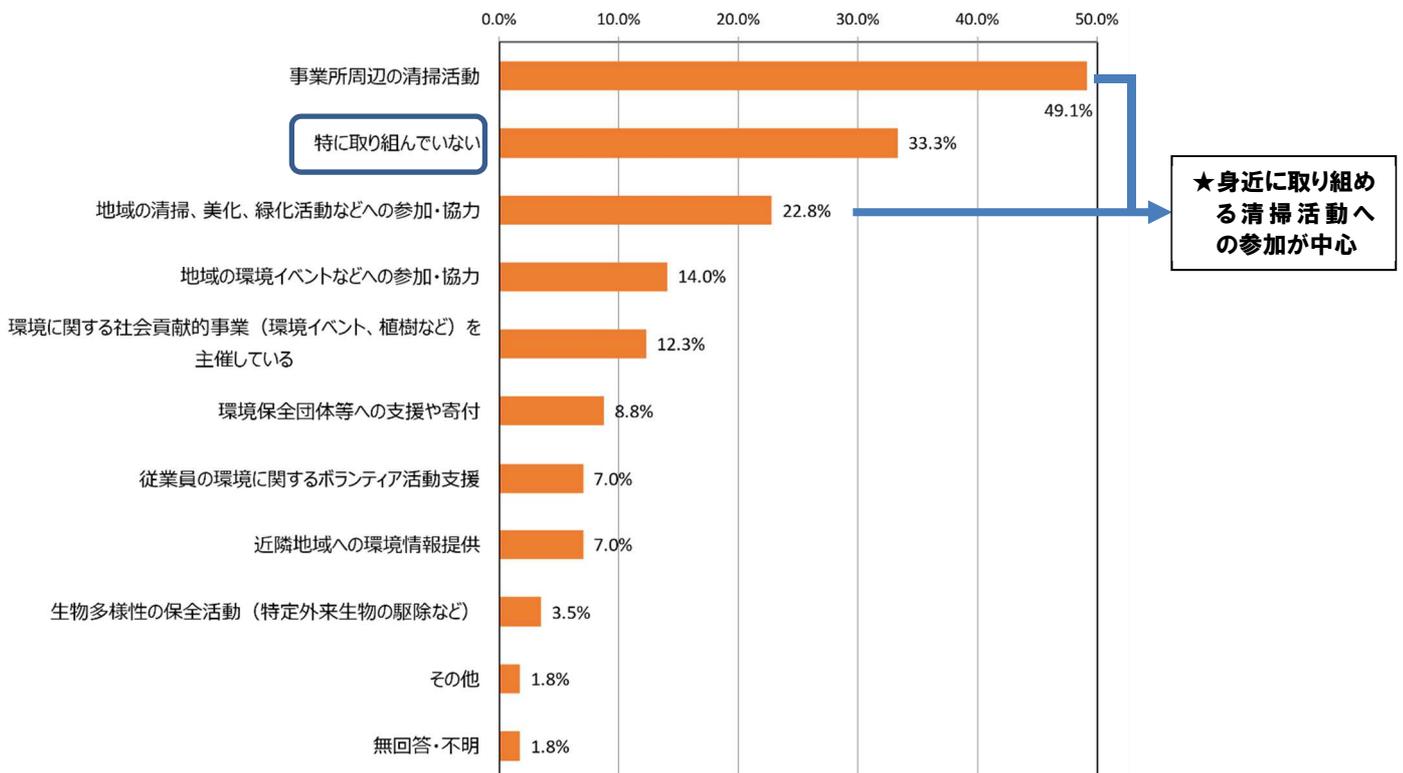


3-2 市の支援や協力・連携

(1) 市が実施すると望ましいサポート（10項目から3つまで選択）



(2) 取り組んでいる地域環境活動（10項目から選択）

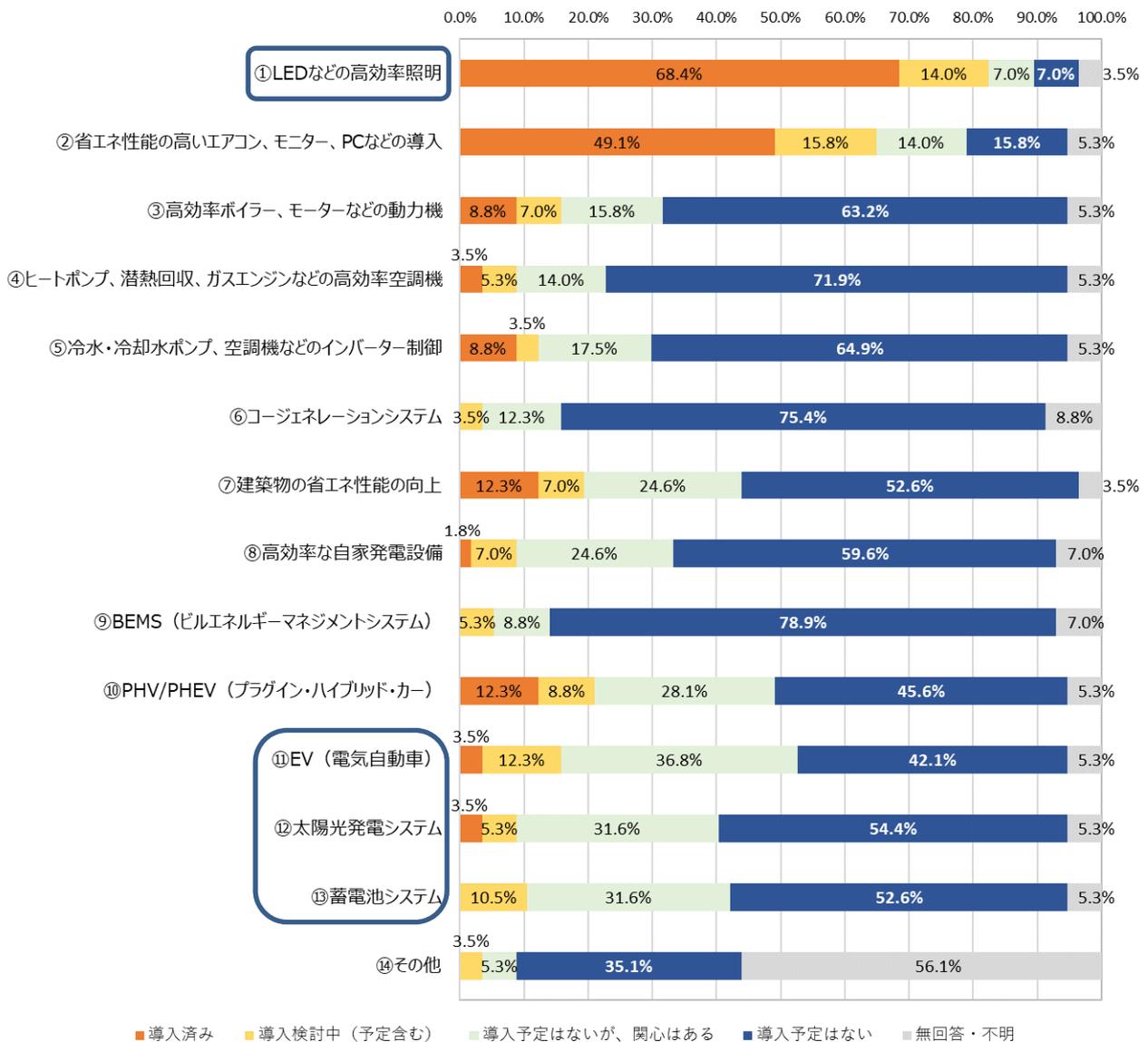


(3) 地域環境活動において協力、支援できる活動分野・取組（各9項目から選択）

活動分野（回答が多い順）	取組（回答が多い順）
ごみの減量・分別やリサイクルの推進（64.9%）	特になし（42.1%）
省エネルギー活動など温室効果ガス排出量の削減対策（21.1%）	寄付金、協賛金などの資金援助（33.3%）
環境イベントなどの参加（19.3%）	パンフレット作成やウェブサイト運営など活動PR、情報発信の支援（12.3%）
特になし（15.8%）	自社製品の貸与、提供（10.5%）

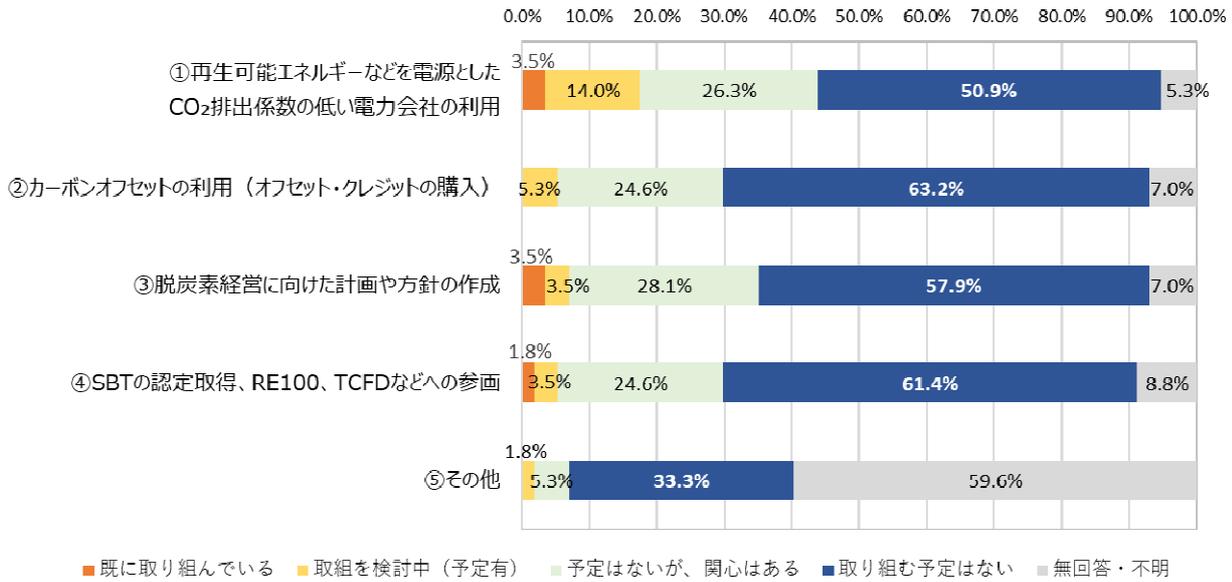
3-3 気候変動

(1) 地球温暖化対策設備機器の導入状況（14項目について四択）



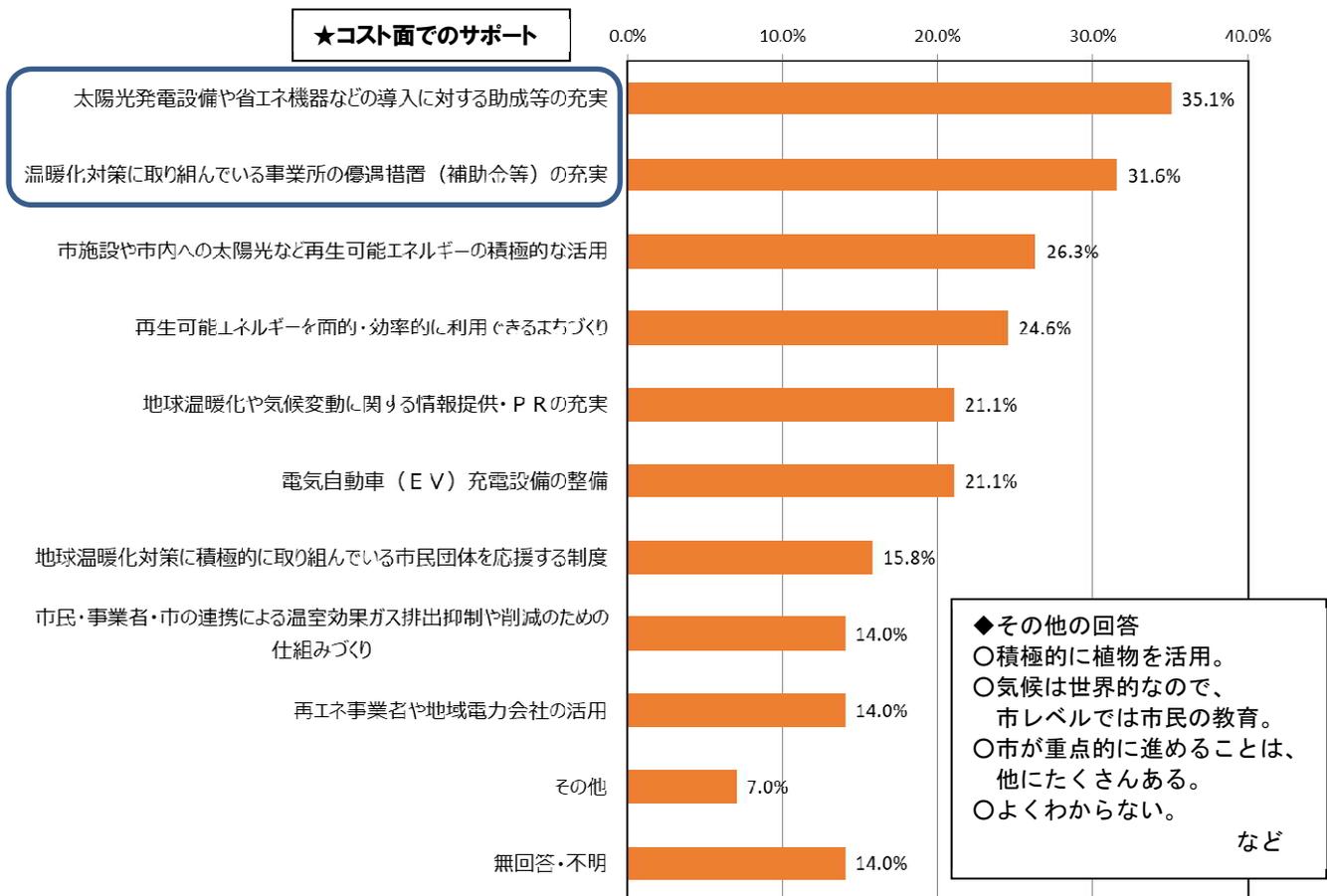
(2) 脱炭素経営[※]の取組状況（5項目について四択）

※脱炭素経営とは、事業所から排出される温室効果ガスを実質ゼロに近づけ、カーボンニュートラルを目指すこと。



★取り組んでいる事業者が非常に少ない

(3) 市が重点的に進めるべき地球温暖化対策（10項目から3つまで選択）



4 アンケート調査結果のまとめ

4-1 市民アンケート

調査の結果、環境に関して全般的に高い満足度(P.2)が得られているものの、環境保全のための情報提供【21.8%】、水辺の整備【22.2%】、騒音振動のない生活の確保【26.5%】、ごみの散乱がないまち【28.4%】、緑地の整備【29.2%】といった事項については3割に満たないことから、今後、市として改善に向けた検討が必要と考えられる。加えて、重要度の結果(P.3)を踏まえると、希少な生物の生息・生育空間の保全【67.7%】や豊かな水田等の保全【65.2%】といった「自然・みどり、生物多様性」分野の対策強化が重要になる。

なお、個別の分野における関心事項や課題等の考察については、下表のとおり。

分野	結果概要
1 脱炭素、 気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> ●気候変動の影響(P.7)に対する認知度は高く、その要因である地球温暖化への対策(P.6)については、太陽光発電設備や省エネ機器などの導入支援や、市施設等での再生可能エネルギーの積極的な活用が求められている。 ●地球温暖化対策設備機器(P.7)への関心は高く、さらなる導入の余地がある。また、初期コストの問題や知識不足による無関心(P.7)もみられることから、補助金による支援や適切な情報発信が望まれる。 ●不要な照明の消灯やエアコンの適切な温度設定といった省エネ行動(P.9)は市民の生活に定着している。
2 自然・みどり、 生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> ●希少な野生生物の生息・育成空間が守られることの重要度(P.3)が非常に高く【67.7%】、市が重点的に取り組むべき環境施策(P.5)では公園や広場などが多いゆとりのあるまちづくりの回答率が比較的高かった【33.9%】ことから、自然分野への市民の関心や優先度の高さがうかがえる。 ●市に求める生物多様性に関する施策(P.8)では、市民等が取り組む保全活動に対する支援【19.7%】や市民に向けた普及啓発【17.5%】よりも、生物が生息する自然環境の保全【55.3%】や水辺の保全【53.8%】に回答が集まったことから、市が主体となってみどりや水辺を保全することが求められている。 ●環境に関する満足度(P.2)において、緑と親しめる公園・緑地の整備への不満の割合が高かった【25.7%】ことに対し、将来に残したい身近な自然や環境については、公園に多くの回答が集まった(P.8)ことから、里山等のまとまった緑地に加えて、公園の保持・整備も継続して進めていく必要があると考えられる。
3 資源循環	<ul style="list-style-type: none"> ●ごみの減量及び適正処理の重要度は非常に高い(P.3)【66.8%】ことから、関心の高さがうかがえる。 ●空き缶やびん、ペットボトル、古紙などの資源の分別などの取り組み(P.9)【96.4%】は市民の生活に定着している。
4 安心・安全、 快適な生活環境、 環境美化	<ul style="list-style-type: none"> ●環境に関する満足度(P.2)において、騒音・振動の少ない静かな生活への不満の割合【23.0%】が比較的高かったことから、関心の高さがうかがえる。 ●市が重点的に取り組むべき環境施策(P.5)について、土壌汚染【42.2%】、ポイ捨て・不法投棄【39.7%】、大気・騒音等の公害【37.3%】への対策が上位に集中している。また、自由意見でも多くの意見が寄せられており、ヤード対策、ポイ捨てや不法投棄の防止及び指導など、対策強化が求められている。

<p>5 環境教育、 情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●環境に関する満足度(P.2)において、環境学習の機会への満足度は非常に高い【64.4%】一方、環境学習講座や自然観察会への参加や自然環境の保全活動(P.9)については、5%未満であり、実施率を上げる対策強化が必要と考えられる。 ●環境活動への取り組みが困難な理由(P.9)として、手間がかかると答えた割合が最も高く【36.8%】、気軽に参加・活動できる仕組みづくりと興味・関心を持ってもらうための情報発信が求められる。また、その他の回答でも、環境活動について情報不足であるとの意見があり、今後の課題といえる。 ●市の環境情報の入手方法(P.6)は市政だよりが圧倒的に多かった【90.9%】。その他入手しやすい方法については、SNS の活用、駅やコンビニなど市民の目につきやすい場所への掲載、子供を通じた情報発信などの意見があった。これらの意見を参考に、市政だより以外の積極的な情報発信手法について模索する必要がある。
-------------------------	---

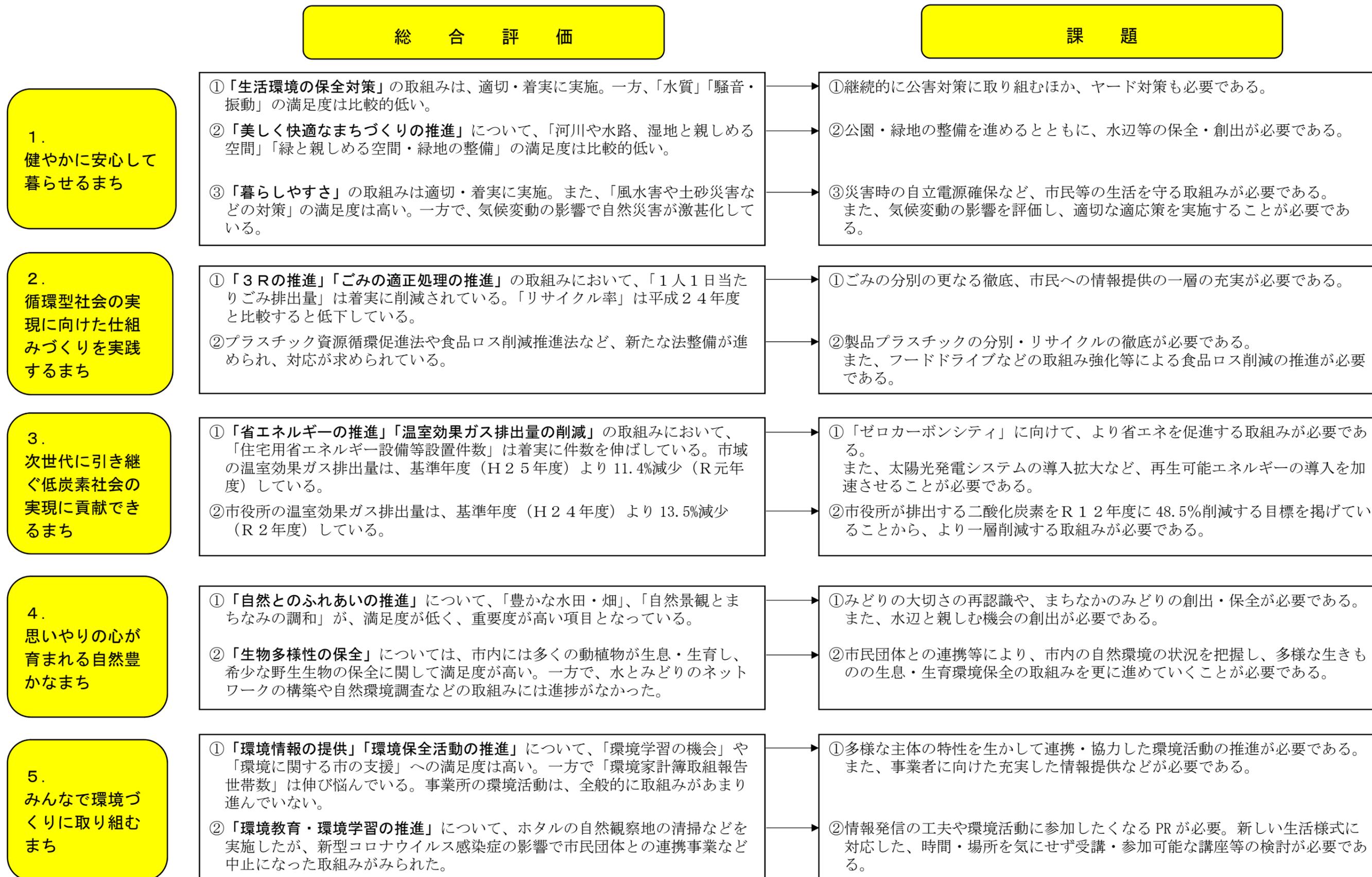
4-2 事業者アンケート

調査の結果、取組状況や関心度について、分野によりばらつきが見られた。また、環境活動を進めるにあたっての課題についての回答や、市に求めるサポートや対策についての回答からは、コスト的な問題が大きいことがうかがえる。

なお、個別の分野における関心事項や課題等の考察については、下表のとおり。

分野	結果概要
1 脱炭素、 気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> ●脱炭素経営の実施率は低く(P.14)、多くの事業者が取り組む予定はないと回答している。今後は、取り組むことの意義やメリットを明確にした上で具体的な取組み内容などについての情報発信が必要と考えられる。 ●脱炭素につながる設備機器として LED 照明は普及が進んでいる(P.13)【68.4%】が、太陽光発電【3.5%】等のその他の設備機器は導入している事業所が少ない。 ●EV（電気自動車）、太陽光発電システム、蓄電池システムの導入への関心が高く(P.13)、協力できる活動分野(P.13)として省エネ活動等の温暖化対策が比較的高い回答率【21.1%】となっていることから、今後の設備機器の普及が期待される。
2 自然・みどり、 生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所敷地内や周辺地域の緑化活動に取り組んでいる(P.12)【22.8%】様子がうかがえる。
3 資源循環	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物の減量化(P.10)【42.1%】、使用済み製品や容器等の回収【31.6%】、自社製品のリサイクル【15.8%】を実践している事業所の割合が比較的高く、地域環境活動において協力、支援できる分野(P.13)としての回答も多かった。
4 安心・安全、 快適な生活環境、 環境美化	<ul style="list-style-type: none"> ●大気・排水・騒音・悪臭・有害物質等の公害対策分野における取組み(P.10)について、取り組む予定はないとしている事業者へ、自主的な環境負荷の低減に向けて周知が必要と考えられる。 ●取り組んでいる地域環境活動(P.12)では、事業所周辺の清掃活動が最も多く、地域の環境美化に貢献している事業者が多いことがうかがえる。
5 環境教育、 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ●温室効果ガス排出量の把握・抑制、省エネルギー診断等の受診、社員に対する環境教育の実施等(P.10)については、事業所の規模や業種、施設・設備の有無に関係なく取り組める項目であるものの、「当社には該当しない」の回答があることから、取り組み方の周知や効果の実感が得られる仕組みづくりが必要と考えられる。 ●環境活動の課題(P.11)として、コスト的な問題を上げる事業者が最も多く、市に求められるサポート(P.12)も、融資や助成、優遇措置などが上位に来ている。一方で、事業者が協力できる取組み(P.13)に、寄付金・協賛金などの資金援助が挙げられており、情報発信の支援や自社製品の貸与、提供といった市の施策と協働も可能な回答が見受けられる。

第2次環境基本計画について、市の施策の進捗状況及び令和4年度に実施した「環境についての市民アンケート調査」等の結果を基に、長期目標ごとに評価しました。また、この評価を踏まえ、今後の検討課題を整理しました。



第3次四街道市環境基本計画骨子（案）

1 目的・背景

- 本市では平成9（1997）年9月に「四街道市環境基本条例」を制定し、平成10年（1998）年に「四街道市環境基本計画」を策定した。
- 平成26（2014）年には「第2次環境基本計画」を策定し、各種環境施策を推進している。
- 一方、SDGs（持続可能な開発目標）、パリ協定採択など世界では持続可能な社会の実現に向けた動きが加速。国も2050年カーボンニュートラルへの対応や気候変動への適応など課題解決に向け政策を打ち出している。
- このような状況を踏まえ、現行計画が令和5（2023）年度で終了することから、国内外の社会情勢や新たな環境課題に対応するため、「第3次環境基本計画」を策定する。

2 現行計画の概要

位置づけ	四街道市環境基本条例第8条に基づき策定 地球温暖化防止や気候変動適応、ごみ、緑、大気など環境各分野の上位計画			
計画期間	平成26（2014）年度～令和5（2023）年度【10年間】			
望ましい環境像	長期目標	施策の基本方針	具体的施策	評価指標
みどりと都市が調和した心地よく暮らせるまち	健やかに安心して暮らせるまち	3	14	4
	循環型社会の実現に向けた仕組みづくりを実践するまち	2	9	2
	次世代に引き継ぐ低炭素社会の実現に貢献できるまち	2	7	2
	思いやりの心が育まれる自然豊かなまち	2	8	2
	みんなで環境づくりに取り組むまち	3	9	2

3 計画策定の方向性

- 第2次環境基本計画に掲げた施策を推進してきたが、地域の環境保全対策が引き続き必要な状況であることから、**継続して取組みを推進**していく。
- また、地球温暖化への対応として、気候変動への適応や脱炭素化の実現など、**地球規模の課題への取組みを加速**していく。



現計画で掲げている取組みを継続・推進しつつ、社会情勢や市民意識の変化などを踏まえて、**計画策定の方向性**を下に示す。

〈策定の方向性〉

●持続可能なまちをつくる

SDGsの考え方に基づき、環境・経済・社会の統合的課題解決に向けた取組みを進める。

●2050年ゼロカーボンシティを実現する

令和2年に宣言した「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、未来戦略を示す。

●みどりを身近に感じるまちをつくる

身近に自然を感じる暮らしの実現に向け、市民とともに自然環境（生物多様性・みどり・水辺）の保全・創出に取り組む。

●循環経済（サーキュラーエコノミー）を実践する

これまでの3Rに、Refuse（ごみの元になるものを買わないことなどでごみを減らす）を加えた4Rに取り組む。

〈計画期間〉

令和6（2024）年度から令和15（2033）年度までの10年間

4 望ましい環境像

本市の現状と近年の社会情勢を踏まえ、次の考え方に基づき「望ましい環境像」を設定する。

【考え方】

- これまでの取組みにより磨かれてきた、緑と都市が調和している「四街道らしい環境」を維持・継承するまちづくり
- 地球温暖化に伴う気候変動への対応など、地球規模の課題に的確に対応する、持続可能なまちづくり

設定

【望ましい環境像】

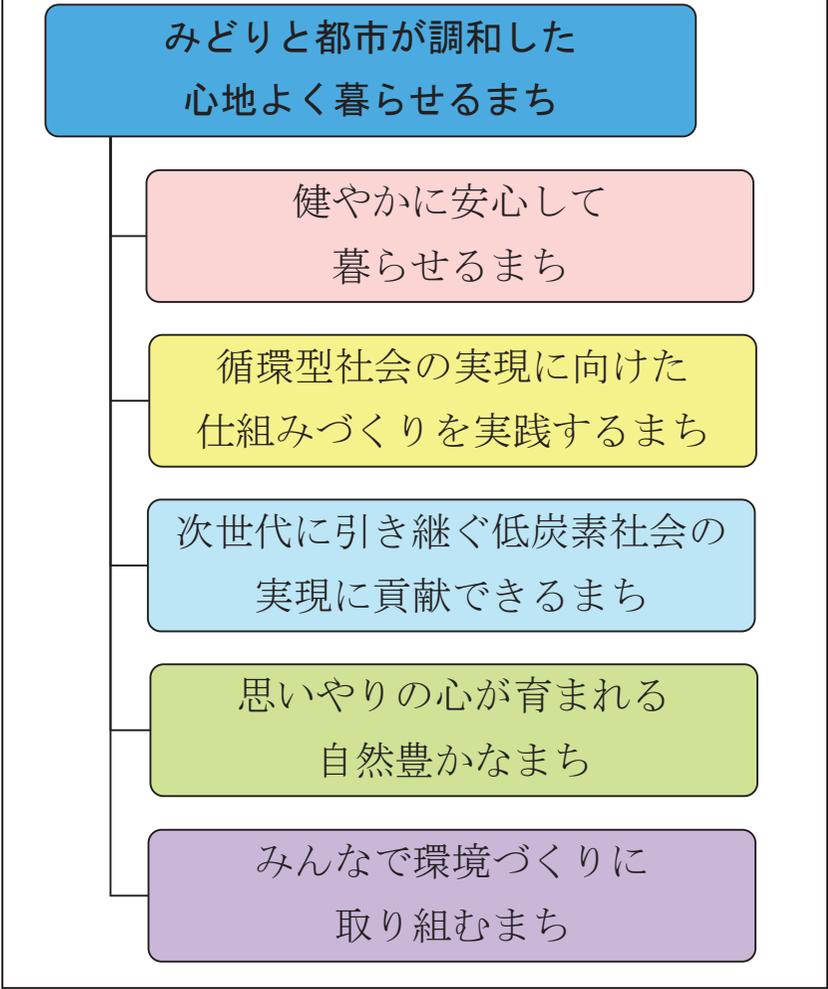
未来へつなぐ 緑と都市が調和した地球にやさしいまち

5 施策体系

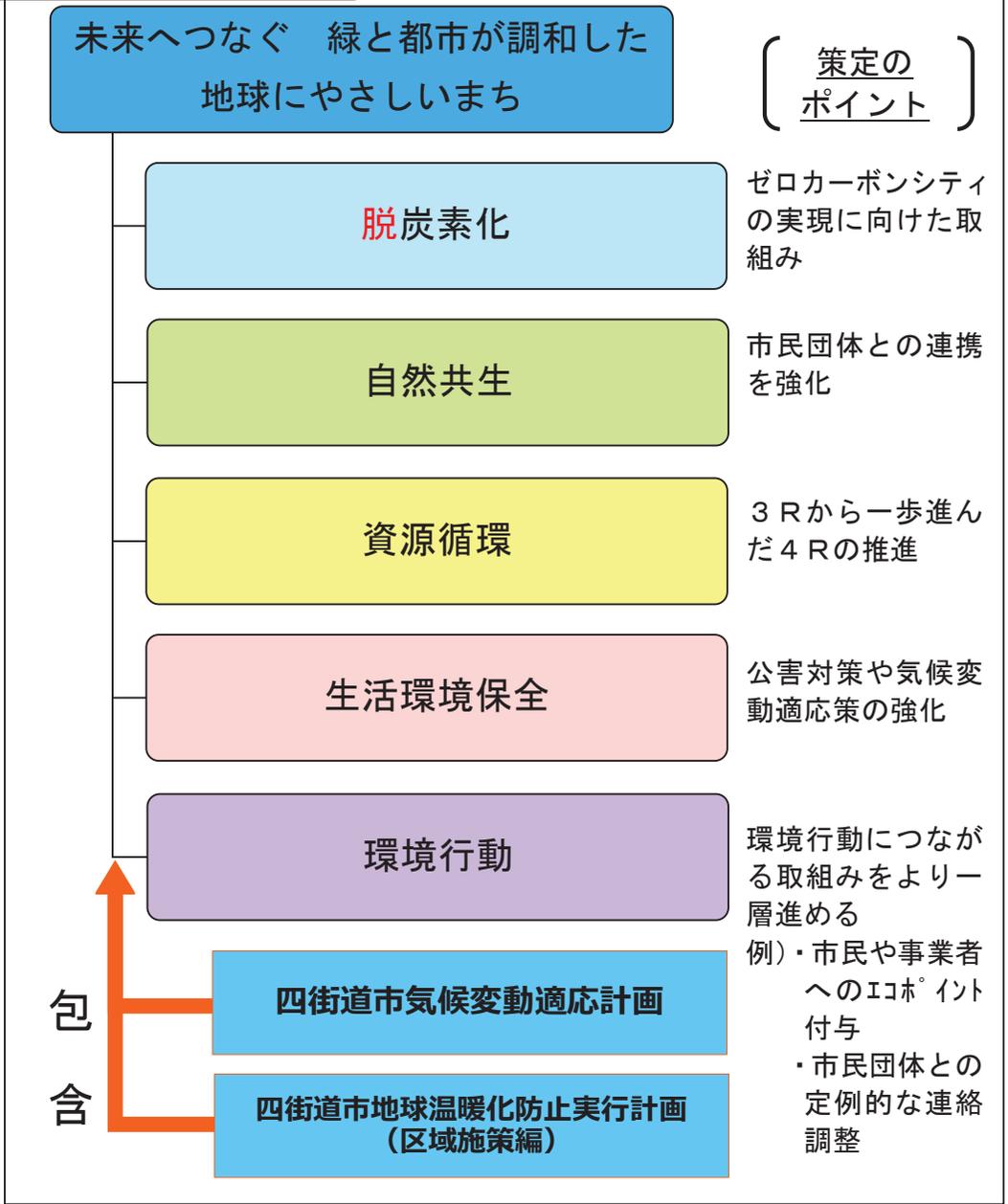
望ましい環境像	望ましい環境への基本的考え方	関連する SDGs	施策の方向性
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">未来へつなぐ 緑と都市が調和した 地球にやさしいまち</p>	<p>脱炭素化</p> <p>「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、市民・事業者・行政が一丸となり、「省エネルギー行動」や「再生可能エネルギーの活用」を継続・強化し、脱炭素化したまちを目指す。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー化の推進 ・再生可能エネルギーの利用促進 ・脱炭素型まちづくりの推進
	<p>自然共生</p> <p>多様な生きものが生息・生育できる環境を保全するとともに、まちなかの緑化を進めることで「暮らしの中で豊かな自然を実感できる」まちを目指す。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の保全 ・みどりや水辺環境の保全
	<p>資源循環</p> <p>資源循環に配慮したライフスタイルの選択が日常的な習慣となるほか、限りある資源を有効に利用するため、徹底した分別が当たり前に行われるまちを目指す。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・4Rの推進 ・ごみの適正処理の推進
	<p>生活環境保全</p> <p>都市・生活型公害の減少や、気候変動の影響による被害を最小限とする行動の定着がみられ、災害防止対策が強化された「安心・安全に暮らせる」まちを目指す。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・公害防止対策の推進 ・安心かつ安全な生活環境の保全 ・気候変動適応策の推進
	<p>環境行動</p> <p>持続可能な消費行動が生活習慣となっているほか、誰もが気軽に学べる機会が確保され、市民・事業者・行政が協働して環境を保全するまちを目指す。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育や環境学習の推進 ・環境に配慮した行動の実践 ・協働による環境活動の推進

第2次計画と第3次計画骨子（案）の比較図

【第2次環境基本計画】



【第3次環境基本計画】



第 3 次環境基本計画 策定スケジュール

項 目		R5.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6.1月	2月	3月	備考
1.	進捗状況の評価	評価												
2.	アンケート調査	取りまとめ												
3.	策定本部 (庁内委員会)		①			②			③					
4.	環境審議会		①			②			③					
5.	ワークショップ学生編 // 市民編			① ② ② ③	③									
6.	議会報告 (都市環境(常)協議会)			①						②			③	
7.	パブリックコメント									意見募集				
8.	その他		(政策推進課) 総合計画 財政推計・事業ヒアリング											
特 記 事 項		<p>策定本部、環境審議会 ① (審議会 諮問) 進捗状況の評価、アンケート調査結果、基本計画骨子案、スケジュール ② 基本計画素案 ③ 基本計画案 (審議会 答申)</p> <p>ワークショップ学生編 ① 10年後、どんなまちが理想ですか？ ② 環境の情報をみんなに届けるいい方法は？ ③ どんなイベントなら参加したい？</p> <p>ワークショップ市民編 ② 市の環境課題 (良いところ、悪いところ、めざす将来環境像など) ③ 環境課題の解決策 (実現のために何をすべきか、何ができるか)</p> <p>議会報告 ① 進捗状況の評価、アンケート調査結果、基本計画骨子案、スケジュール ② 基本計画案 ③ 基本計画データ配付</p>												

四街道市の環境に関する 意識調査報告書

令和5年3月
四街道市

目次

1 調査の概要	1
1-1 目的	1
1-2 調査対象・調査方法	1
1-3 調査項目	2
2 市民アンケート調査の結果	3
2-1 回答者の属性について	3
(1) 年齢	3
(2) 居住年数	3
(3) 居住地域	4
(4) 住居の形態	5
(5) 世帯構成	5
(6) 自動車所有台数	5
2-2 四街道市の環境について	6
(1) 四街道市の環境に関する満足度【A】	6
(2) 四街道市の環境に関する重要度【B】	8
2-3 生物多様性について	10
(1) 市が重点的に取り組むべき生物多様性施策	10
(2) 将来に残したい身近な自然や環境	11
2-4 気候変動問題について	13
(1) 気候変動の影響の認知度	13
(2) 地球温暖化対策設備機器の導入状況	14
(3) 地球温暖化対策設備機器に関心をもてない理由	15
2-5 環境に関する取組状況について	16
(1) 普段取り組んでいる環境活動	16
(2) 環境活動への取組が困難な理由	18
2-6 市の環境施策について	19
(1) 市が重点的に取り組むべき環境施策	19
(2) 市が積極的に進めるべき地球温暖化対策	21
(3) 市の環境情報の入手方法	22
2-7 自由意見	24
3 事業者アンケート調査の結果	25
3-1 事業所の属性について	25
(1) 業種	25
(2) 従業員規模	25
(3) 所在地	26
(4) 建物の形態	27
(5) 四街道市での事業年数	27
3-2 事業所の環境活動について	28
(1) 事業所で取り組んでいる環境活動	28
3-3 気候変動対策について	30
(1) 地球温暖化対策設備機器の導入状況	30

(2) 脱炭素経営の取組状況.....	31
(3) 市が重点的に進めるべき気候変動対策.....	32
3-4 食品ロス・プラスチックごみ対策について.....	33
(1) 取り組んでいる食品ロス対策.....	33
(2) 取り組んでいるプラスチックごみ対策.....	34
3-5 環境活動における効果と課題について.....	35
(1) 環境活動で得られた効果.....	35
(2) 環境活動を進めるにあたっての課題.....	36
3-6 市の支援や協力・連携について.....	37
(1) 市が実施すると望ましいサポート.....	37
(2) 取り組んでいる地域環境活動.....	38
(3) 協力、支援できる活動分野.....	39
(4) 協力、支援できる取組.....	40
3-7 自由意見.....	41
4 調査結果のまとめ.....	42
4-1 市民意識調査結果.....	42
4-2 事業者意識調査結果.....	44
巻末資料.....	1
アンケート調査票.....	2
① 市民アンケート調査票.....	2
② 事業者アンケート調査票.....	10

1 調査の概要

1-1 目的

四街道市では、平成 26 年 6 月に「第 2 次四街道市環境基本計画」を策定し、「みどりと都市が調和した心地よく暮らせるまち」を望ましい環境像として掲げ、計画に沿ってさまざまな取組を進めてきました。

このたび、現計画の期間が満了を迎えることと、気候変動対策など昨今の国内外の動向の変化を受け、令和 6 年度を初年度とする「第 3 次四街道市環境基本計画」を策定することとなりました。

新たな計画を策定するにあたり、市民や事業者の皆様から、住んでいる地域の環境の満足度や課題など、ご意見をお伺いするため、アンケート調査を実施いたしました。

1-2 調査対象・調査方法

	市民	事業者
調査対象	四街道市に住む満 18 歳以上の 2,000 人	四街道市内の事業所 200 か所
抽出法	「住民基本台帳」の地区別の層化抽出法による無作為抽出	市内事業所の業種別の層化抽出法による無作為抽出
調査方法	配付方法：調査票の郵送 回収方法：返信用封筒による郵送及び WEB 回答	
調査期間	令和 4 年 12 月 23 日～令和 5 年 1 月 13 日	
配布数※	1,994	193
回収数 (うち WEB 回答数)	758 (124)	57 (10)
回収率	38.0%	29.5%

※抽出した宛名に発送後、尋ねあたりなしで未達となった件数を引いて配布数とします。

1-3 調査項目

市民	事業者
①四街道市の環境に関する満足度と重要度	①事業所の環境活動と今後の予定
②市が重点的に取り組むべき生物多様性施策	②地球温暖化対策設備導入状況及び今後の意向
③将来に残したい身近な自然や環境	③脱炭素経営の取組状況及び今後の意向
④気候変動の影響の認知度	④市が重点的に進めるべき気候変動対策
⑤地球温暖化対策設備導入状況及び今後の意向	⑤食品ロス対策の取組状況及び今後の意向
⑥普段取り組んでいる環境活動及び今後の予定	⑥プラスチックごみ対策の取組状況及び今後の意向
⑦市が重点的に取り組むべき環境施策	⑦環境活動における効果と課題
⑧市が積極的に進めるべき地球温暖化対策	⑧市が実施すると望ましいサポート
⑨市の環境情報の入手方法	⑨地域での環境活動、協力・支援できる分野、取組

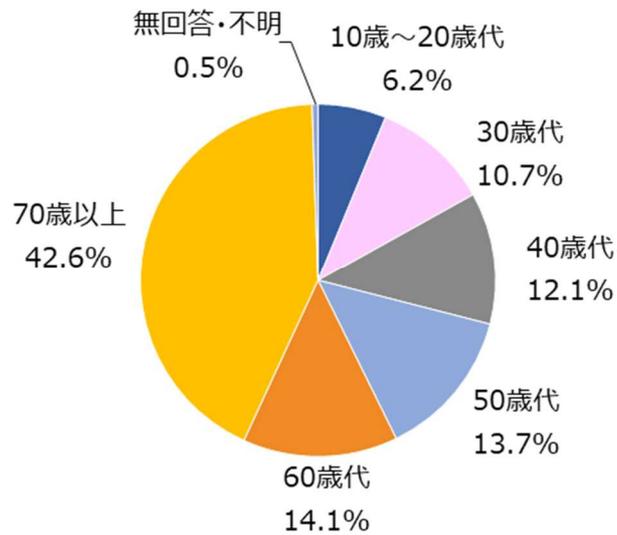
※集計にあたっての留意点

- ・回答結果は、小数点第2位を四捨五入のうえ割合を示しているため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、全体の回答数に対する割合を示しているため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・数表等に記載された「n」は、回答割合算出上の基数（有効回答数）を示しています。
- ・各設問において、回答の記入がないもの及び、回答が識別できないものについては、「無回答・不明」として扱っています。

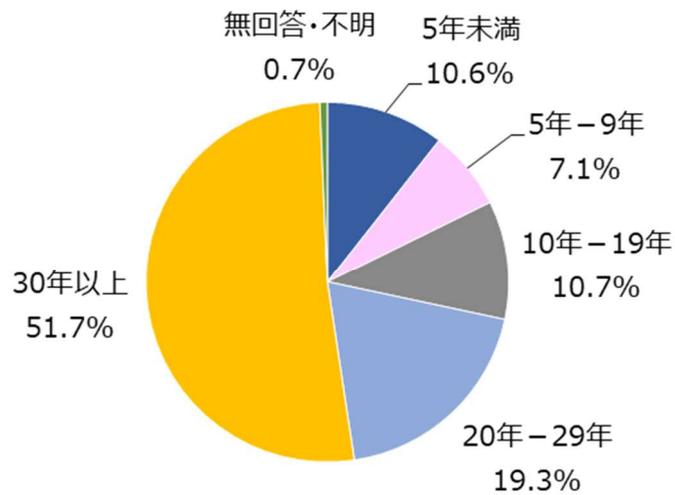
2 市民アンケート調査の結果

2-1 回答者の属性について

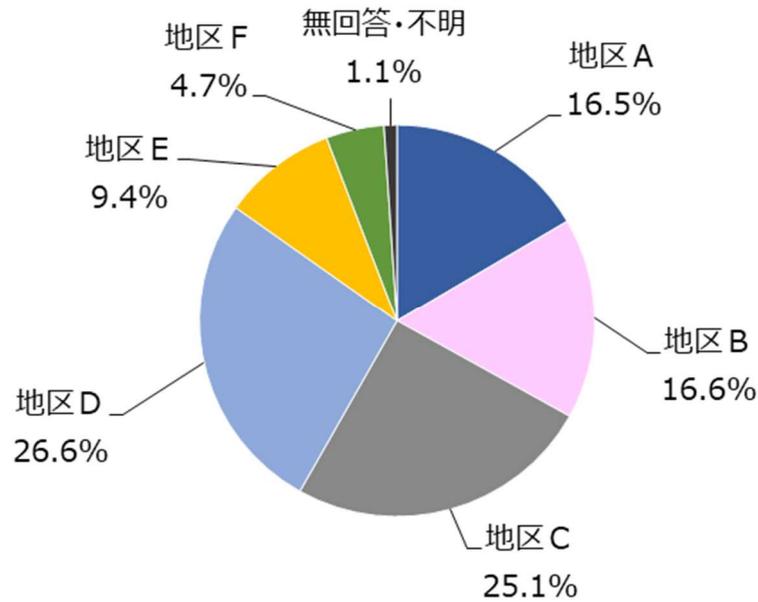
(1) 年齢



(2) 居住年数



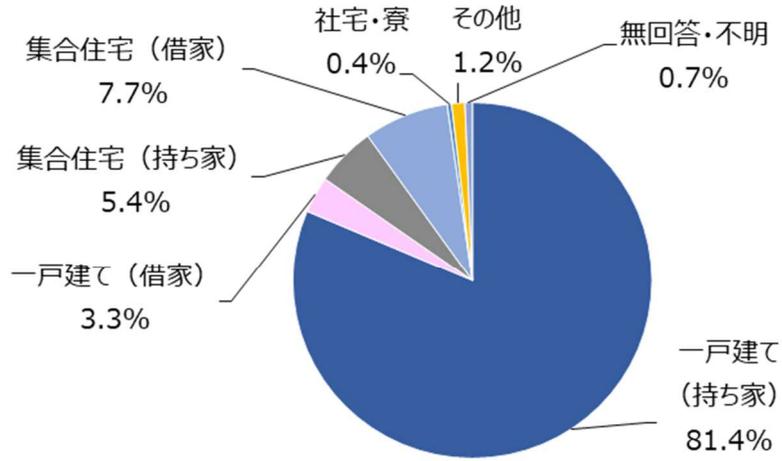
(3) 居住地域



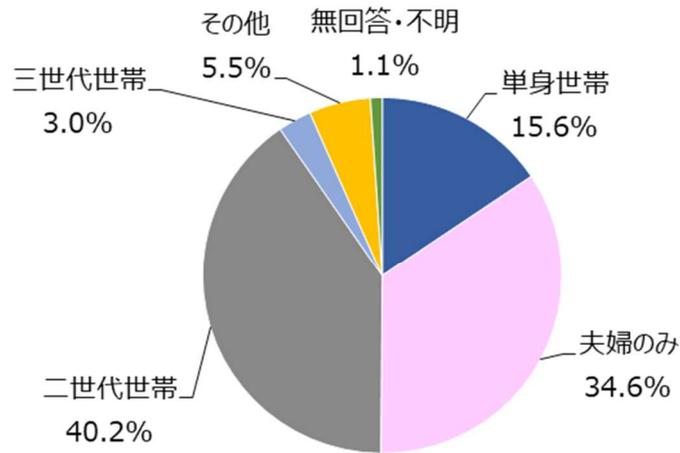
●表：地区A～Fの地域の振り分け一覧

地区名	該当する町・字名
1. 地区A	亀崎、物井、長岡、千代田1丁目、千代田2丁目、千代田3丁目、千代田4丁目、千代田5丁目、池花1丁目、池花2丁目、もねの里1丁目、もねの里2丁目、もねの里3丁目、もねの里4丁目、もねの里5丁目、もねの里6丁目
2. 地区B	栗山、内黒田、萱橋、大日（富士見ヶ丘・今宿・大作岡・畔田台・萱橋台・中志津）、つくし座1丁目、つくし座2丁目、つくし座3丁目、さちが丘1丁目、さちが丘2丁目
3. 地区C	下志津新田、四街道、四街道1丁目、四街道2丁目、四街道3丁目、大日（緑ヶ丘・桜ヶ丘）、鹿放ヶ丘、さつきヶ丘、中央
4. 地区D	鹿渡、和良比、みのり町、美しが丘1丁目、美しが丘2丁目、美しが丘3丁目、めいわ1丁目、めいわ2丁目、めいわ3丁目、めいわ4丁目、めいわ5丁目
5. 地区E	山梨、小名木、成山、中台、中野、南波佐間、上野、和田、旭ヶ丘1丁目、旭ヶ丘2丁目、旭ヶ丘3丁目、旭ヶ丘4丁目、旭ヶ丘5丁目、みそら1丁目、みそら2丁目、みそら3丁目、みそら4丁目、たかおの杜
6. 地区F	吉岡、鷹の台1丁目、鷹の台2丁目、鷹の台3丁目、鷹の台4丁目

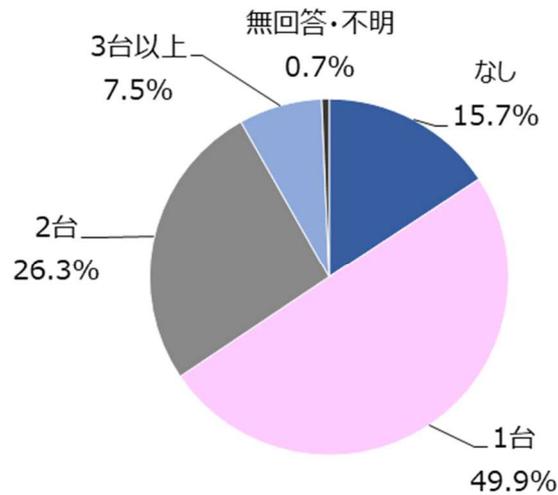
(4) 住居の形態



(5) 世帯構成



(6) 自動車所有台数



2-2 四街道市の環境について

(1) 四街道市の環境に関する満足度【A】

問7 四街道市の環境について、日ごろどのように感じていますか。各項目の満足度【A】と重要度【B】について、あてはまる番号1～5の中から1つだけ○で囲んでください。

四街道市の環境について日ごろ感じていることについて、『満足』の回答が多かった項目は、「⑩風水害や土砂災害などの対策がされており、安心して暮らすことができる（64.5%）」、「⑱環境学習の機会がある（64.4%）」、「⑭太陽光など再生可能エネルギーが活用された暮らしができています（64.0%）」であり、いずれも6割を超えています。

一方、『不満』の回答が多かった項目は、「⑤緑と親しめる公園・緑地が整備されている（25.7%）」、「⑪騒音・振動の少ない静かな生活が守られている（23.0%）」、「③河川や水路、湿地と親しめる空間がある（21.1%）」となっています。

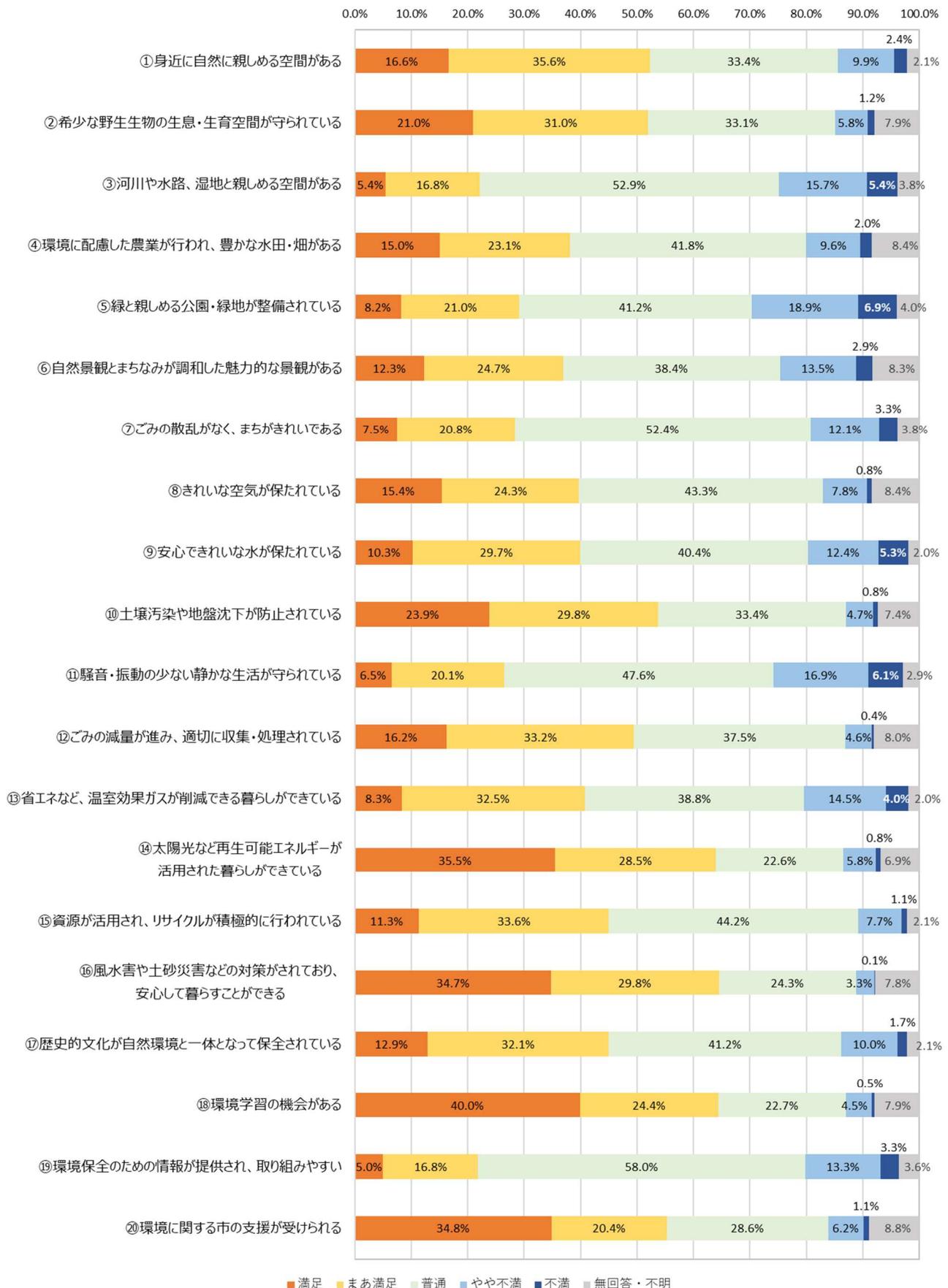
●表：各項目における満足（計）及び不満（計）の割合

項目	満足（計）※1	不満（計）※2
①身近に自然に親しめる空間がある	52.2%	12.3%
②希少な野生生物の生息・生育空間が守られている	52.0%	7.0%
③河川や水路、湿地と親しめる空間がある	22.2%	21.1%
④環境に配慮した農業が行われ、豊かな水田・畑がある	38.1%	11.6%
⑤緑と親しめる公園・緑地が整備されている	29.2%	25.7%
⑥自然景観とまちなみが調和した魅力的な景観がある	36.9%	16.4%
⑦ごみの散乱がなく、まちがきれいである	28.4%	15.4%
⑧きれいな空気が保たれている	39.7%	8.6%
⑨安心できれいな水が保たれている	40.0%	17.7%
⑩土壌汚染や地盤沈下が防止されている	53.7%	5.5%
⑪騒音・振動の少ない静かな生活が守られている	26.5%	23.0%
⑫ごみの減量が進み、適切に収集・処理されている	49.5%	5.0%
⑬省エネなど、温室効果ガスが削減できる暮らしができています	40.8%	18.5%
⑭太陽光など再生可能エネルギーが活用された暮らしができています	64.0%	6.6%
⑮資源が活用され、リサイクルが積極的に行われている	45.0%	8.7%
⑯風水害や土砂災害などの対策がされており、安心して暮らすことができる	64.5%	3.4%
⑰歴史的文化が自然環境と一体となって保全されている	45.0%	11.7%
⑱環境学習の機会がある	64.4%	5.0%
⑲環境保全のための情報が提供され、取り組みやすい	21.8%	16.6%
⑳環境に関する市の支援が受けられる	55.3%	7.3%

※1 満足（計）は、「満足」回答及び「まあ満足」回答を合計し、全体の割合を算出しています。

※2 不満（計）は、「やや不満」回答及び「不満」回答を合計し、全体の割合を算出しています。

● 図：問 7A 満足度回答結果まとめ



(2) 四街道市の環境に関する重要度【B】

問7 四街道市の環境について、日ごろどのように感じていますか。各項目の満足度【A】と重要度【B】について、あてはまる番号1~5の中から1つだけ○で囲んでください。

四街道市の環境の重要度について、『重要』の回答が多かった項目は、「②希少な野生生物の生息・生育空間が守られている（67.7%）」、「⑫ごみの減量が進み、適切に収集・処理されている（66.8%）」、「④環境に配慮した農業が行われ、豊かな水田・畑がある（65.2%）」であり、いずれも6割を超えています。

一方、『重要でない』の回答が多かった項目は、「⑦ごみの散乱がなく、まちがきれいである（32.5%）」、「⑰歴史的文化が自然環境と一体となって保全されている（25.3%）」、「⑲環境保全のための情報が提供され、取り組みやすい（25.1%）」となっています。

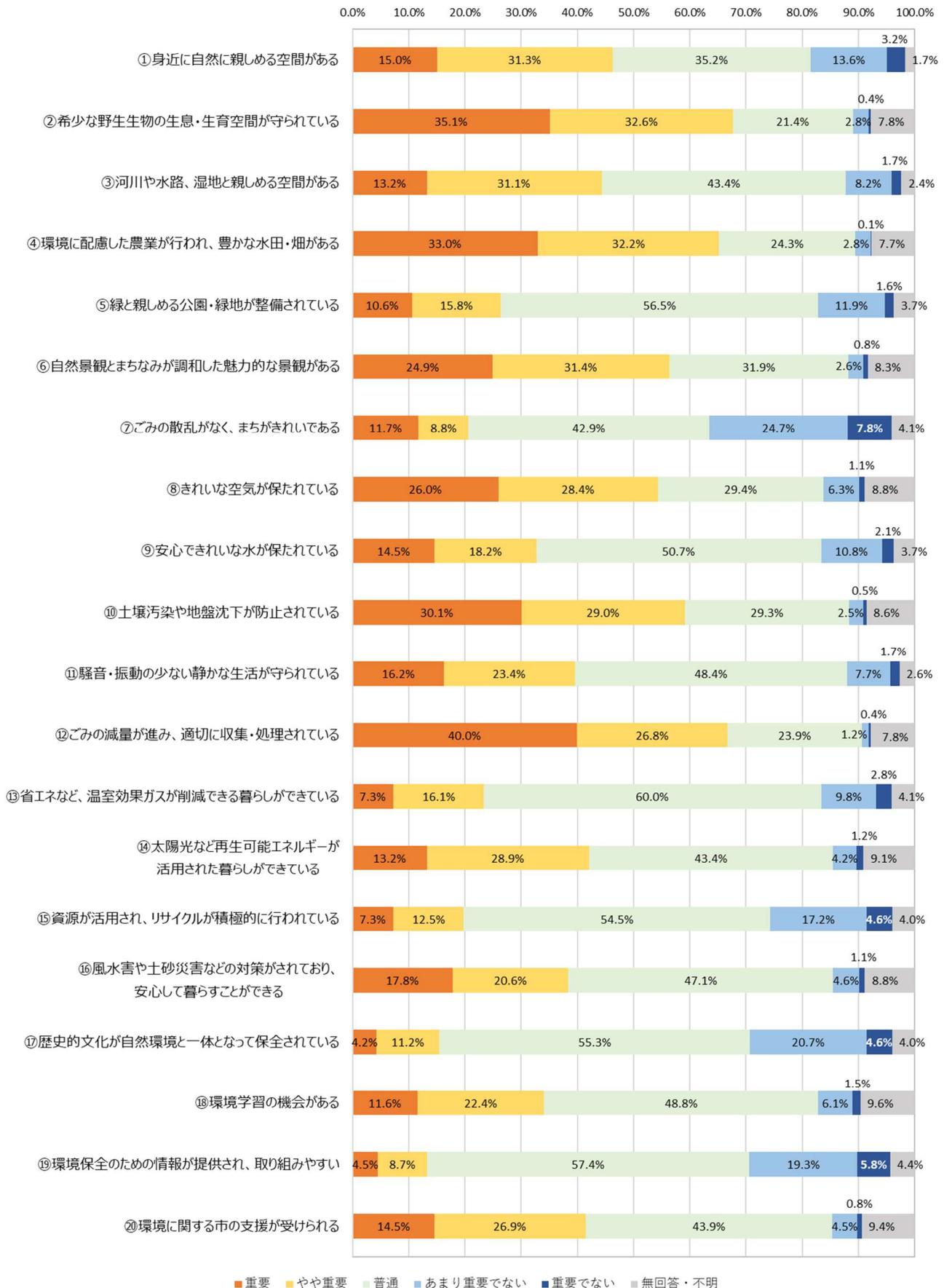
●表：各項目における重要（計）及び重要でない（計）の割合

項目	重要（計）※1	重要でない（計）※2
①身近に自然に親しめる空間がある	46.3%	16.8%
②希少な野生生物の生息・生育空間が守られている	67.7%	3.2%
③河川や水路、湿地と親しめる空間がある	44.3%	9.9%
④環境に配慮した農業が行われ、豊かな水田・畑がある	65.2%	2.9%
⑤緑と親しめる公園・緑地が整備されている	26.4%	13.5%
⑥自然景観とまちなみが調和した魅力的な景観がある	56.3%	3.4%
⑦ごみの散乱がなく、まちがきれいである	20.6%	32.5%
⑧きれいな空気が保たれている	54.4%	7.4%
⑨安心できれいな水が保たれている	32.7%	12.9%
⑩土壌汚染や地盤沈下が防止されている	59.1%	3.0%
⑪騒音・振動の少ない静かな生活が守られている	39.6%	9.4%
⑫ごみの減量が進み、適切に収集・処理されている	66.8%	1.6%
⑬省エネなど、温室効果ガスが削減できる暮らしができています	23.4%	12.5%
⑭太陽光など再生可能エネルギーが活用された暮らしができています	42.1%	5.4%
⑮資源が活用され、リサイクルが積極的に行われている	19.8%	21.8%
⑯風水害や土砂災害などの対策がされており、安心して暮らすことができる	38.4%	5.7%
⑰歴史的文化が自然環境と一体となって保全されている	15.4%	25.3%
⑱環境学習の機会がある	34.0%	7.5%
⑲環境保全のための情報が提供され、取り組みやすい	13.2%	25.1%
⑳環境に関する市の支援が受けられる	41.4%	5.3%

※1 重要（計）は、「重要」回答及び「やや重要」回答を合計し、全体の割合を算出しています。

※2 重要でない（計）は、「あまり重要でない」回答及び「重要でない」回答を合計し、全体の割合を算出しています。

● 図：問 7B 重要度回答結果まとめ



2-3 生物多様性について

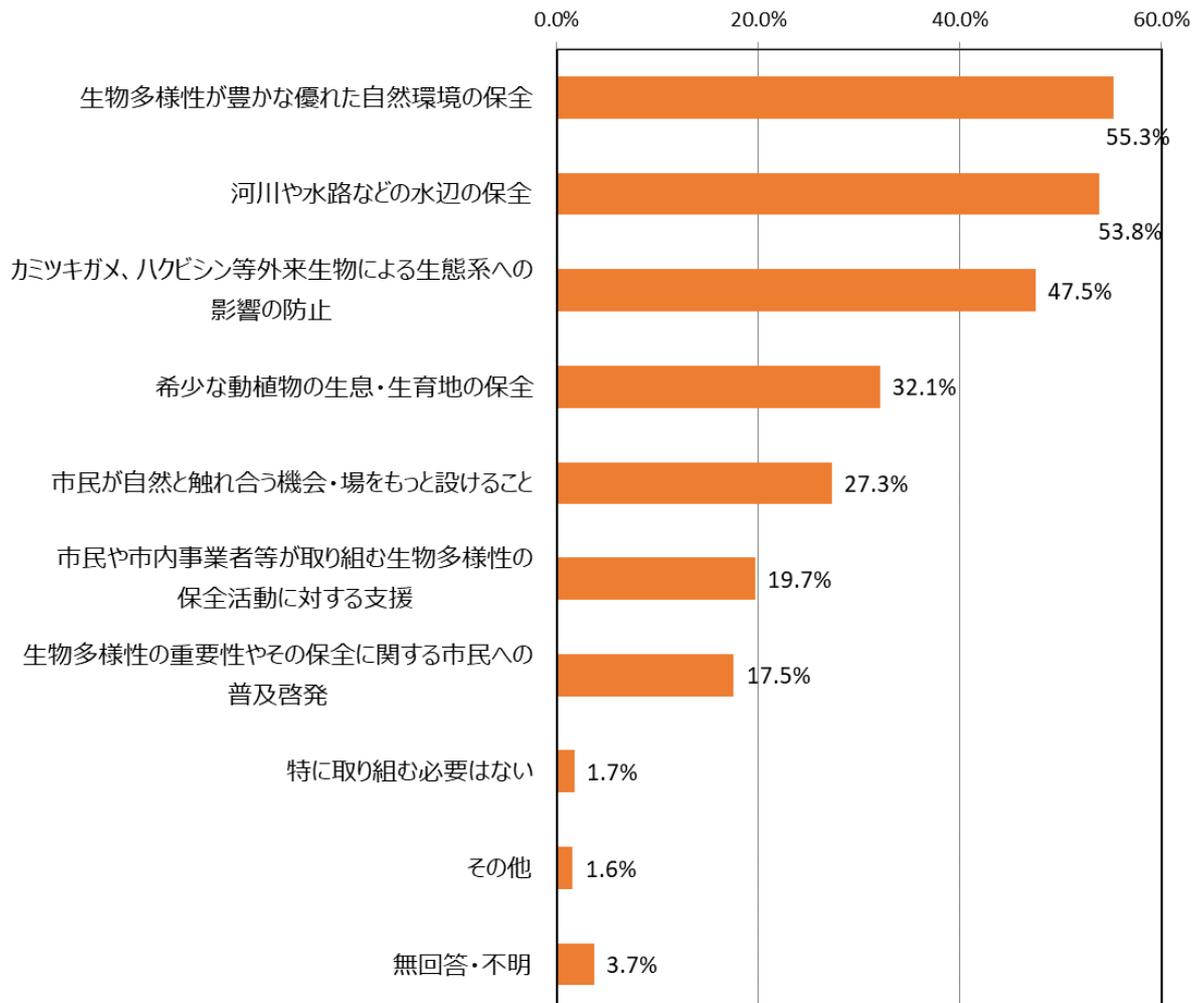
(1) 市が重点的に取り組むべき生物多様性施策

問 8 生物多様性を守るために市が重点的に取り組むべきことはどれだと思いますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んで下さい。

生物多様性について、市が重点的に取り組むべき施策を聞いたところ、「生物多様性が豊かな優れた自然環境の保全（55.3%）」が最も多く、次いで、「河川や水路などの水辺の保全（53.8%）」、「カミツキガメ、ハクビシン等外来生物による生態系への影響の防止（47.5%）」と続いています。

「特に取り組む必要はない（1.7%）」の結果から、多くの市民が何らかの取組が必要という認識であるものの、「市民や市内事業者等が取り組む生物多様性の保全活動に対する支援（19.7%）」「生物多様性の重要性やその保全に関する市民への普及啓発（17.5%）」と市民に向けた取組の優先度は比較的低いことがうかがえます。

● 図：問 8 回答結果まとめ（回答多い項目順）



(2) 将来に残したい身近な自然や環境

問 9 四街道市内の身近な自然や環境で、将来に残したい場所などを教えてください。
具体的な地名とその理由を3つまでご記入ください。

四街道市内の身近な自然や環境で、将来に向けて残したい場所を聞いたところ、延べ528件の回答がありました。なお、地名の特定が難しかった一部の回答については、「田んぼ・田園, 農地」、「山林, 森林, 里山」などの抽象的な表現で整理し、集計しています。

●表：問 9 回答結果まとめ

地名・地域等	意見数	理由
たろやまの郷	22	・自然の宝庫だから ・里山の景観を守っているから など
ホテルの自然観察地（ホテル自生地）	17	・ホテルそのものが希少であり、水質の良さ、土地の特徴を示しているから ・ホテルの生息地を守りたいから など
四街道プレーパークどんぐりの森	11	・子どもが自然と触れ合え、さまざまな体験ができるから ・自由にのびのび遊べる場所は重要だから など
栗山小鳥の森	10	・憩いの場として親しまれているから ・年々、野鳥が少なくなっている気がするから など
大土手山（ルボン山）	7	・歴史ある場所だから ・見晴らしが良いから など
ムクロジの里山	6	・メダカが生息しているから ・もっと整備して水辺の公園にしてみたいから など
旧郷土の森	2	・キンラン、クサナギオゴケ等希少植物があるから ・復活してほしいから
月見の里	1	・放置林を手入れして子供の教育に貢献していると思うから
田んぼ・田園, 農地	22	・自然を感じられる, 自然に癒されるから ・風景が美しいから など
特定の地区（山梨, 吉岡, 和良比等）	21	・景観が美しい, 里山風景, 田園風景等を残してほしい ・自然環境の保全, 自然と住宅地の調和風景の保全 など
山林, 森林, 里山	8	・市内の貴重な自然だから ・森林があることで、鳥の鳴く声が聴けるから など
自然・緑地	5	・散歩でふれあえる自然やみどりが良いから など

地名・地域等	意見数	理由
四街道総合公園	96	・敷地が広くて駐車場も沢山あるから ・四街道市民にとって大会等ができる場所だから ・ウォーキングコースもあって緑と身近にふれあえるから など
四街道中央公園	76	・四季を感じる自然環境やイベントの場だから ・桜や八重桜など毎年見ごたえがあるから ・市の中心部にあり、市民が利用しやすいから など
美しが丘近隣公園	40	・子供を遊ばせられる芝生の広場もあるから ・調整池の野鳥が観察できるから など
物井さとくらし公園	11	・近隣住民の憩いの場となっているから ・大型遊具が珍しく子どもをよく連れていくから など
池花公園	9	・子どもたちの遊びとしてボールや凧上げ等が楽しめるから ・池の生きものや緑と身近にふれあえるから など
わらび近隣公園	8	・住宅地のそばで子供達が伸び伸び遊べる広い公園は貴重だから ・緑、特に桜や梅、紅葉が楽しめるから など
千代田近隣公園	8	・池のまわりの植物と池に棲む魚、鳥と触れ合えるから ・園内に八木原貝塚があるから など
鷹の台公園	7	・近隣住民やペットの散歩など、住民同士のコミュニケーションの場となっているから など
パンダ公園	4	・多くの人が利用しているから など
めいわ公園	2	
その他、公園	22	・具体的な場所はどことはないが、公園は残した方がいいと思うから など
小名木川	24	・川の生き物と直接ふれあえるから ・ほたるなどの生物が生息しているから など
千代田調整池	20	・かわせみが来てくれるくらい自然があるから ・自然環境に恵まれいやされるから など
手線川	5	・里山の夕景が残り私を含めて多くの市民がウォーキングしているから など
池花調整池	3	・鯉や亀等の生物がいきいき遊んでるから など
調整池	6	・水辺のない四街道で、水面を見ながら散策できるから など
駅前の松並木、桜通り	7	・四街道のシンボルロードだから など
福星寺（しだれ桜）	6	・しだれ桜をいつまでも保全したいから など
皇産霊神社	4	・近くに子供のあそび場もあり、はだか祭りの歴史もあるから など
物井古屋城跡広場	3	・自然を感じながらジョギングやウォーキングができるから など
鹿渡城跡	2	・多くの種類のドングリを実らせる樹があるから など
物井弁財天	1	・池の鯉と、アオサギが飛んでいるから
熊野神社	1	・歴史保全のため
蔵の図書館	1	・自然の中に図書館があるので落ちつける。
和良比堀込城跡	1	
公共施設	3	・蔵の図書館は自然の中に図書館があるので落ち着けるから など
その他（特になし、他市地名、わからない）	26	

合計	528
----	-----

2-4 気候変動問題について

(1) 気候変動の影響の認知度

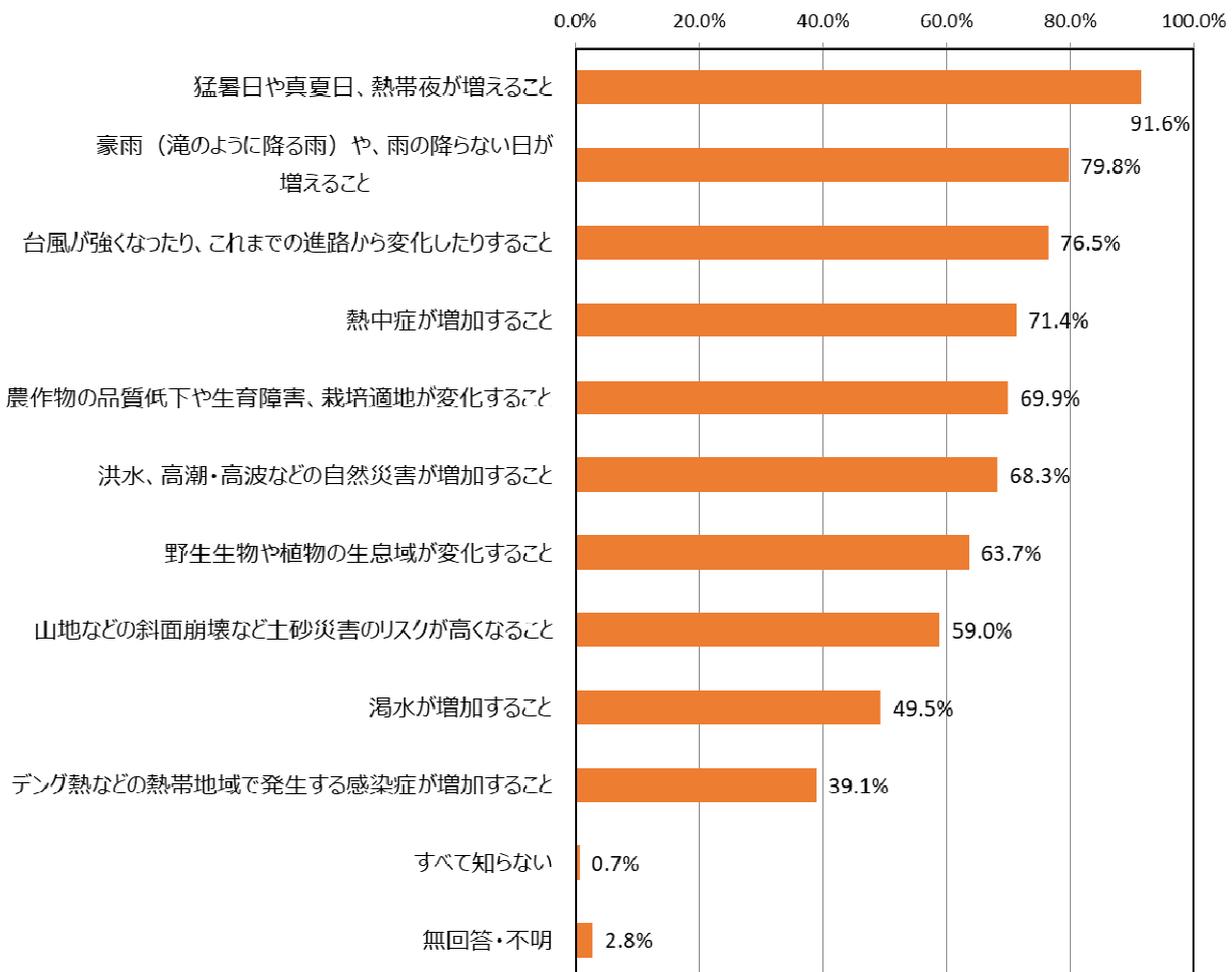
問 10 すでに日本でも地球温暖化による気候変動が観測されており、将来にわたって様々な影響を与えることが予測されています。あなたは、将来起こりうる気候変動の影響について知っていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

気候変動の影響を聞いたところ、「猛暑日や真夏日、熱帯夜が増えること（91.6%）」の認知度が特に高く、「豪雨（滝のように降る雨）や、雨の降らない日が増えること（79.8%）」、「台風が強くなったり、これまでの進路から変化したりすること（76.5%）」、「熱中症が増加すること（71.4%）」、と続いています。

最も認知度が低かったのは「デング熱などの熱帯地域で発生する感染症が増加すること（39.1%）」でした。

「すべて知らない」と回答したのは0.7%であり、ほとんどの人が気候変動の影響について、何らかを認知している結果となっています。

● 図：問 10 回答結果まとめ（回答多い項目順）



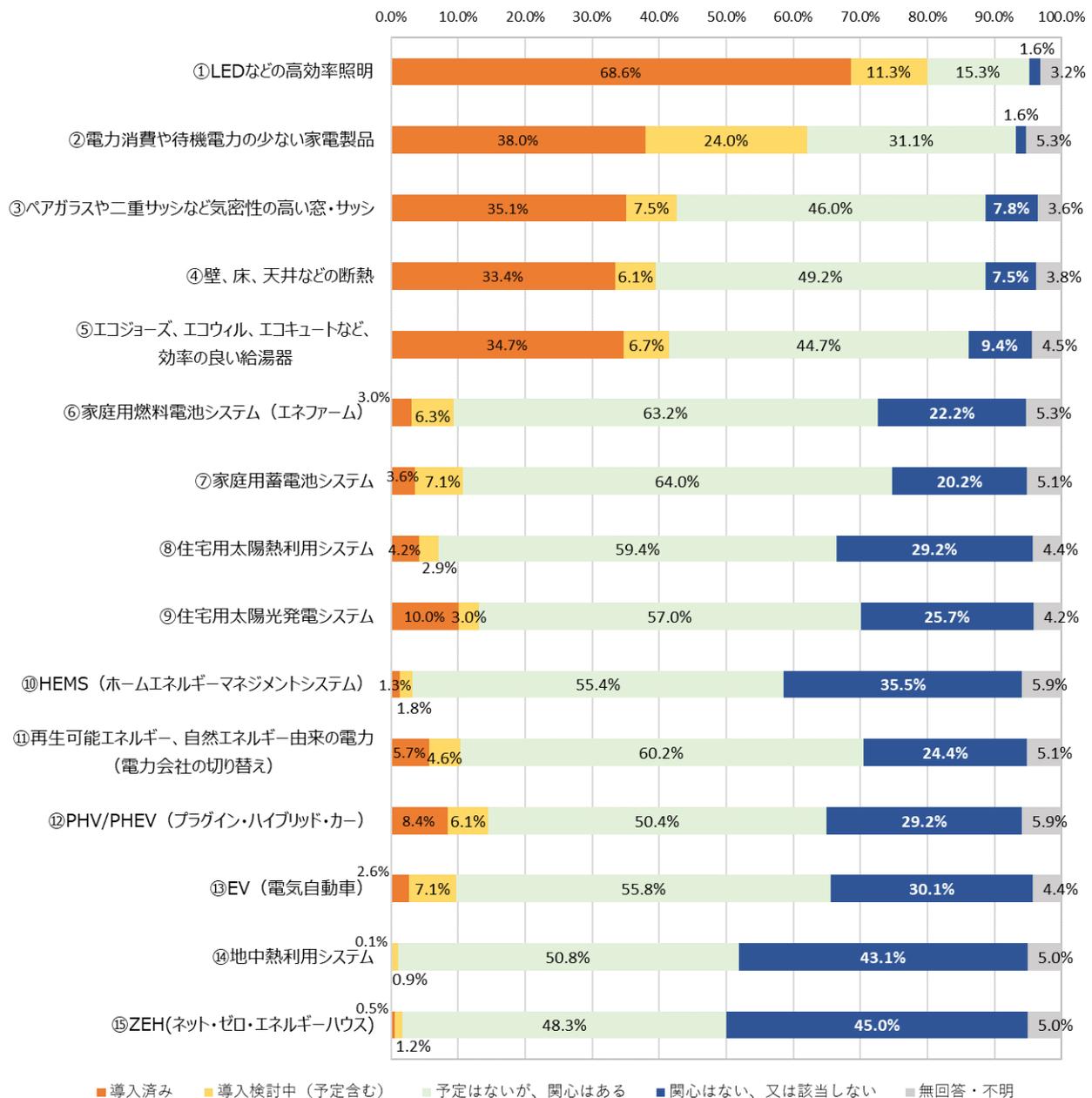
(2) 地球温暖化対策設備機器の導入状況

問 11 地球温暖化対策につながるそれぞれの項目について、あてはまる番号 1~4
の中から 1 つだけ○で囲んでください。

地球温暖化防止につながる機器や設備などの導入状況を聞いたところ、『導入済み』の割合は「①LED などの高効率照明 (68.6%)」が最も高く、「②電力消費や待機電力の少ない家電製品 (38.0%)」、「③ペアガラスや二重サッシなど気密性の高い窓・サッシ (35.1%)」、「⑤エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯器 (34.7%)」、「④壁、床、天井などの断熱 (33.4%)」と続いています。

また、『予定はないが、関心はある』の回答を合わせると、すべての項目で 5 割を超える結果となっており、地球温暖化対策設備機器への関心の高さがうかがえます。

●図：問 11 回答結果まとめ



(3) 地球温暖化対策設備機器に関心をもてない理由

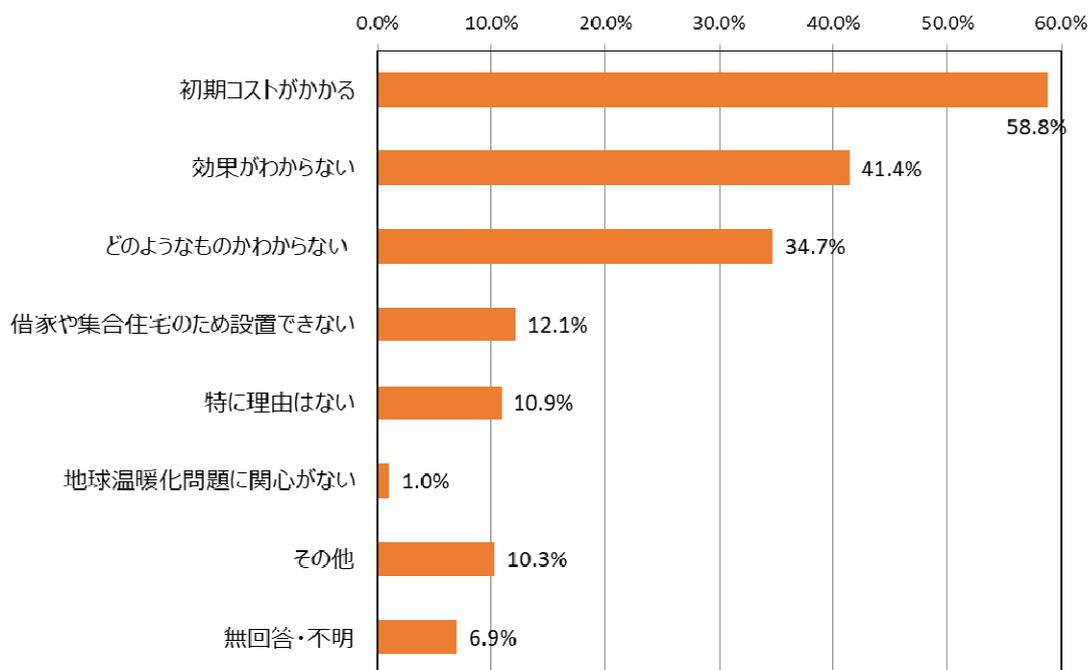
問 12 問 11 で 1 つ以上「関心はない、又は該当しない」と回答した方は、理由としてあてはまる番号すべてを○で囲んでください。

地球温暖化対策設備機器を導入しない理由を聞いたところ、「初期コストがかかる (58.8%)」が最も多く、次いで「効果がわからない (41.4%)」「どのようなものかわからない (34.7%)」となっています。

また、その他の回答から、設備機器の導入には、費用対効果がはっきりしない点や、導入後の保守・修繕等の負担に対する金銭的不安、高齢であることから必要性を感じない等の理由が挙げられました。加えて、太陽光発電設備では、実際の設置トラブルに関する回答のほか、EV (電気自動車) については充電時間等から利便性を感じないなどの声が寄せられました。

一方、「地球温暖化問題に関心がない (1.0%)」の回答率は非常に低くなっています。

● 図：問 12 回答結果まとめ (回答多い項目順)



◆ その他回答

- 費用対効果がまるではっきりしない。
- 導入後の保守・修理費用の負担額。
- 太陽光発電はパワーコンディショナーの交換を見込んで考えるとメリットが無い。
- 太陽光パネルを設置した結果、構造的に雨漏りが発生するようになったので取り外した。
- EV は充電時間が長く利便性を感じない。
- 高齢の為、必要ない。コストが回収できない。メリットがない。

など

2-5 環境に関する取組状況について

(1) 普段取り組んでいる環境活動

問 13 環境に関して、普段あなたが取り組んでいることを教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号 1～3 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

普段取り組んでいる環境活動について聞いたところ、「⑧空き缶やびん、ペットボトル、古紙などの資源を分別している（96.4%）」の実施率が最も高く、9 割を超える人が取り組んでいます。次いで、「①不要な照明やテレビはこまめに消す（89.3%）」「⑨油や調理くずは下水や浄化槽に流さない（88.5%）」、「②冷暖房を使用するときは温度設定に気を付けている（87.9%）」が 8 割以上の実施率となっています。

今後取り組みたい活動としては、「⑬環境ラベル、省エネラベルなどを参考にして環境に優しい商品を購入している（50.0%）」、「⑭風水害に備えて自宅や職場周辺のハザードマップを確認している（40.5%）」が多い結果となっています。

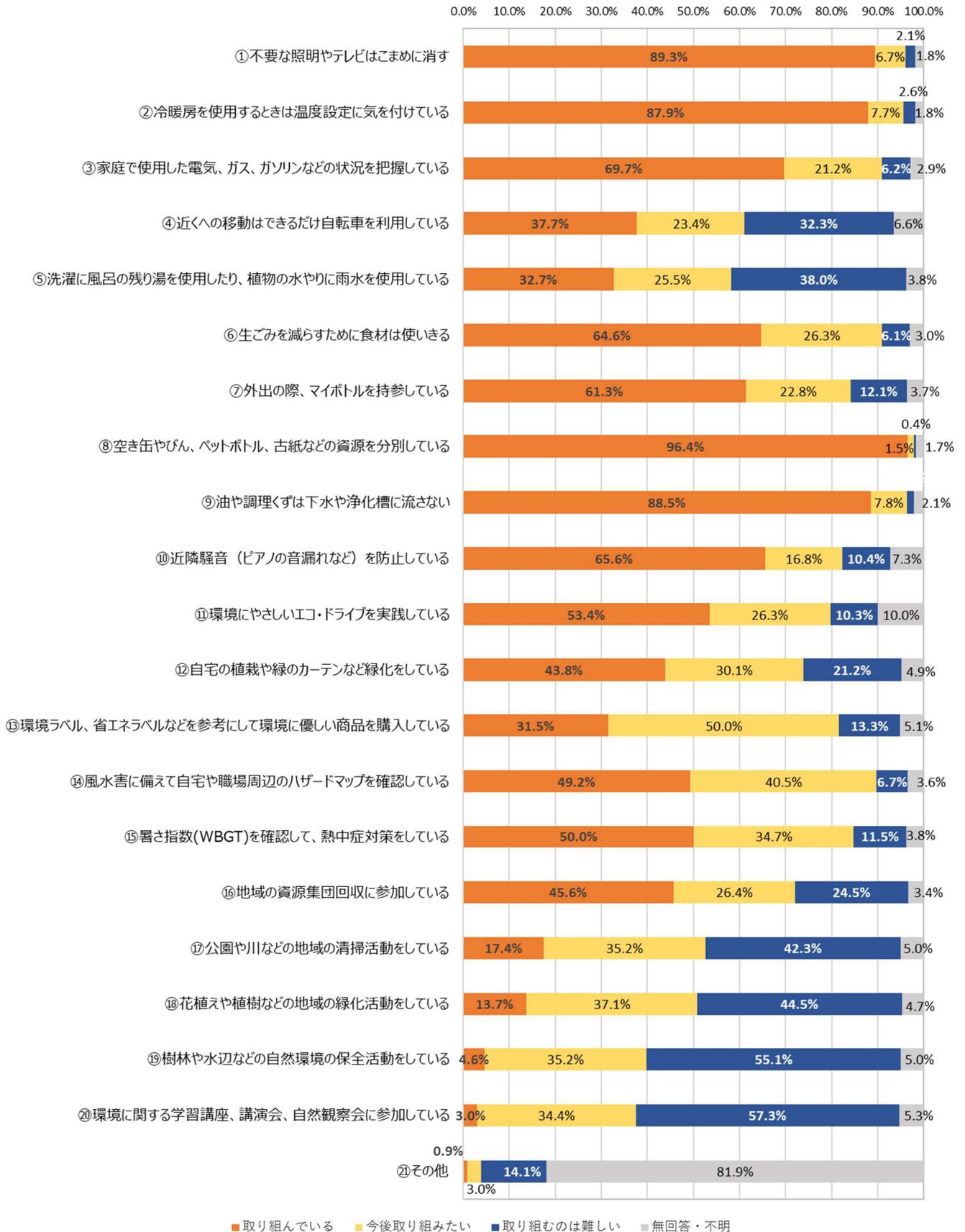
一方、実施率が低い活動については、「⑳環境に関する学習講座、講演会、自然観察会に参加している（3.0%）」と「㉑樹林や水辺などの自然環境の保全活動をしている（4.6%）」が 5%未滿であり、「㉒花植えや植樹などの地域の緑化活動をしている（13.7%）」、「㉓公園や川などの地域の清掃活動をしている（17.4%）」も 2 割を下回る実施率となっており、これらの項目はいずれも、『取り組むのは難しい』の回答率も 4 割を超える結果となっています。

その他の回答では、マイバッグ持参によるプラスチックごみ削減や食品ロス削減行動といったごみの減量対策、太陽光発電の活用、子供たちの環境学習などが挙げられています。

◆その他回答

- マイバッグ持参。マイバッグでプラスチックゴミの削減。
- 食品ロスを無くす。
- 太陽光発電の活用。
- 生垣の美観に気を付けている。
- 植樹。環境保護活動に参加したい。
- 鎌倉市「SDGs 推進隊」のような住民ネットワーク活動や子供たちへの環境学習など。
など

● 図：問 13 回答結果まとめ



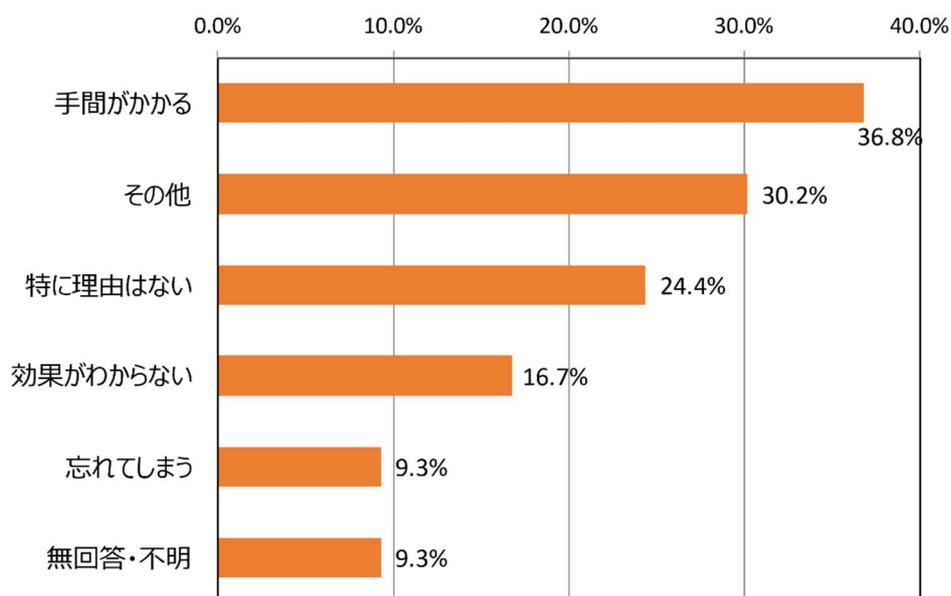
(2) 環境活動への取組が困難な理由

問 14 問 13 で 1 つ以上「取り組むのは難しい」と回答した方は、取り組むのは難しい理由としてあてはまる番号すべてを○で囲んでください。

環境活動への取組が困難な理由を聞いたところ、「手間がかかる(36.8%)」が最も多く、次いで「その他(30.2%)」、「特に理由はない(24.4%)」となっています。

その他の回答では、時間がない、高齢のため、体調や病気のため等、物理的・身体的に環境活動に取り組むことが難しいという回答が多くみられました。また、生活スタイルや休日が合わない、いつ、どこで活動が行われているかなど、内容が伝わってこない等、環境活動を実施するにあたっての情報の不足等が挙げられています。

● 図：問 14 回答結果まとめ（回答多い項目順）



◆ その他回答

- 高齢のため、参加しづらい。体力的に難しい。
- 足腰の故障。健康上の理由。
- 時間がない。仕事のため時間がとれない
- 生活スタイルに合わない。休日が合わない。地域のとりくみと予定が合わない。
- そのような機会があることを知らない。
- いつ、どこで活動が行われているかなど、内容が伝わってこない。
- 活動している団体がわからない。手順等がわからない、情報がない。

など

2-6 市の環境施策について

(1) 市が重点的に取り組むべき環境施策

問 15 四街道市の環境をより良くするために、市が重点的に取り組むべき環境への取組は、どれだと思いますか。あてはまる番号を5つまで○で囲んでください。

市が重点的に取り組むべき環境施策を聞いたところ、「土壌・地下水汚染や有害化学物質への対策(42.2%)」の回答が最も多くなっています。次いで、「ポイ捨てや不法投棄の防止などのまちの美化推進(39.7%)」、「大気、騒音・振動、悪臭などの公害対策(37.3%)」と環境美化や安心・安全分野での施策が続いており、関心の高さがうかがえます。

一方で、「環境イベントや情報発信などによる意識啓発の推進(5.9%)」、「市民や事業所が主体となっていく環境活動への支援(8.4%)」、「環境教育・環境学習の充実(9.4%)」といった環境教育・環境学習分野の回答率はいずれも低く、市に求める施策としては優先度が低くなっていることがうかがえます。

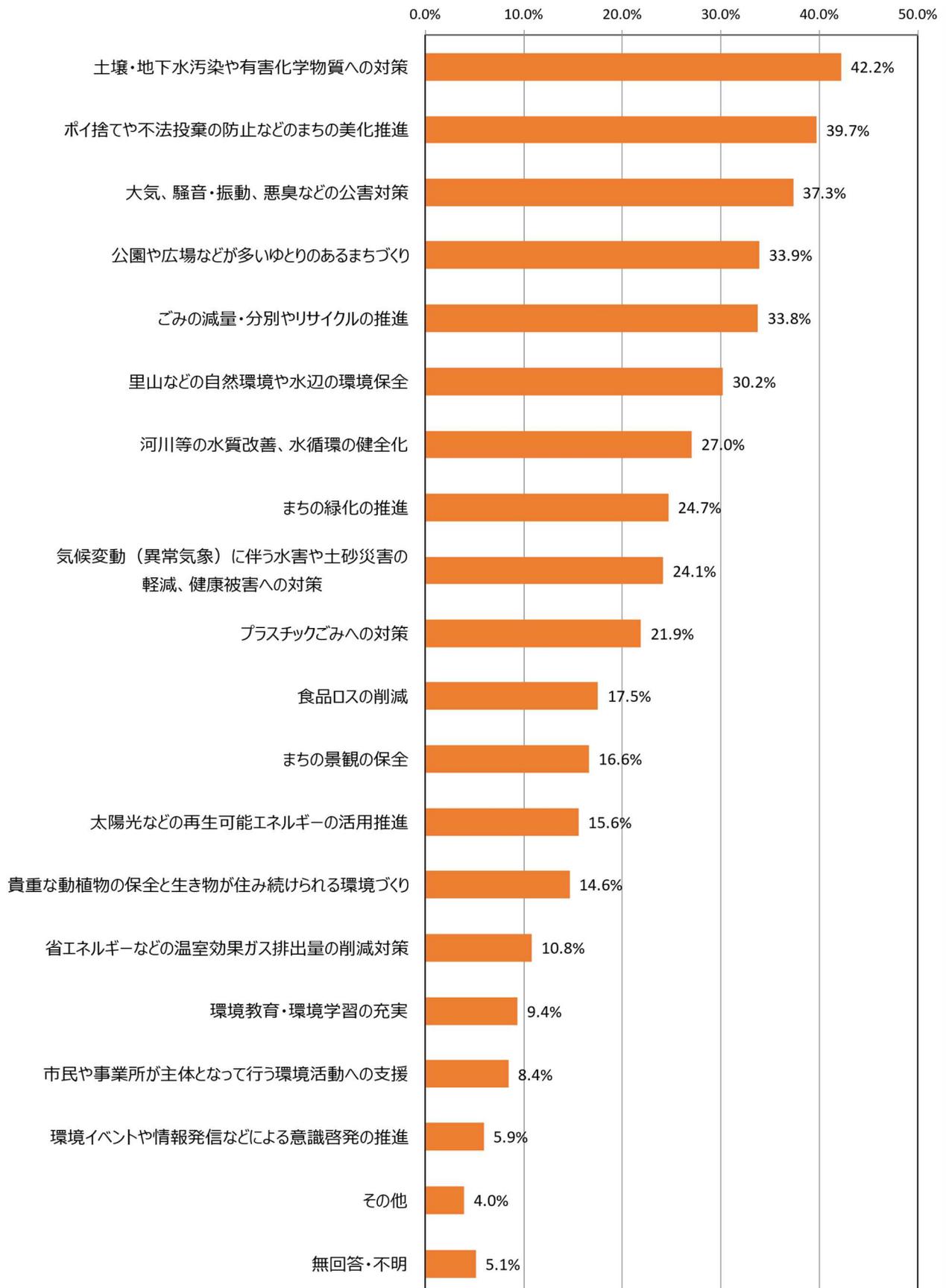
その他の回答では、道路・街灯整備による安全確保や交通渋滞の解消、空き家対策、ヤード対策、野良猫対策などが挙げられています。

◆その他回答

- 安全に歩行できる道路整備。四街道駅から離れている地域の道路や街灯の整備。
- 一部の商業施設や駅周辺での交通渋滞の解消(通行規制等)。
- 公園内緑地、水辺をもっと美しく整備すべき。
- 環境保全と併せて、未来を担う子ども達が自然の中で育ち、遊ぶ場や機会を増やす。
- 空き家対策(景観、倒壊の危険、防犯)。
- ヤードの撲滅。
- 野良猫対策。

など

● 図：問 15 回答結果まとめ（回答多い項目順）



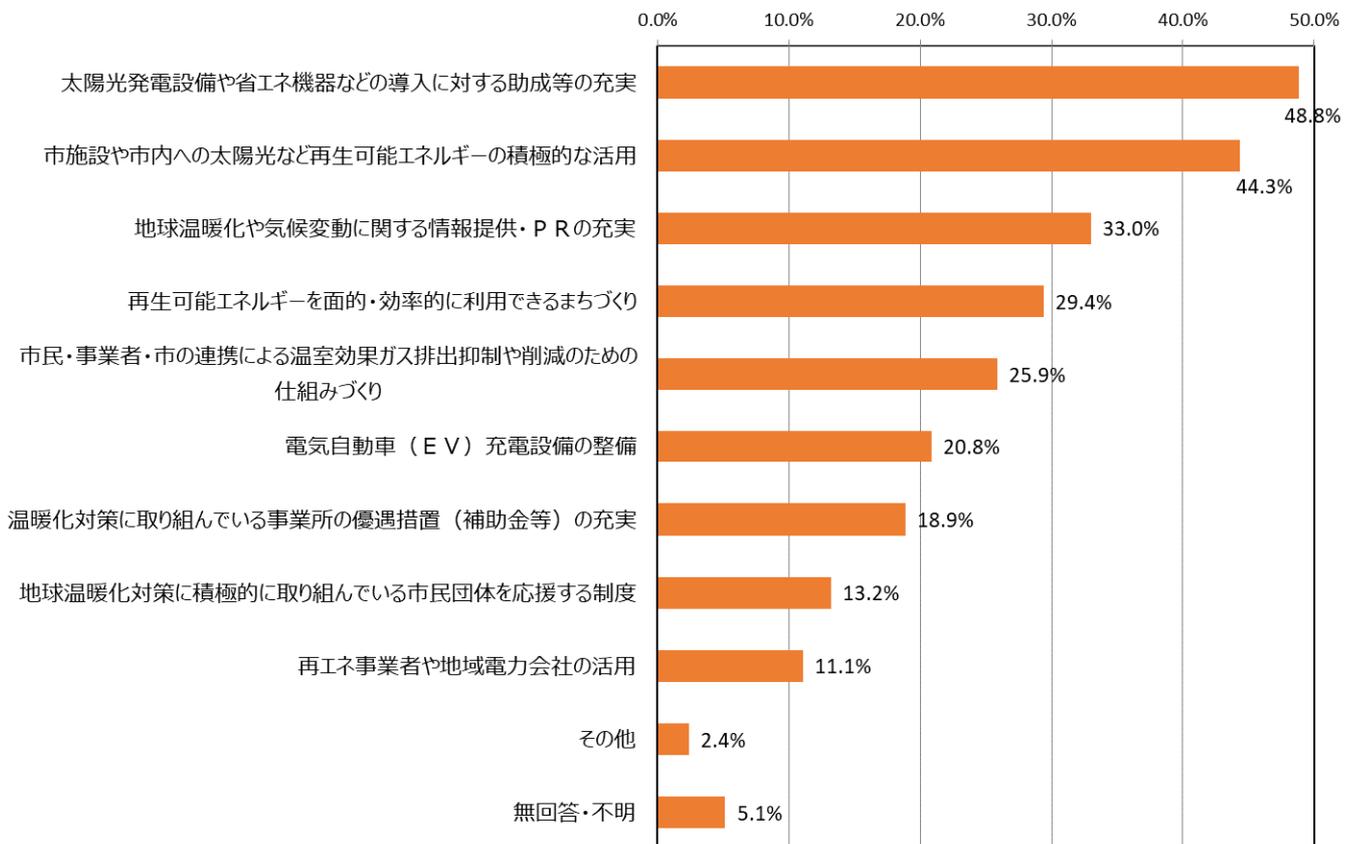
(2) 市が積極的に進めるべき地球温暖化対策

問 16 地球温暖化対策について、市が積極的に進めるべきだと思う取組は、どれだと思いますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

市が積極的に進めるべき地球温暖化対策を聞いたところ、「太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する助成等の充実（48.8%）」が最も多く、次いで「市施設や市内への太陽光など再生可能エネルギーの積極的な活用（44.3%）」、「地球温暖化や気候変動に関する情報提供・PRの充実（33.0%）」と続いています。

その他の回答では、水素自動車の推進、公共交通機関の充実、カーボンニュートラルの実現に向けた補助金や環境配慮型都市へのロードマップ作り、グリーンカーテンの活用などが挙げられています。

● 図：問 16 回答結果まとめ（回答多い項目順）



◆ その他回答

- EVではなく、水素自動車を推進。公共交通機関の充実。
- カーボンニュートラルを普及させる為の補助金。
- 環境配慮型都市へのロードマップづくり。
- グリーンカーテン等の活用。

など

(3) 市の環境情報の入手方法

問 17 市が進めている環境に関する取組などの情報を入手するきっかけは何でしたか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

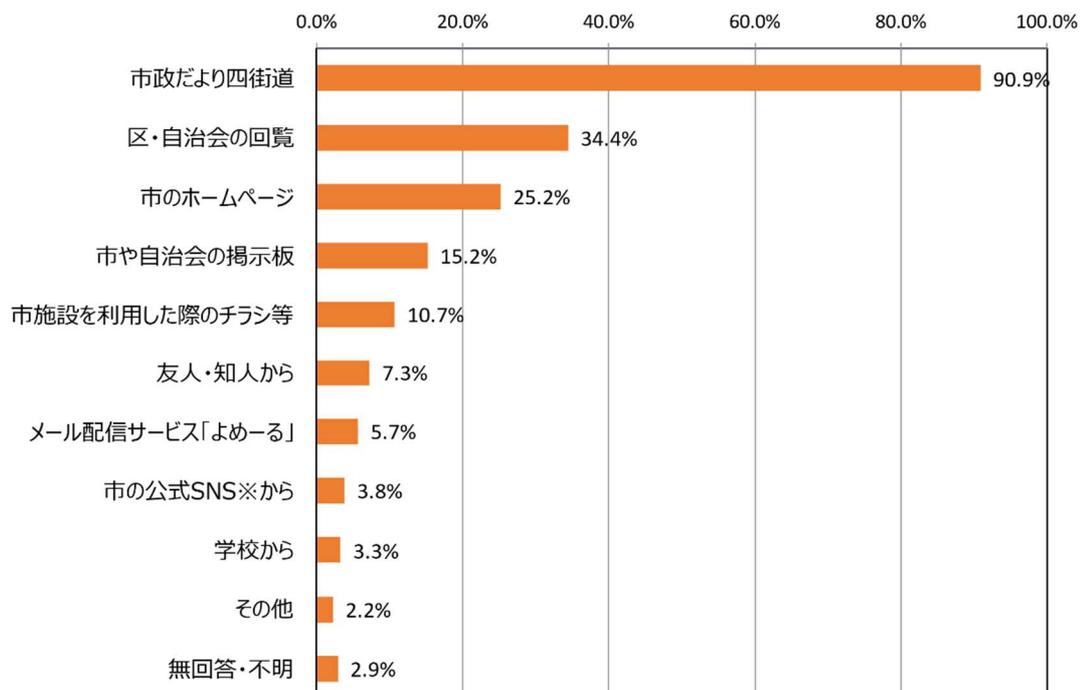
問 18 上記以外で入手しやすい方法はありますか。ご自由にご記入ください。

市の環境情報の入手方法を聞いたところ、「市政だより四街道（90.9%）」が圧倒的に多い結果となっています。次いで、「区・自治会の回覧（34.4%）」、「市のホームページ（25.2%）」と続いています。

その他の回答では、議会だより、インターネット上の掲示板や、このアンケートで知ったという声が寄せられています。

また、この他に入手しやすい方法を聞いたところ、手段としては、ポスターやフリーペーパーなど印刷物の提案と、市政放送の活用や PR 映像の提案に加え、LINE などのスマホへのデータ配信等が挙げられています。情報を入手する場所・機会としては、主に駅、市役所、図書館、スーパーやコンビニ等の普段から人が多く集まる場所や、小中学校等の子どもを通じた情報発信が挙げられています。

● 図：問 17 回答結果まとめ（回答多い項目順）



※SNS (Twitter、Facebook、YouTube、Instagram、LINE)

◆ 問 17 その他回答

- 議会だより。市議よりの報告書。
- インターネット上のまち掲示板。
- このアンケートで初めて知った。アンケート調査票をもらって分かった。
- 特になし。知らない。

など

◆問 18 その他入手しやすい方法

- 市政テレビを活用する。
- 図書館での展示。
- 市役所や駅、バス停など人が集まりやすいところに PR 映像を流す。
- 四街道駅に活用する。駅の掲示板。駅に置いてあるフリーペーパー。
- 市民全員に LINE の登録をしてもらう(注意情報限定)。
- 年配者は常に SNS を活用しているわけではない。行政サイドがもっと情報に接する場を提供してもらいたいと思う。
- スーパーやコンビニにポスターをはる。
- コンビニでのフリーペーパー。
- 新聞社と協力してピックアップ記事。
- 会社(職場)等でのホームページの活用、企業から発信等。
- 小中高校生への教育を通じて。市民サークルやネットワークへの啓発活動。
- 子供からの情報。学校での教育や、リーフレットなどから、知ることが割と多いし、大人(親)も知るきっかけとなる。
- 口コミで情報を確認している。
- お祭(参加型)等で表彰者(団体含む)報奨金、紹介。

など

2-7 自由意見

最後に、環境に関わる意見等を自由記述形式で求めたところ、212人（27.9%）の方からの記入がありました。以下は、記入内容を分類し表にまとめたものです。一人で複数の意見を記入している場合は、それぞれ1件として数えているため、延べ件数は270件となりました。

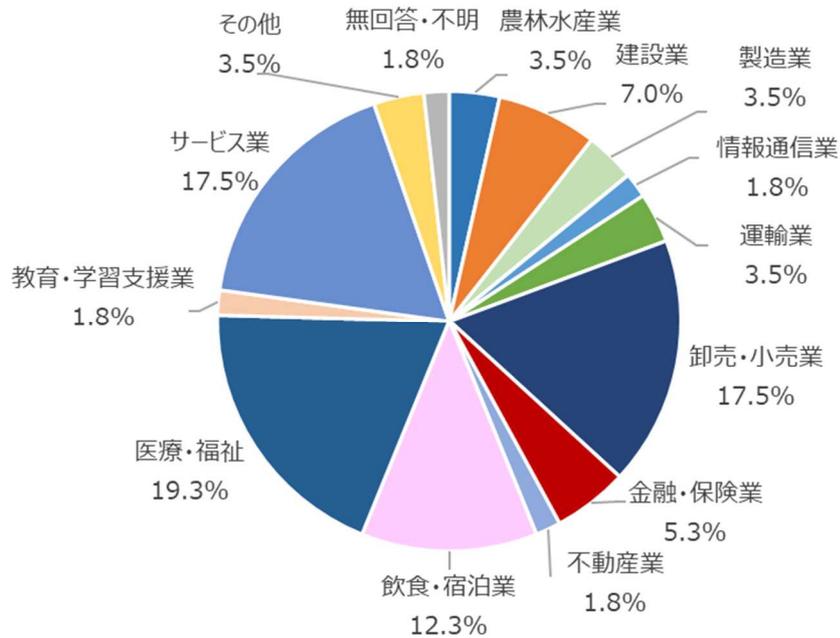
表：自由意見結果まとめ

分野・分類	意見数	分野・分類	意見数
1. 環境施策/温暖化対策（緩和策）	22	5. 生活環境/環境美化	58
環境保全活動，行動	5	ポイ捨て，不法投棄	15
再生可能エネルギー	5	雑草・庭木・街路樹等の適正管理	14
補助金，優遇措置	3	快適な暮らし（住みやすさ）	6
気候変動	2	鳥害対策	6
エネルギー問題（資源の枯渇等）	2	ノネコ（餌やり等）	5
EV車，水素自動車	2	犬のふん	4
公共施設への温暖化対策設備導入	2	生活交通	3
ゼロカーボンシティ宣言	1	下水道，生活排水	3
2. 自然共生	40	空き家	2
公園，池，広場	19	6. 防災・減災（適応策）	11
みどり・自然	8	発災時の情報伝達（防災無線）	5
山林，里山，緑地の保全	8	減災対策	3
農地・農園，休耕地	3	発災時に備えた対応	3
生物多様性	2	7. 環境教育	23
3. 資源循環	22	情報発信	12
家庭ごみ分別・回収	7	環境学習，ボランティア活動	7
野外焼却（不適正処分）	6	環境教育（学校対象）	2
ごみ減量	5	啓発イベント	2
資源回収，リサイクル	4	8. その他	27
4. 安心・安全	61	意識調査へのご意見	5
ヤード対策	11	環境分野以外の市政・まちづくり	17
水道水，飲用井戸	9	分類不能	5
交通規制，渋滞緩和	9	9. 特になし	6
道路整備・改良	9		
騒音，振動	8		
大気汚染，自動車排ガス	7		
防犯，街灯	5		
水質汚濁，悪臭	3		
		合計	270

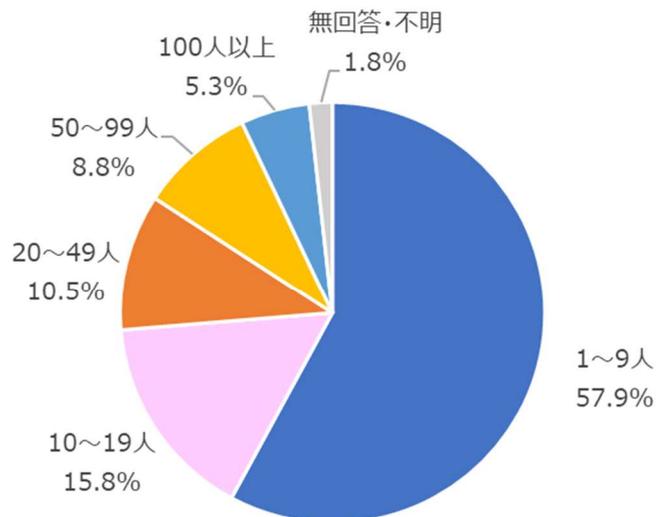
3 事業者アンケート調査の結果

3-1 事業所の属性について

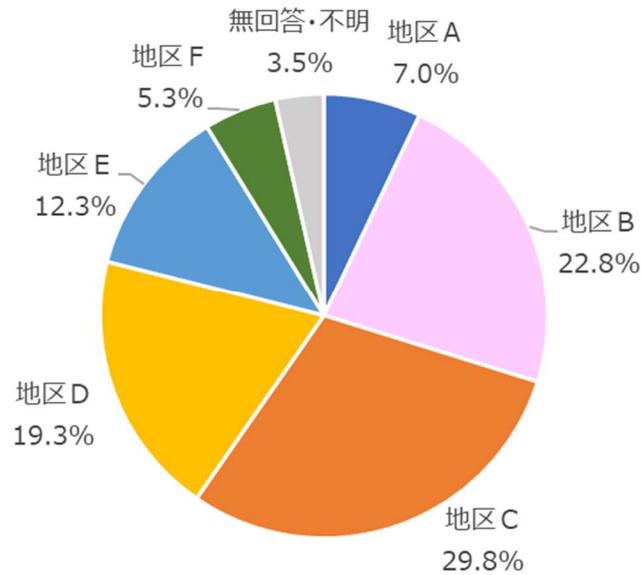
(1) 業種



(2) 従業員規模



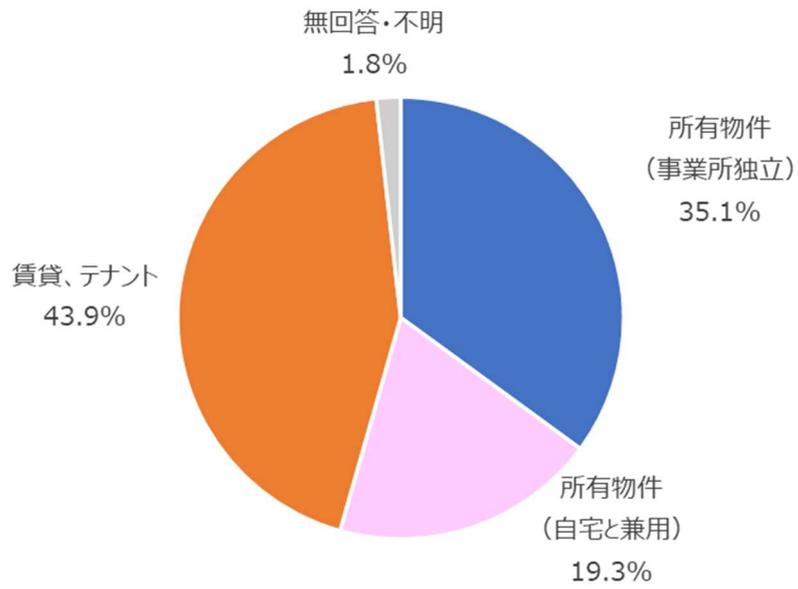
(3) 所在地



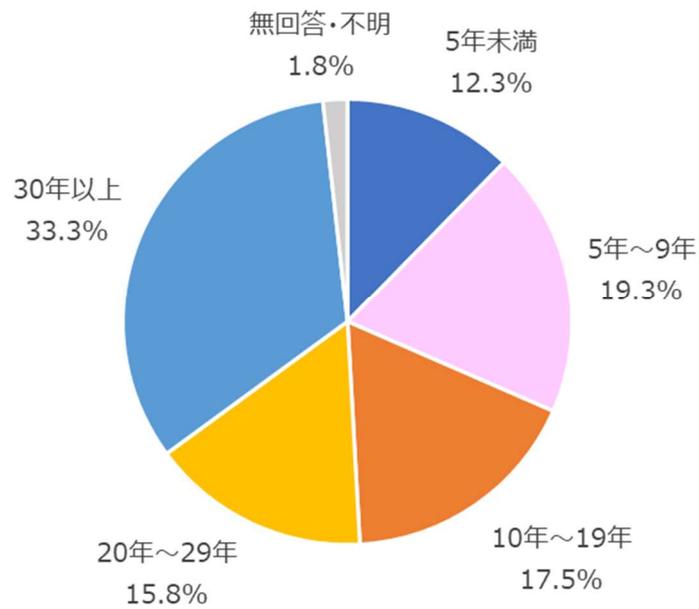
●表：地区A～Fの地域の振り分け一覧

地区名	該当する町・字名
1. 地区A	亀崎、物井、長岡、千代田1丁目、千代田2丁目、千代田3丁目、千代田4丁目、千代田5丁目、池花1丁目、池花2丁目、もねの里1丁目、もねの里2丁目、もねの里3丁目、もねの里4丁目、もねの里5丁目、もねの里6丁目
2. 地区B	栗山、内黒田、萱橋、大日（富士見ヶ丘・今宿・大作岡・畔田台・萱橋台・中志津）、つくし座1丁目、つくし座2丁目、つくし座3丁目、さちが丘1丁目、さちが丘2丁目
3. 地区C	下志津新田、四街道、四街道1丁目、四街道2丁目、四街道3丁目、大日（緑ヶ丘・桜ヶ丘）、鹿放ヶ丘、さつきヶ丘、中央
4. 地区D	鹿渡、和良比、みのり町、美しが丘1丁目、美しが丘2丁目、美しが丘3丁目、めいわ1丁目、めいわ2丁目、めいわ3丁目、めいわ4丁目、めいわ5丁目
5. 地区E	山梨、小名木、成山、中台、中野、南波佐間、上野、和田、旭ヶ丘1丁目、旭ヶ丘2丁目、旭ヶ丘3丁目、旭ヶ丘4丁目、旭ヶ丘5丁目、みそら1丁目、みそら2丁目、みそら3丁目、みそら4丁目、たかおの杜
6. 地区F	吉岡、鷹の台1丁目、鷹の台2丁目、鷹の台3丁目、鷹の台4丁目

(4) 建物の形態



(5) 四街道市での事業年数



3-2 事業所の環境活動について

(1) 事業所で取り組んでいる環境活動

- 問6-1 貴事業所では、どのような環境活動に取り組んでいますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1~4の中から1つだけ○で囲んでください。
- 問6-2 このほか、貴事業所が取り組まれている環境活動がありましたら、ご記入ください。

事業所の環境活動について聞いたところ、「⑨電気やガス使用量の削減など省エネルギーの実践（59.6%）」の実施率が最も高く、次いで、「⑫エコ・ドライブの実践（47.4%）」、「⑭廃棄物の減量化や有効利用、再利用（42.1%）」、となっています。

『取組を検討中』の回答が多かった項目は、「⑩省エネルギー診断等の受診（21.1%）」、「⑲社員に対する環境教育の実施（21.1%）」、「⑦温室効果ガス排出量の把握・抑制（15.8%）」と続いています。

一方、『取り組む予定はない』の回答が多かった項目は、「⑩省エネルギー診断等の受診（29.8%）」、「⑪水の有効利用（雨水利用等）（28.1%）」、「⑳ISO14001 やエコアクション21等のEMS（環境マネジメントシステム）の導入（24.6%）」と続いています。

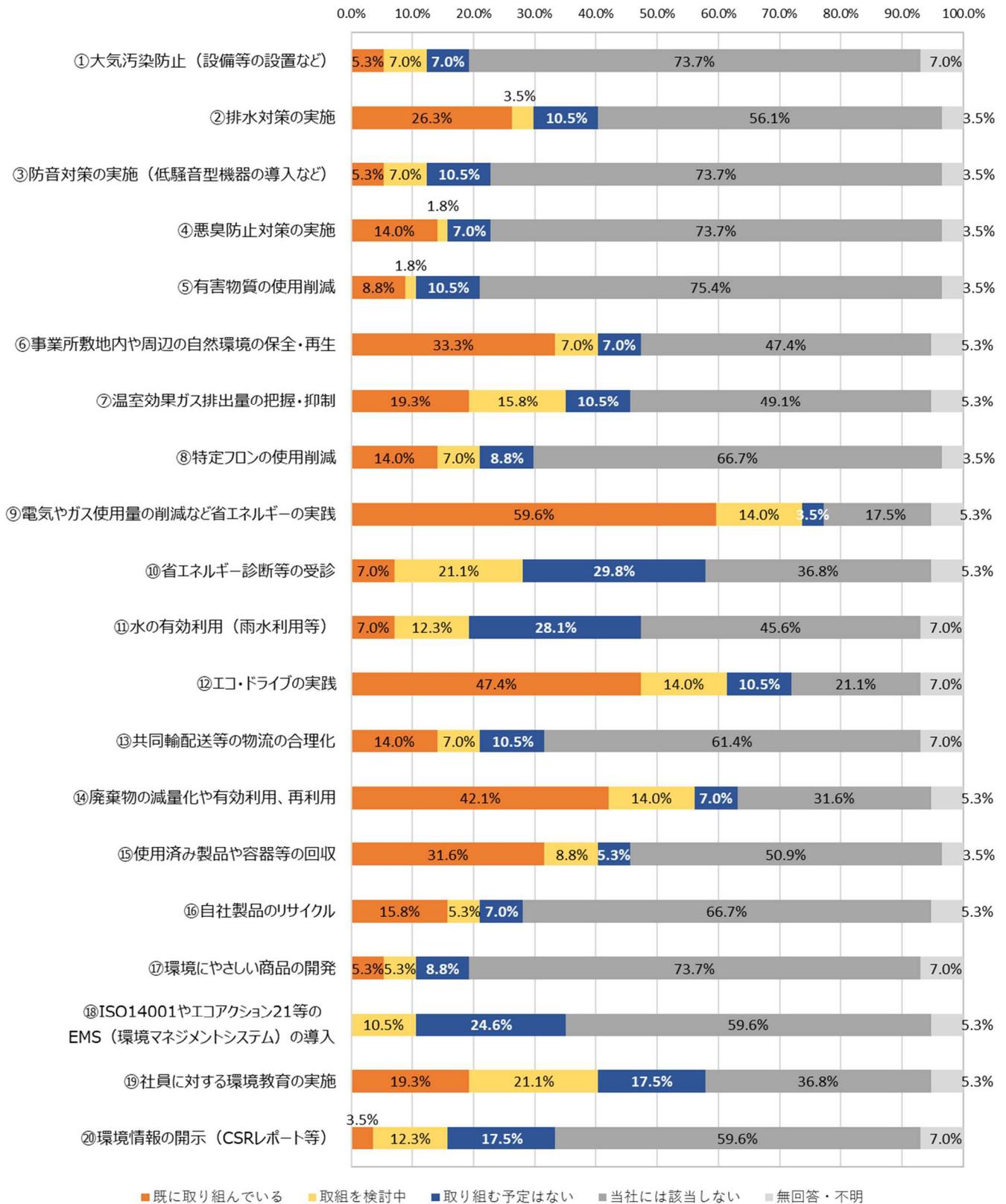
その他の環境活動は、SDGs 認証などが挙げられています。

◆問6-2 その他の環境活動

- 千葉県 SDGs 認証取得
- 植物(草花)の生産

など

● 図：問 6-1 回答結果まとめ



3-3 気候変動対策について

(1) 地球温暖化対策設備機器の導入状況

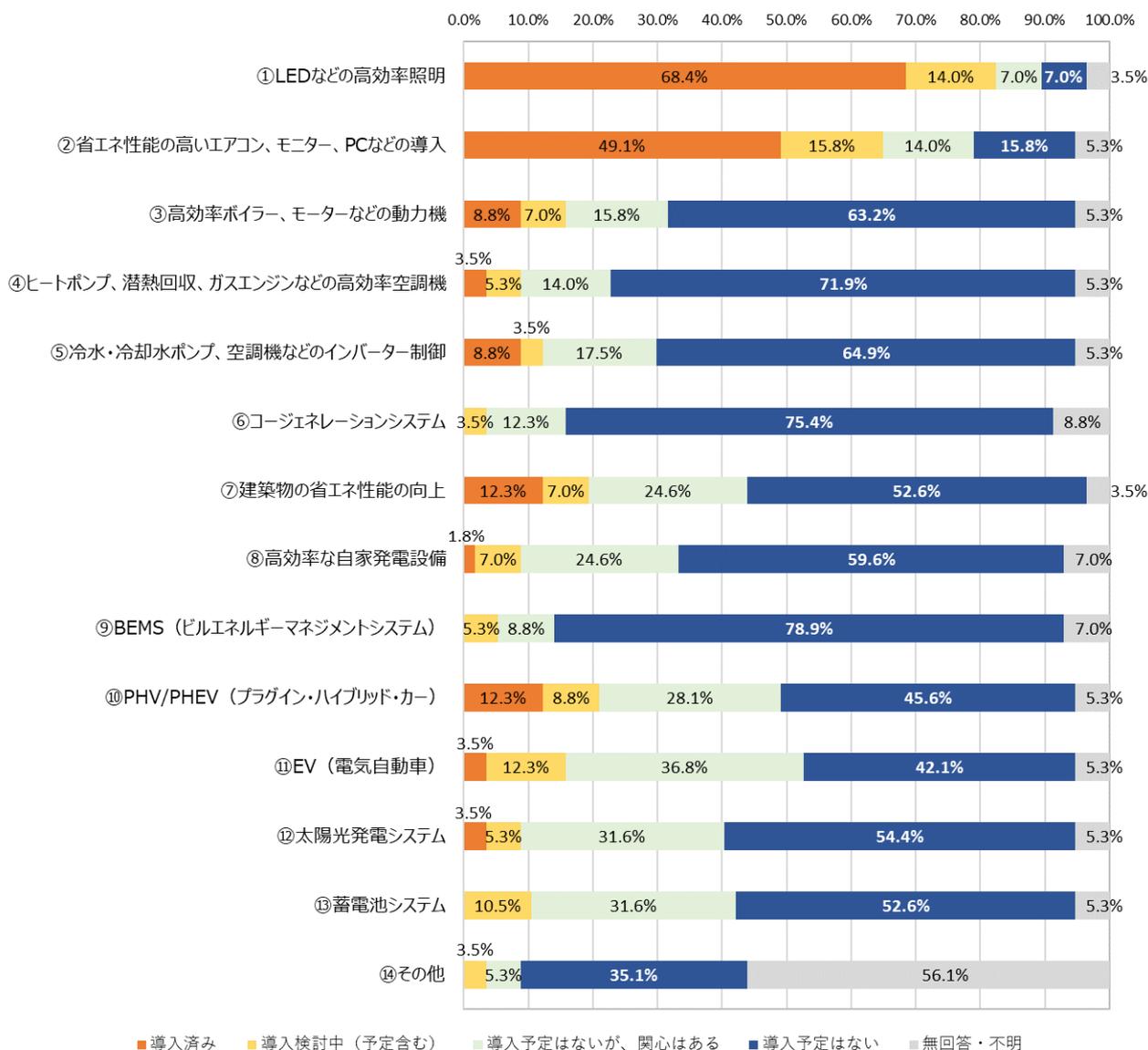
問 7 地球温暖化防止につながる機器や設備を導入していますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1～4の中から1つだけ○で囲んでください。

地球温暖化対策設備機器の導入状況について聞いたところ、『導入済み』と回答した割合は、「①LEDなどの高効率照明（68.4%）」が最も高く、次いで、「②省エネ性能の高いエアコン、モニター、PCなどの導入（49.1%）」となっています。

また、『導入検討中（予定含む）』については、「②省エネ性能の高いエアコン、モニター、PCなどの導入（15.8%）」が最も高く、次いで「①LEDなどの高効率照明（14.0%）」「⑪EV（電気自動車）（12.3%）」となっています。

『導入予定はないが、関心はある』については、「⑪EV（電気自動車）（36.8%）」、「⑫太陽光発電システム（31.6%）」、「⑬蓄電池システム（31.6%）」の回答率が高くなっています。

● 図：問 7 回答結果まとめ



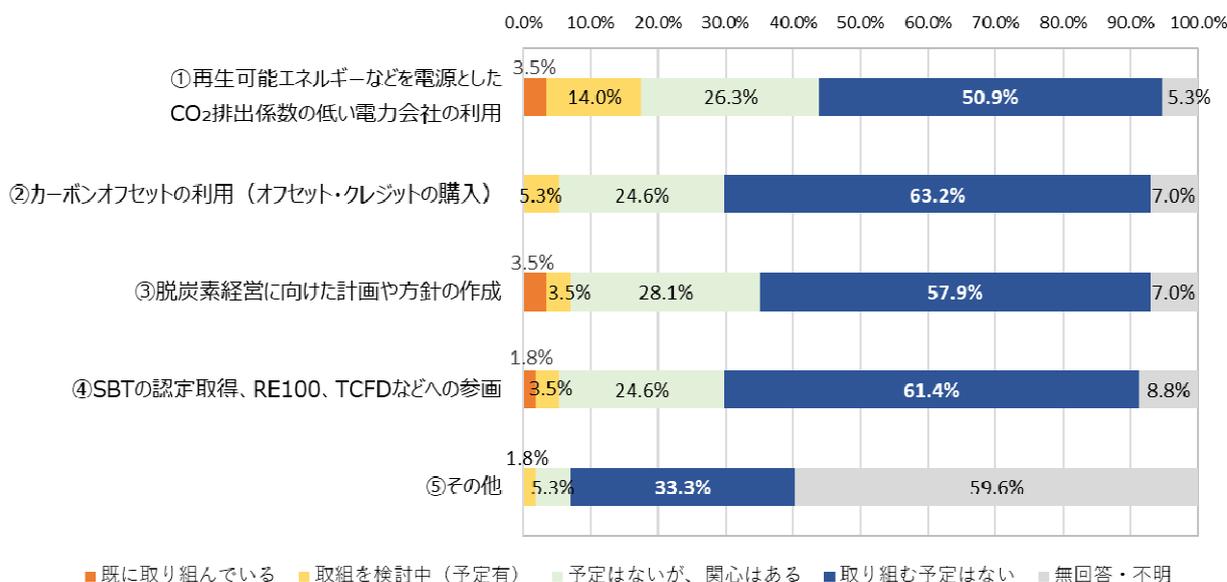
(2) 脱炭素経営の取組状況

問8 以下は、設備導入を伴わない脱炭素経営の取組です。貴事業所で取り組んでいること、また関心があることはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1~4の中から1つだけ○で囲んでください。

脱炭素経営の取組状況について聞いたところ、『既に取り組んでいる』と回答した事業所はいずれも少なく、「①再生可能エネルギーなどを電源としたCO₂排出係数の低い電力会社の利用（3.5%）」、「③脱炭素経営に向けた計画や方針の作成（3.5%）」、「④SBTの認定取得、RE100、TCFDなどへの参画（1.8%）」に1~2社程度が回答しているのみです。また、「①再生可能エネルギーなどを電源としたCO₂排出係数の低い電力会社の利用」以外は、『取組を検討中（予定有）』の回答を合わせても1割に満たない回答率となっています。

『予定はないが、関心はある』の回答を合わせると、「①再生可能エネルギーなどを電源としたCO₂排出係数の低い電力会社の利用」は4割を超える結果となっており、比較的反関心度が高い項目であることがうかがえます。

● 図：問8 回答結果まとめ



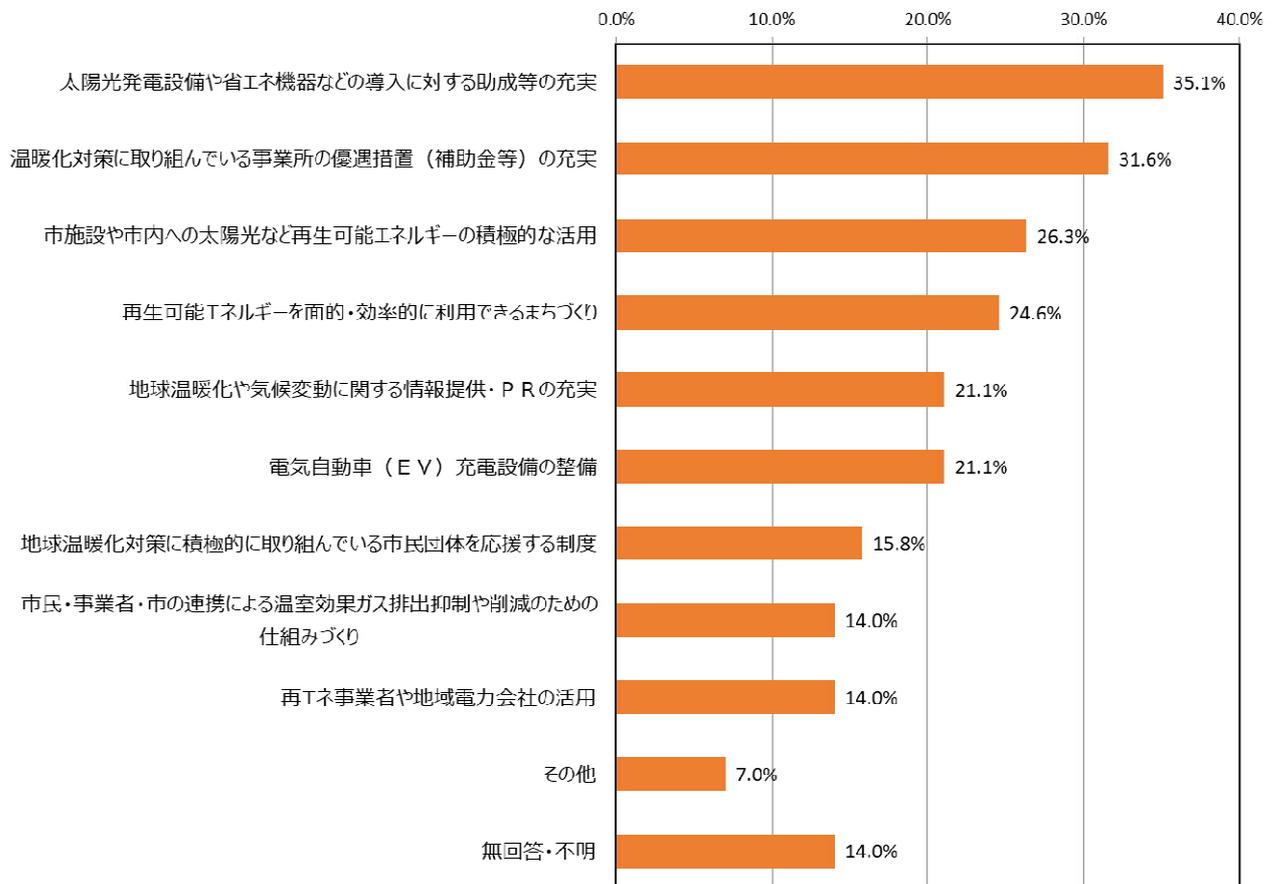
(3) 市が重点的に進めるべき気候変動対策

問9 気候変動対策について、市が重点的に進めるべき施策は、どれだと思いますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

市が重点的に進めるべき気候変動対策を聞いたところ、「太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する助成等の充実（35.1%）」の回答が最も多く、次いで、「温暖化対策に取り組んでいる事業所の優遇措置（補助金等）の充実（31.6%）」、「市施設や市内への太陽光など再生可能エネルギーの積極的な活用（26.3%）」、「再生可能エネルギーを面的・効率的に利用できるまちづくり（24.6%）」と続いています。

その他の回答では、植物の積極活用の提案や、よくわからないといった率直な意見などが寄せられています。

●図：問9回答結果まとめ（回答多い項目順）



◆その他回答

- 積極的に植物を活用。
- 気候は世界的なので、市レベルでは市民の教育。
- 市が重点的に進めることは、他にたくさんある。
- よくわからない。

など

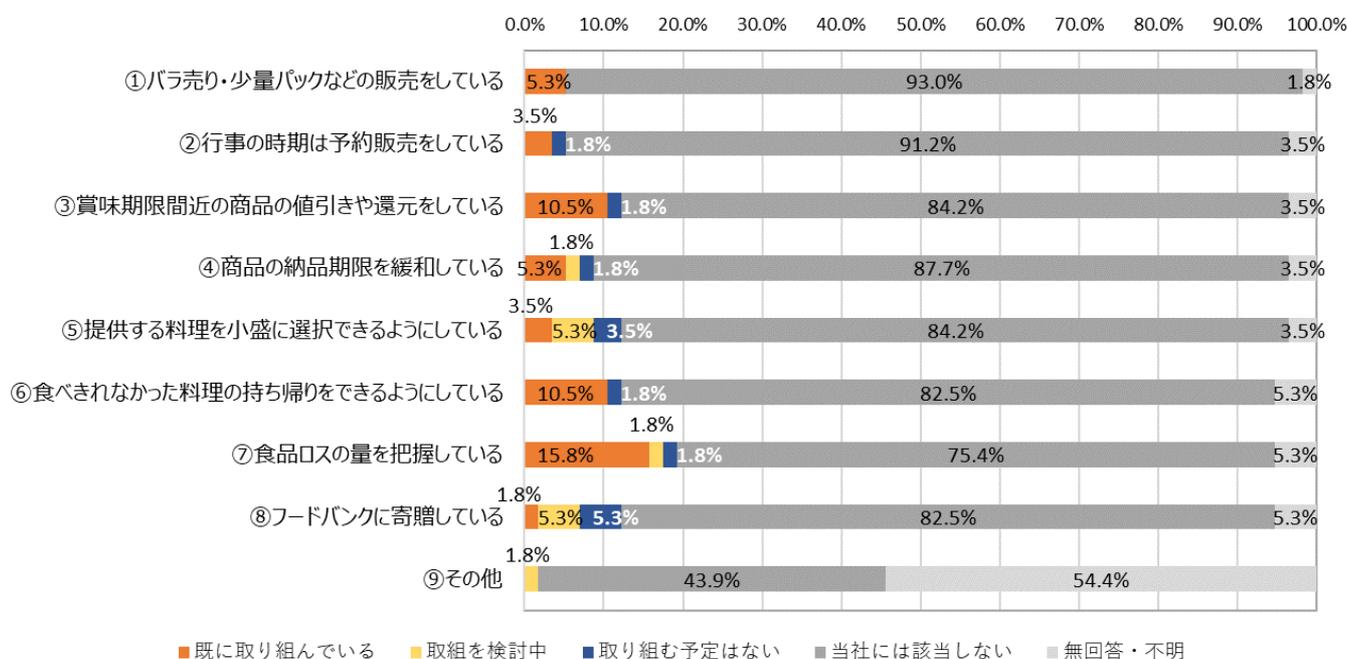
3-4 食品ロス・プラスチックごみ対策について

(1) 取り組んでいる食品ロス対策

問 10 令和元年 10 月 1 日に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行されました。食品ロス（フードロス）対策として、貴事業所で取り組んでいることはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

取り組んでいる食品ロス対策を聞いたところ、該当事業者が非常に少ない結果となっています。『既に取り組んでいる』の回答率が高かった項目は「⑦食品ロスの量を把握している（15.8%）」となっています。

● 図：問 10 回答結果まとめ



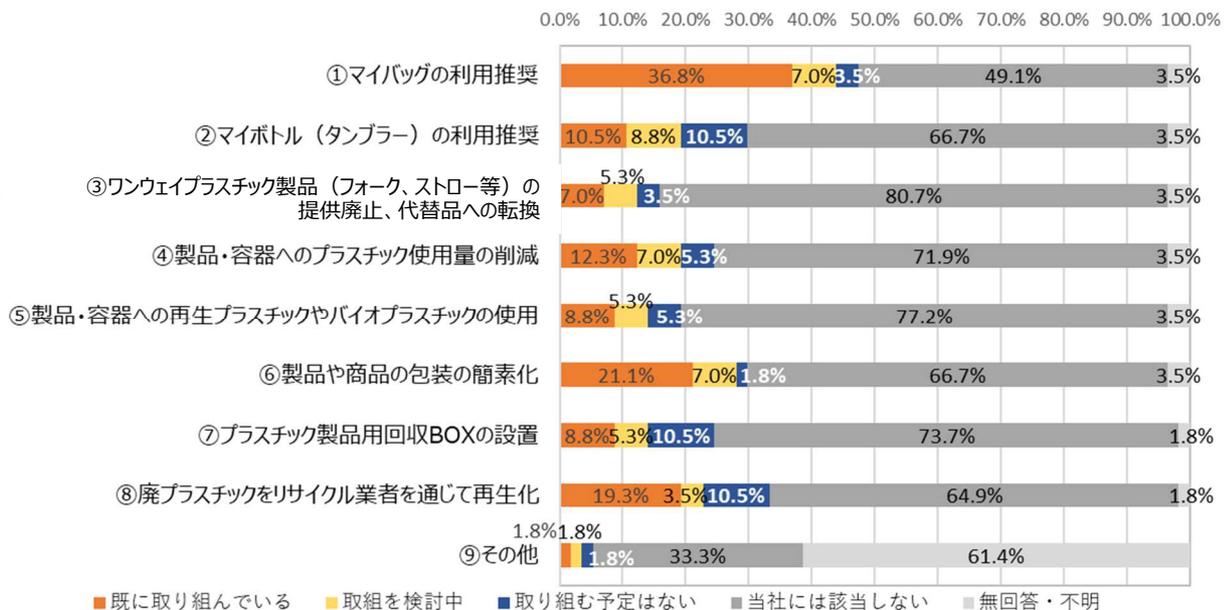
(2) 取り組んでいるプラスチックごみ対策

問 11 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が令和 4 年 4 月 1 日に施行されました。プラスチックごみ対策として、貴事業所で取り組んでいることはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

取り組んでいるプラスチックごみ対策を聞いたところ、『既に取り組んでいる』については、「①マイバッグの利用推奨（36.8%）」が最も多く、次いで「⑥製品や商品の包装の簡素化（21.1%）」、「⑧廃プラスチックをリサイクル業者を通じて再資源化（19.3%）」と続いています。

その他の回答では、『製造者の責任負担』との意見が寄せられています。

● 図：問 11 回答結果まとめ



3-5 環境活動における効果と課題について

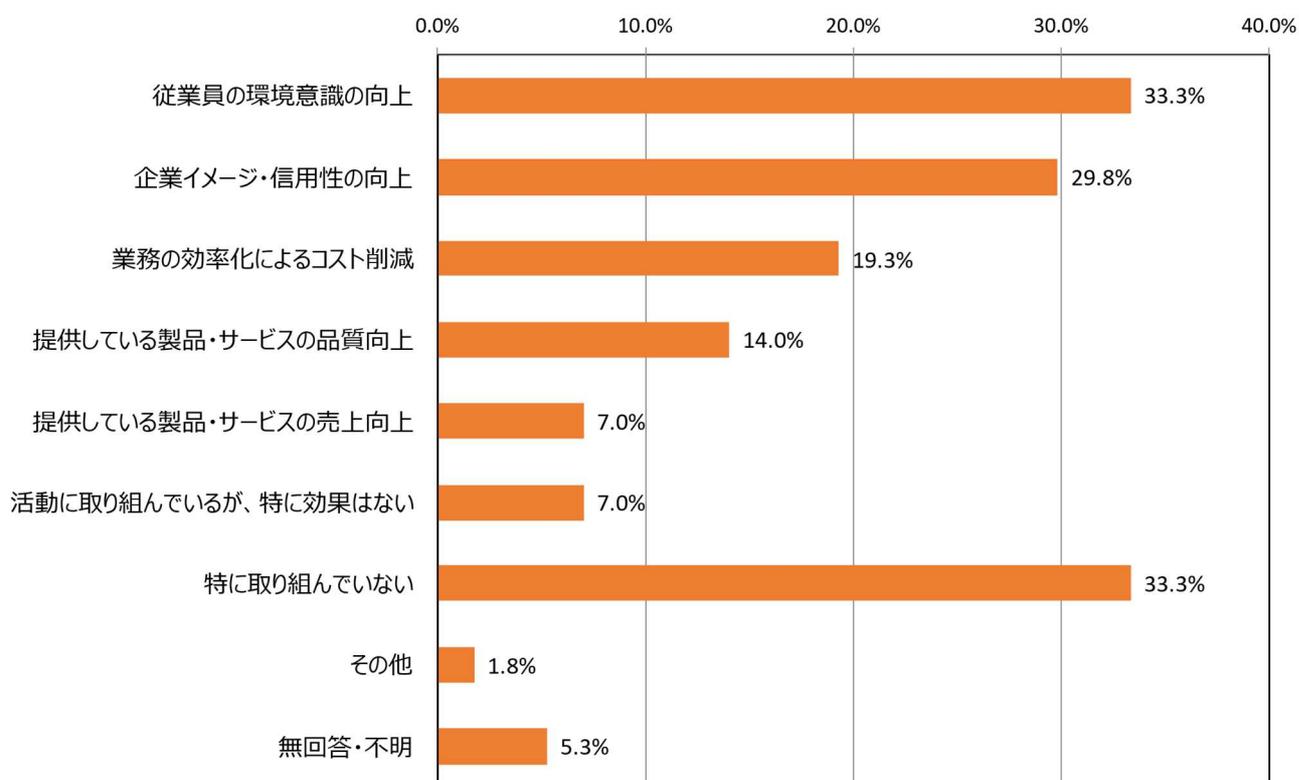
(1) 環境活動で得られた効果

問 12 貴事業所において、環境活動に取り組んだことで得られた効果は何ですか。
あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

環境活動で得られた効果を聞いたところ、「従業員の環境意識の向上（33.3%）」が最も多く、次いで「企業イメージ・信用性の向上（29.8%）」、「業務の効率化によるコスト削減（19.3%）」と続いています。

「活動に取り組んでいるが、特に効果はない（7.0%）」の回答率は低いものの、「特に取り組んでいない（33.3%）」の回答率が全体の3分の1となっています。

● 図：問 12 回答結果まとめ（回答多い項目順）



(2) 環境活動を進めるにあたっての課題

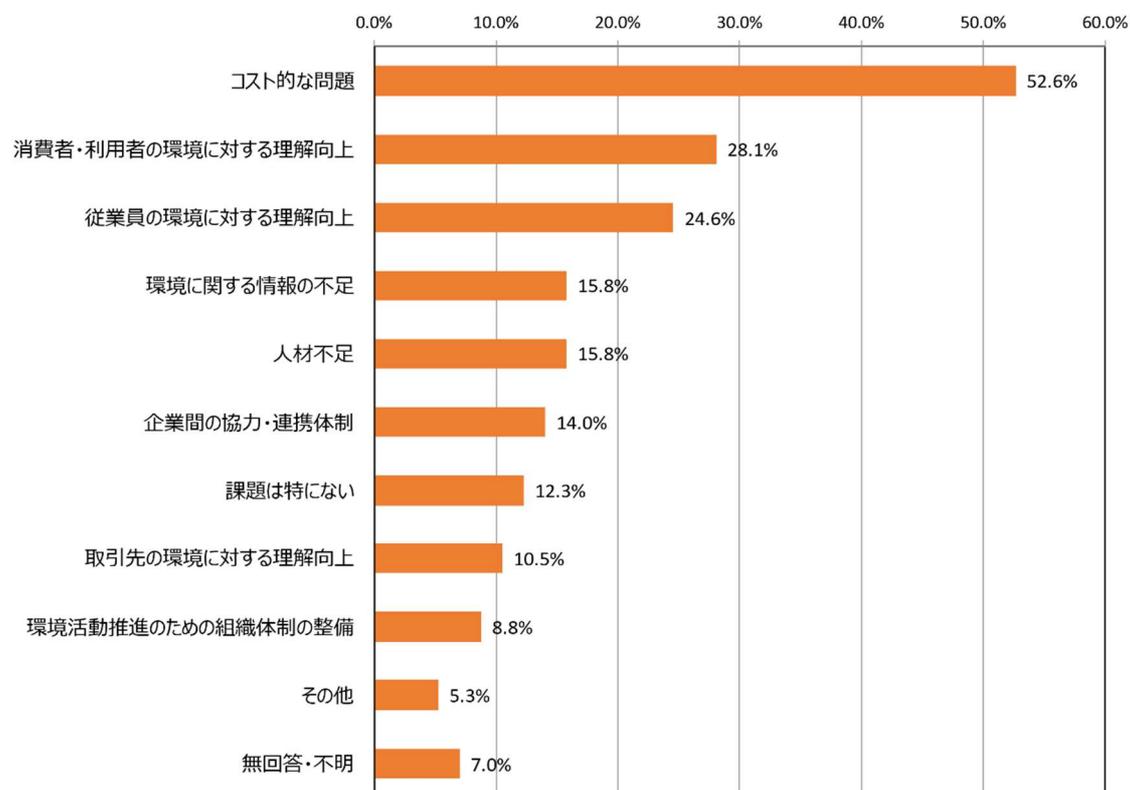
問 13 貴事業所において、環境活動を進めるにあたり、どのようなことが課題であるとお考えですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

環境活動に対する課題を聞いたところ、「コスト的な問題（52.6%）」が最も多く、「次いで「消費者・利用者の環境に対する理解向上（28.1%）」、「従業員の環境に対する理解向上（24.6%）」と続いています。

「課題は特にない（12.3%）」の回答から、約9割の事業者が、環境活動を進めるにあたって何らかの課題を抱えていることがうかがえます。

また、その他の回答では、『ゴミのポイ捨て、タバコのポイ捨て、市内の歩道の草むしり等、環境美化からではないか』といった意見が寄せられています。

● 図：問 13 回答結果まとめ（回答多い項目順）



3-6 市の支援や協力・連携について

(1) 市が実施すると望ましいサポート

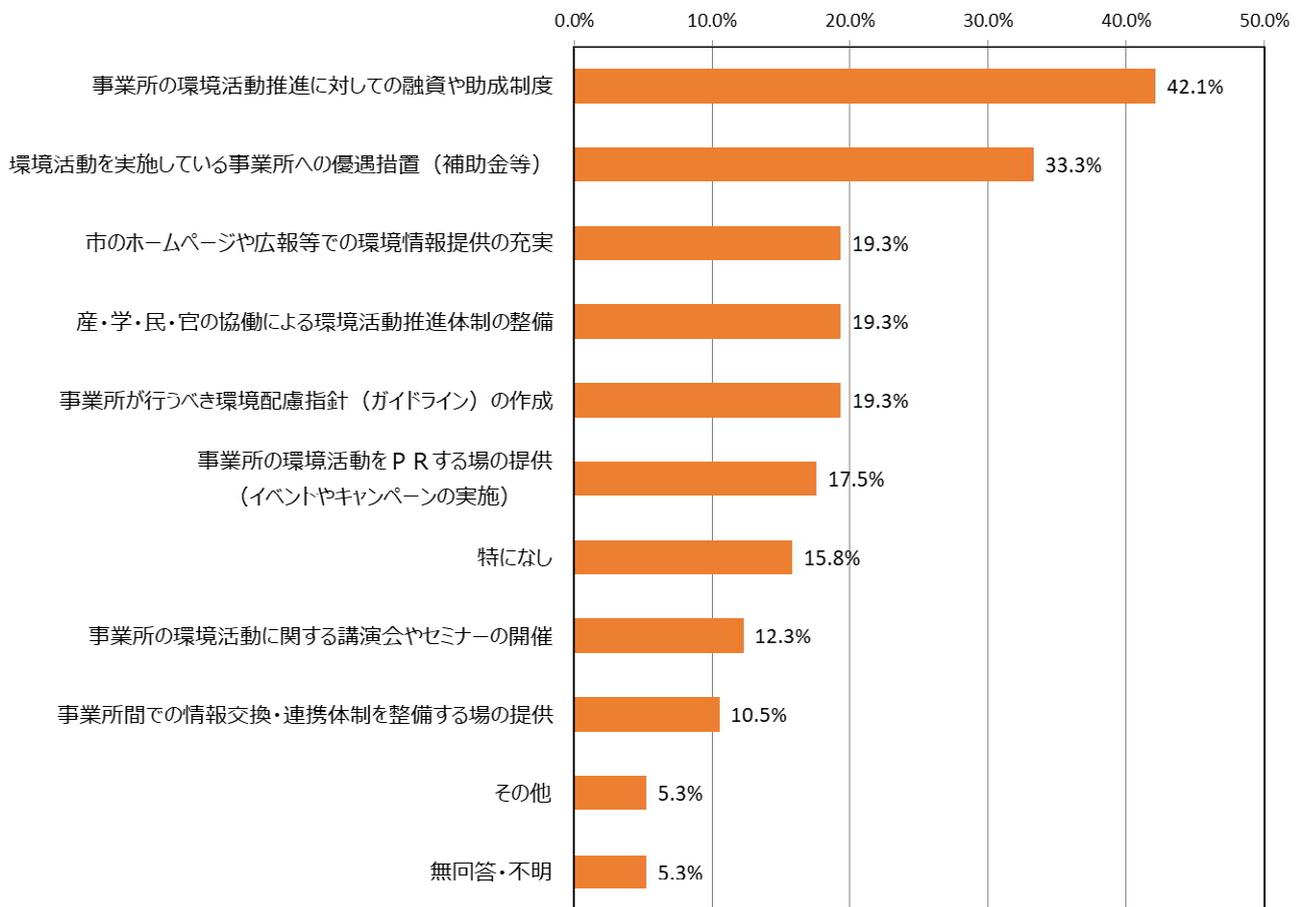
問 14 貴事業所が、環境活動を進めるために、市が実施すると望ましいサポート等
 がありますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

市が実施すると望ましいサポートについて聞いたところ、「事業所の環境活動推進に対しての融資や助成制度（42.1%）」が最も多く、次いで「環境活動を実施している事業所への優遇措置（補助金等）（33.3%）」となっています。

「特になし（15.8%）」の回答から、8割以上の事業者が環境活動の推進にあたり、市から何らかのサポートを望んでいることがうかがえます。

その他の回答では、植物活用に対する助成や環境美化活動が挙げられています。

●図：問 14 回答結果まとめ（回答多い項目順）



◆問 14 その他回答

- 植物を活用した際の助成。
- 市内の歩道、車道の整備(自転車道作るとか。)どぶざらい等、とにかく街をきれいにして欲しい。

など

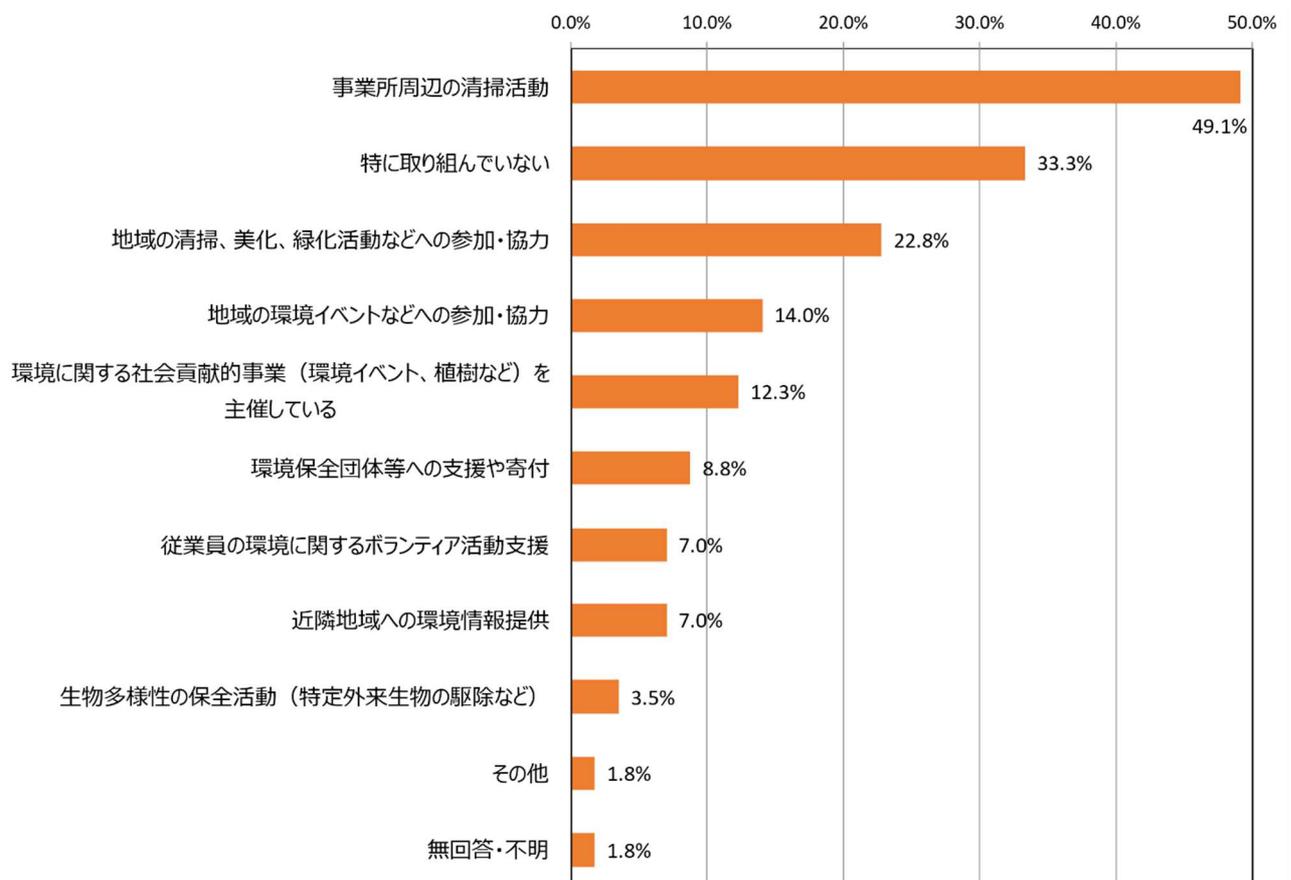
(2) 取り組んでいる地域環境活動

問 15 貴事業所では、地域社会の一員として、地域の環境のためにどのような取組をしていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

取り組んでいる地域環境活動を聞いたところ、「事業所周辺の清掃活動（49.1%）」が最も高く、次いで、「特に取り組んでいない（33.3%）」、「地域の清掃、美化、緑化活動などへの参加・協力（22.8%）」となっており、身近に取り組める清掃活動への参加が中心となっています。

その他の回答では、『クールビズ』といった意見が寄せられています。

● 図：問 15 回答結果まとめ（回答多い項目順）



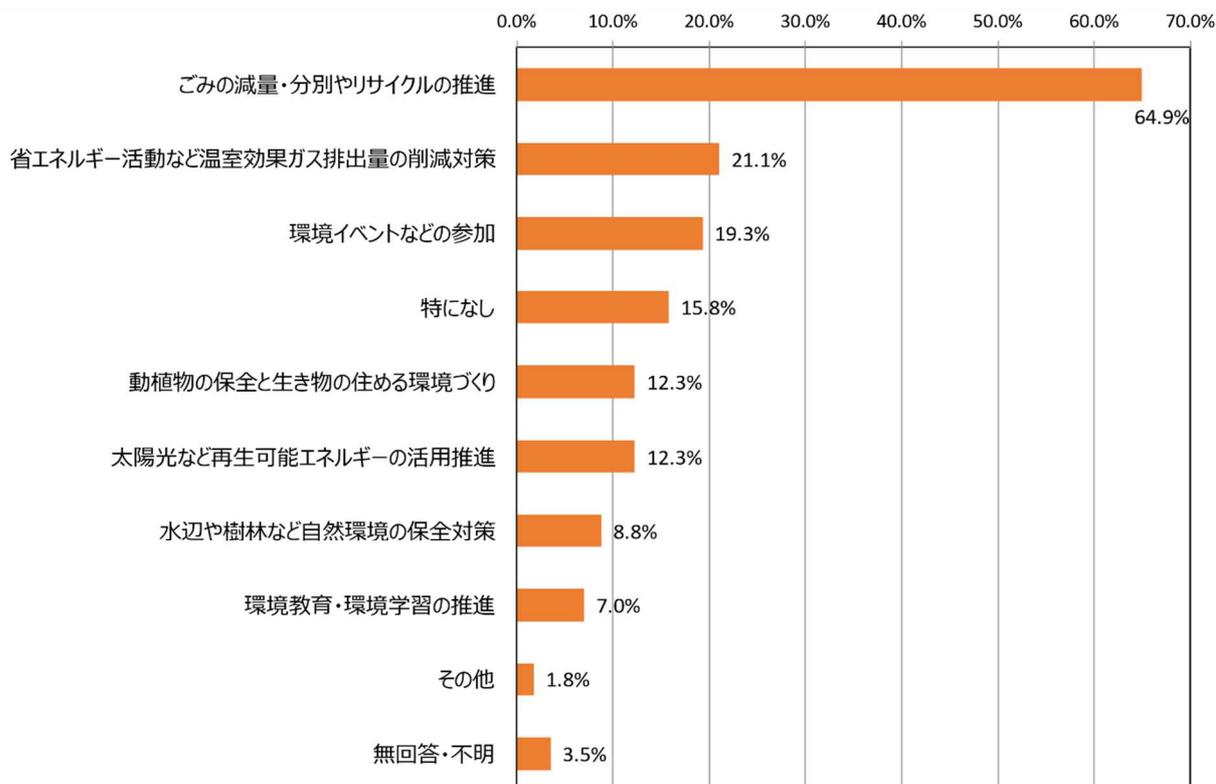
(3) 協力、支援できる活動分野

問 16 貴事業所が、環境に関する地域貢献活動において、協力、支援できる活動分野はありますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

環境に関する地域貢献活動において、協力、支援できる活動分野を聞いたところ、「ごみの減量・分別やリサイクルの推進（64.9%）」が最も多くなっています。次いで、「省エネルギー活動など温室効果ガス排出量の削減対策（21.1%）」、「環境イベントなどの参加（19.3%）」と続いており、3R の取組と地球温暖化対策が協力しやすい分野であることがうかがえます。

その他の回答では、『草花の提供』といった意見が寄せられています。

● 図：問 16 回答結果まとめ（回答多い項目順）



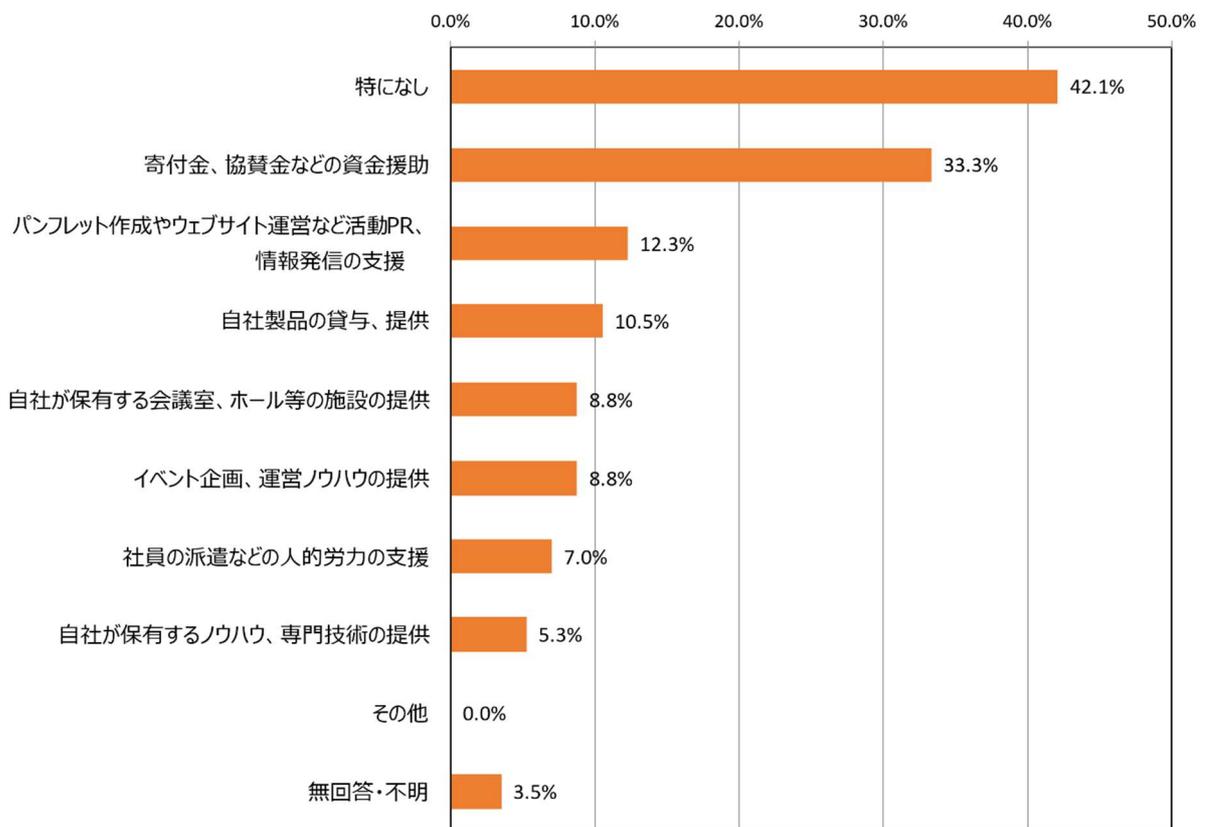
(4) 協力、支援できる取組

問 17 貴事業所が、環境に関する地域貢献活動において、協力、支援できる取組はありますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

環境に関する地域貢献活動において、協力、支援できる取組を聞いたところ、「特になし（42.1%）」が最も多い結果となっています。

一方で、「寄付金、協賛金などの資金援助（33.3%）」について比較的多くの回答が寄せられており、次いで「パンフレット作成やウェブサイト運営など活動PR、情報発信の支援（12.3%）」、「自社製品の貸与、提供（10.5%）」など、協力・支援に積極的な姿勢がうかがえます。

● 図：問 17 回答結果まとめ（回答多い項目順）



3-7 自由意見

最後に、環境に関わる意見等を自由記述形式で求めたところ、10社（17.5%）の事業所からの記入がありました。主な意見の概要を以下に示します。

意見の概要	分野
夜も日本は明るすぎて、物があふれすぎているように思う。 ガソリン車を廃止し、無駄なエネルギーを使わない政策が必要に感じる。	エネルギー対策 次世代自動車
市として積極的に植物を活用してほしい。	自然共生
産、官、学、民で智慧を出せば四街道市の空き家対策がすすみ、台風被害の軽減やリサイクルといった他の施策にも波及効果があると思う。	空き家対策
四街道はまだ自然がたくさんあるので、環境的には良いところと思う。	住みやすさ
市内の小・中・高で緊急時に避難場所指定されている校舎・体育館の屋根には太陽光発電を設置し、緊急時に活用できるようにしてほしい。	防災
未来ある子供たちが優先される市であってほしい。若い人たちには環境を変えられると期待している。	環境教育
各住居地域の公園、周辺環境の清掃、整備等に取り組むボランティア自治会に対する支援、補助を促進することが、全体の環境向上に役立つと思う。また、高齢化が進んでいる為、上記の活動に対し啓発、広報を行ない、参加を促す仕組みも同時に必要と思う。	活動支援・補助 啓発
環境保全やSDGsなどに取り組む意欲はあるため、食品ロスなどできることから実行している。今以上の取組には、コスト面や人員の問題が大きく影響する。助成金や、企業との連携などに取り組まないと、抜本的に変わっていかないのではないか。 具体的にどう動いていいのかわからない事業者に対して、的確に効果を上げる施策が必要に感じる。	
事業者として、地域環境、社会に関わる事は絶対に必要なことだと考えているので、少しでも貢献していきたい。	協働・協調
環境について具体的に動いていきたいと思っている。 会社が軌道に乗ったらどんどんこのような活動に参加したい。	

4 調査結果のまとめ

4-1 市民意識調査結果

調査の結果、環境に関して全般的に高い満足度(P.6)が得られているものの、環境保全のための情報提供【21.8%】、水辺の整備【22.2%】、騒音振動のない生活の確保【26.5%】、ごみの散乱がないまち【28.4%】、緑地の整備【29.2%】といった事項については3割に満たないことから、今後、市として改善に向けた検討が必要と考えられます。加えて、重要度の結果(P.8)を踏まえると、希少な生物の生息・生育空間の保全【67.7%】や豊かな水田等の保全【65.2%】といった「自然・みどり、生物多様性」分野の対策強化が重要になります。

なお、個別の分野における関心事項や課題等の考察については、下表のとおりです。

分野	結果概要
1 脱炭素、 気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動の影響(P.13)に対する認知度は高く、その要因である地球温暖化への対策(P.21)については、太陽光発電設備や省エネ機器などの導入支援や、市施設等での再生可能エネルギーの積極的な活用が求められている。 ● 地球温暖化対策設備機器(P.14)への関心は高く、さらなる導入の余地がある。また、初期コストの問題や知識不足による無関心(P.15)もみられることから、補助金による支援や適切な情報発信が望まれる。 ● 不要な照明の消灯やエアコンの適切な温度設定といった省エネ行動(P.16～17)は市民の生活に定着している。
2 自然・みどり、 生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> ● 希少な野生生物の生息・育成空間が守られることの重要度(P.8)が非常に高く【67.7%】、市が重点的に取り組むべき環境施策(P.19～20)では公園や広場などが多いゆとりのあるまちづくりの回答率が比較的高かった【33.9%】ことから、自然分野への市民の関心や優先度の高さがうかがえる。 ● 市に求める生物多様性に関する施策(P.10)では、市民等が取り組む保全活動に対する支援【19.7%】や市民に向けた普及啓発【17.5%】よりも、生物が生息する自然環境の保全【55.3%】や水辺の保全【53.8%】に回答が集まったことから、市が主体となってみどりや水辺を保全することが求められている。 ● 環境に関する満足度(P.6)において、緑と親しめる公園・緑地の整備への不満の割合が高かった【25.7%】ことに対し、将来に残したい身近な自然や環境については、公園に多くの回答が集まった(P.11～12)ことから、里山等のまとまった緑地に加えて、公園の保持・整備も継続して進めていく必要があると考えられる。

3 資源循環	<ul style="list-style-type: none"> ●ごみの減量及び適正処理の重要度は非常に高い(P.8)【66.8%】ことから、関心の高さがうかがえる。 ●空き缶やびん、ペットボトル、古紙などの資源の分別などの取組み(P.17)【96.4%】は市民の生活に定着している。
4 安心・安全、 快適な生活環境、 環境美化	<ul style="list-style-type: none"> ●環境に関する満足度(P.6)において、騒音・振動の少ない静かな生活への不満の割合【23.0%】が比較的高かったことから、関心の高さがうかがえる。 ●市が重点的に取り組むべき環境施策(P.19～20)について、土壌汚染【42.2%】、ポイ捨て・不法投棄【39.7%】、大気・騒音等、公害への対策【37.3%】が上位に集中している。また、自由意見(P.24)でも多くの意見が寄せられており、ヤード対策、ポイ捨てや不法投棄の防止及び指導など、対策強化が求められている。
5 環境教育、 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ●環境に関する満足度(P.6)において、環境学習の機会への満足度は非常に高い【64.4%】一方、環境学習講座や自然観察会への参加や自然環境の保全活動(P.16～17)については、5%未満であり、実施率を上げる対策強化が必要と考えられる。 ●環境活動への取り組みが困難な理由(P.18)として、手間がかかると答えた割合が最も高く【36.8%】、気軽に参加・活動できる仕組みづくりと興味・関心を持ってもらうための情報発信が求められる。また、その他の回答でも、環境活動について情報不足であるとの意見があり、今後の課題といえる。 ●市の環境情報の入手方法(P.22～23)は市政だよりが圧倒的に多かった【90.9%】。その他入手しやすい方法については、SNSの活用、駅やコンビニなど市民の目につきやすい場所への掲載、子供を通じた情報発信などの意見があった。これらの意見を参考に、市政だより以外の積極的な情報発信手法について模索する必要がある。

4-2 事業者意識調査結果

調査の結果、取組状況や関心度について、分野によりばらつきが見られました。また、環境活動を進めるにあたっての課題についての回答や、市に求めるサポートや対策についての回答からは、コスト的な問題が大きいことがうかがえます。

なお、個別の分野における関心事項や課題等の考察については、下表のとおりです。

分野	結果概要
1 脱炭素、 気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> ●脱炭素経営の実施率は低く(P.28～31)、多くの事業者が取り組む予定はないと回答している。今後は、取り組むことの意義やメリットを明確にした上で具体的な取組み内容などについての情報発信が必要と考えられる。 ●脱炭素につながる設備機器として LED 照明は普及が進んでいる (P.30)【68.4%】が、太陽光発電【3.5%】等のその他の設備機器は導入している事業所が少ない。 ●EV（電気自動車）、太陽光発電システム、蓄電池システムの導入への関心が高く(P.30)、協力できる活動分野(P.39)として省エネ活動等の温暖化対策が比較的高い回答率【21.1%】となっていることから、今後の設備機器の普及が期待される。
2 自然・みどり、 生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所敷地内や周辺地域の緑化活動に取り組んでいる (P.38)【22.8%】様子がうかがえる。
3 資源循環	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物の減量化(P.29)【42.1%】、使用済み製品や容器等の回収【31.6%】、自社製品のリサイクル【15.8%】を実践している事業所の割合が比較的高く、地域環境活動において協力、支援できる分野 (P.39)としての回答も多かった。 ●食品ロスへの取組み(P.33)やプラスチックごみの削減(P.34)については、該当する事業者が少なかった。該当事業者においては既に取り組んでいる事業者が多く、意識の高さがうかがえる。
4 安心・安全、 快適な生活環境、 環境美化	<ul style="list-style-type: none"> ●大気・排水・騒音・悪臭・有害物質等の公害対策分野における取組み(P.28～29)について、取り組む予定はないとしている事業者へ、自主的な環境負荷の低減に向けて周知が必要と考えられる。 ●取り組んでいる地域環境活動(P.38)では、事業所周辺の清掃活動が最も多く、地域の環境美化に貢献している事業者が多いことがうかがえる。

<p>5 環境教育、 情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 温室効果ガス排出量の把握・抑制、省エネルギー診断等の受診、社員に対する環境教育の実施等(P.28)については、事業所の規模や業種、施設・設備の有無に関係なく取り組める項目であるものの、「当社には該当しない」の回答があることから、取り組み方の周知や効果の実感が得られる仕組みづくりが必要と考えられる。 ● 環境活動の課題(P.38)として、コスト的な問題を上げる事業者が最も多く、市に求められるサポート(P.37)も、融資や助成、優遇措置などが上位に来ている。一方で、事業者が協力できる取組み(P.40)に、寄付金・協賛金などの資金援助が挙げられており、情報発信の支援や自社製品の貸与、提供といった市の施策と協働も可能な回答が見受けられる。
-------------------------	--

卷末資料

- ① 市民アンケート調査票
- ② 事業者アンケート調査票

アンケート調査票

① 市民アンケート調査票

整理番号

四街道市の環境についての市民アンケート調査

市民の皆様には、日ごろより、四街道市の環境行政の推進にご協力をお願いし、誠にありがとうございます。

市では、平成26年6月に「第2次四街道市環境基本計画」を策定し、「みどりと都市が調和した心地よく暮らせるまち」を目指すべき環境像として掲げ、計画に沿ってさまざまな取り組みを進めてきました。

このたび、現計画の期間が満了を迎えることと、気候変動対策など昨今の国内外の動向の変化を受け、令和6年度を初年度とする「第3次四街道市環境基本計画」を策定することとなりました。

新たな計画を策定するにあたり、市民の皆様から、住んでいる地域の環境の満足度や課題など、ご意見をお伺いするため、アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年12月

四街道市長 鈴木 陽介

- ◆ 市内に在住する満18歳以上の2,000人の方を無作為に抽出し、**無記名でご回答をお願い**しています。
- ◆ ご回答いただきました内容は、本調査の目的以外に使用することはありません。また、統計的に処理したうえで利用しますので、回答いただいた方の個人情報が公表されることはありません。
- ◆ 本調査票の整理番号は、重複回答を避けるためのもので、個人を特定するものではありません。
- ◆ 返信用封筒のバーコードは、郵便手続のためのもので、個人を特定するものではありません。

ご回答の方法

① 郵送でのご回答

本調査票に直接ご記入頂き、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへご投函（切手貼付不要）ください。

② スマートフォン・WEBでのご回答

下記サイトより、サイトの指示に従ってご回答をお願いいたします。

<https://forms.gle/ZUPLR76ZN5c4szeZ7>

※Google フォームを使用しています。入力しやすいよう、短縮アドレスを記載しています。



ご回答は、**令和5年1月13日（金）**までをお願いいたします。

◇調査についてのお問い合わせ◇

四街道市 環境経済部環境政策課 環境政策係
〒284-8555 千葉県四街道市鹿渡無番地（四街道市役所新館4階）
電話：043-421-6131 F A X：043-424-2013

◆あなたのことについて、お伺いします◆

問1 あなたの年齢は次のうちどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | |
|-------------|---------|----------|
| 1. 10歳～20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 |
| 4. 50歳代 | 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |

問2 あなたは四街道市に何年住んでいますか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | |
|------------|----------|------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年～9年 | 3. 10年～19年 |
| 4. 20年～29年 | 5. 30年以上 | |

問3 あなたがお住まいの「地域」は、どこですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 地区A | 2. 地区B | 3. 地区C | 4. 地区D | 5. 地区E | 6. 地区F |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|

※お住まいの地域は、以下をご参照ください。

地区名	該当する町・字名
1. 地区A	亀崎、物井、長岡、千代田1丁目、千代田2丁目、千代田3丁目、千代田4丁目、千代田5丁目、池花1丁目、池花2丁目、もねの里1丁目、もねの里2丁目、もねの里3丁目、もねの里4丁目、もねの里5丁目、もねの里6丁目
2. 地区B	栗山、内黒田、萱橋、大日(富士見ヶ丘・今宿・大作岡・畔田台・萱橋台・中志津)、つくし座1丁目、つくし座2丁目、つくし座3丁目、さちが丘1丁目、さちが丘2丁目
3. 地区C	下志津新田、四街道、四街道1丁目、四街道2丁目、四街道3丁目、大日(緑ヶ丘・桜ヶ丘)、鹿放ヶ丘、さつきヶ丘、中央
4. 地区D	鹿渡、和良比、みのり町、美しが丘1丁目、美しが丘2丁目、美しが丘3丁目、めいわ1丁目、めいわ2丁目、めいわ3丁目、めいわ4丁目、めいわ5丁目
5. 地区E	山梨、小名木、成山、中台、中野、南波佐間、上野、和田、旭ヶ丘1丁目、旭ヶ丘2丁目、旭ヶ丘3丁目、旭ヶ丘4丁目、旭ヶ丘5丁目、みそら1丁目、みそら2丁目、みそら3丁目、みそら4丁目、たかおの杜
6. 地区F	吉岡、鷹の台1丁目、鷹の台2丁目、鷹の台3丁目、鷹の台4丁目

問4 あなたの住居の形態は次のうちどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 一戸建て(持ち家) | 2. 一戸建て(借家) | 3. 集合住宅(持ち家) |
| 4. 集合住宅(借家) | 5. 社宅・寮 | 6. その他() |

問5 あなたの世帯構成は次のうちどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ | 3. 二世帯世帯 |
| 4. 三世帯世帯 | 5. その他() | |

問6 世帯で所有している自動車(バイクを除く)は何台ですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | |
|---------|-------|-------|
| 1. なし | 2. 1台 | 3. 2台 |
| 4. 3台以上 | | |

◆四街道市の環境についてお伺いします◆

問7 四街道市の環境について、日ごろどのように感じていますか。各項目の満足度【A】と重要度【B】について、あてはまる番号 1~5 の中から 1つだけ○で囲んでください。

項 目	【A】日ごろ感じる満足度					【B】日ごろ感じる重要度				
	満 足	ま あ 満 足	普 通	や や 不 満	不 満	重 要	や や 重 要	普 通	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で な い
記入例 ⇒	5	4	③	2	1	5	4	3	②	1
① 身近に自然に親しめる空間がある	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
② 希少な野生生物の生息・生育空間が守られている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③ 河川や水路、湿地と親しめる空間がある	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④ 環境に配慮した農業が行われ、豊かな水田・畑がある	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤ 緑と親しめる公園・緑地が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥ 自然景観とまちなみが調和した魅力的な景観がある	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑦ ごみの散乱がなく、まちがきれいである	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑧ きれいな空気が保たれている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑨ 安心してきれいな水が保たれている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑩ 土壌汚染や地盤沈下が防止されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑪ 騒音・振動の少ない静かな生活が守られている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑫ ごみの減量が進み、適切に収集・処理されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑬ 省エネなど、温室効果ガスが削減できる暮らしができています	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑭ 太陽光など再生可能エネルギーが活用された暮らしができています	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑮ 資源が活用され、リサイクルが積極的に行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑯ 風水害や土砂災害などの対策がされており、安心して暮らすことができる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑰ 歴史的文化が自然環境と一体となって保全されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑱ 環境学習の機会がある	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑲ 環境保全のための情報が提供され、取り組みやすい	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑳ 環境に関する市の支援が受けられる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

◆生物多様性についてお伺いします◆

生物多様性とは？

生物多様性とは、すべての生き物の「個性」と「つながり」であり、遺伝子の多様性、種の多様性、生態系の多様性の3つのレベルがあります。生物多様性のたくさんの恵みによって、私たち人間を含む生きものの「いのち」と「暮らし」が支えられています。

問8 生物多様性を守るために市が重点的に取り組むべきことはどれだと思いますか。
あてはまる番号を3つまで○で囲んで下さい。

1. 生物多様性が豊かな優れた自然環境の保全
2. 河川や水路などの水辺の保全
3. 希少な動植物の生息・生育地の保全
4. カミツキガメ、ハクビシン等外来生物による生態系への影響の防止
5. 生物多様性の重要性やその保全に関する市民への普及啓発
6. 市民が自然と触れ合う機会・場をもっと設けること
7. 市民や市内事業者等が取り組む生物多様性の保全活動に対する支援
8. 特に取り組む必要はない
9. その他 ()

問9 四街道市内の身近な自然や環境で、将来に残したい場所などを教えてください。
具体的な地名とその理由を3つまでご記入ください。

地名	理由
例) ○○○公園	池の生きものや緑と身近にふれあえる。

◆気候変動問題についてお伺いします◆

問10 すでに日本でも地球温暖化による気候変動が観測されており、将来にわたって様々な影響を与えることが予測されています。あなたは、将来起こりうる気候変動の影響について知っていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 猛暑日や真夏日、熱帯夜が増えること
2. 豪雨（滝のように降る雨）や、雨の降らない日が増えること
3. 台風が強くなったり、これまでの進路から変化したりすること
4. 洪水、高潮・高波などの自然災害が増加すること
5. 熱中症が増加すること
6. デング熱などの熱帯地域で発生する感染症が増加すること
7. 農作物の品質低下や生育障害、栽培適地が変化すること
8. 渇水が増加すること
9. 野生生物や植物の生息域が変化すること
10. 山地などの斜面崩壊など土砂災害のリスクが高くなること
11. すべて知らない

身近な気候変動の影響

●洪水・豪雨

令和元年房総半島台風（台風第15号）や東日本台風（台風第19号）、令和2年7月豪雨などによる災害が多発しています。

●熱中症

気温の上昇だけでなく、熱中症に注意すべき時期も長くなっています。日本全国の熱中症による死者数は、平成30年から令和2年では1,200人を超えており、高い水準で推移しています。国では令和3年度から、熱中症予防対策のための効果的な情報発信として「熱中症警戒アラート」を実施しています。

問11 地球温暖化対策につながるそれぞれの項目について、あてはまる番号 1~4 の中から 1つ だけ○で囲んでください。

項目	導入済み	導入検討中 (予定含む)	予定はないが、関心はある	関心はない、又は該当しない
① LEDなどの高効率照明	1	2	3	4
② 電力消費や待機電力の少ない家電製品	1	2	3	4
③ ペアガラスや二重サッシなど気密性の高い窓・サッシ	1	2	3	4
④ 壁、床、天井などの断熱	1	2	3	4
⑤ エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯器	1	2	3	4
⑥ 家庭用燃料電池システム（エネファーム）	1	2	3	4
⑦ 家庭用蓄電池システム	1	2	3	4
⑧ 住宅用太陽熱利用システム	1	2	3	4
⑨ 住宅用太陽光発電システム	1	2	3	4
⑩ HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム） ^{※1}	1	2	3	4
⑪ 再生可能エネルギー、自然エネルギー由来の電力（電力会社の切り替え）	1	2	3	4
⑫ PHV / PHEV（プラグイン・ハイブリッド・カー） ^{※2}	1	2	3	4
⑬ EV（電気自動車）	1	2	3	4
⑭ 地中熱利用システム	1	2	3	4
⑮ ZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス) ^{※3}	1	2	3	4

※1 HEMS：家庭のエネルギーを効率よくコントロールするシステム。

※2 PHV / PHEV：搭載したバッテリー（蓄電池）に外部から給電できるハイブリッド車。バッテリー（蓄電池）に蓄えた電気でモーターを回転させるか、ガソリンでエンジンを動かして走る。

※3 ZEH：高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅。

問 12 問 11 で1つ以上「関心はない、又は該当しない」と回答した方は、理由としてあてはまる番号すべてを○で囲んでください。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 初期コストがかかる | 2. 効果がわからない |
| 3. 借家や集合住宅のため設置できない | 4. どのようなものかわからない |
| 5. 地球温暖化問題に関心がない | 6. 特に理由はない |
| 7. その他 () | 8. 該当しない(問 11 で回答していない) |

◆環境に関する取組状況についてお伺いします◆

問 13 環境に関して、普段あなたが取り組んでいることを教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~3 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

取り組みの内容	取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組むのは難しい
① 不要な照明やテレビはこまめに消す	1	2	3
② 冷暖房を使用するときは温度設定に気を付けている	1	2	3
③ 家庭で使用した電気、ガス、ガソリンなどの状況を把握している	1	2	3
④ 近くへの移動はできるだけ自転車を利用している	1	2	3
⑤ 洗濯に風呂の残り湯を使用したり、植物の水やりに雨水を使用している	1	2	3
⑥ 生ごみを減らすために食材は使いきる	1	2	3
⑦ 外出の際、マイボトルを持参している	1	2	3
⑧ 空き缶やびん、ペットボトル、古紙などの資源を分別している	1	2	3
⑨ 油や調理くずは下水や浄化槽に流さない	1	2	3
⑩ 近隣騒音(ピアノの音漏れなど)を防止している	1	2	3
⑪ 環境にやさしいエコ・ドライブを実践している	1	2	3
⑫ 自宅の植栽や緑のカーテンなど緑化をしている	1	2	3
⑬ 環境ラベル、省エネラベルなどを参考にして環境に優しい商品を購入している	1	2	3
⑭ 風水害に備えて自宅や職場周辺のハザードマップを確認している	1	2	3
⑮ 暑さ指数(WBGT) [*] を確認して、熱中症対策をしている	1	2	3
⑯ 地域の資源集団回収に参加している	1	2	3
⑰ 公園や川などの地域の清掃活動をしている	1	2	3
⑱ 花植えや植樹などの地域の緑化活動をしている	1	2	3
⑲ 樹林や水辺などの自然環境の保全活動をしている	1	2	3
⑳ 環境に関する学習講座、講演会、自然観察会に参加している	1	2	3
㉑ その他 ()	1	2	3

^{*}熱中症を予防することを目的とした指標。

問 14 問 13 で1つ以上「取り組むのは難しい」と回答した方は、**取り組むのは難しい理由として**あてはまる番号**すべてを○**で囲んでください。

- | | | |
|------------|--------------------------|-----------|
| 1. 手間がかかる | 2. 効果がわからない | 3. 忘れてしまう |
| 4. 特に理由はない | 5. 該当しない (問 13 で回答していない) | |
| 6. その他 (| |) |

◆市の環境政策についてお伺いします◆

問 15 四街道市の環境をより良くするために、市が**重点的に取り組むべき**環境への取組は、どれだと思いますか。あてはまる番号を**5つまで○**で囲んでください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 大気、騒音・振動、悪臭などの公害対策 |
| 2. 土壌・地下水汚染や有害化学物質への対策 |
| 3. 河川等の水質改善、水循環の健全化 |
| 4. まちの緑化の推進 |
| 5. 公園や広場などが多いゆとりのあるまちづくり |
| 6. ポイ捨てや不法投棄の防止などのまちの美化推進 |
| 7. まちの景観の保全 |
| 8. 里山などの自然環境や水辺の環境保全 |
| 9. 貴重な動植物の保全と生き物が住み続けられる環境づくり |
| 10. ごみの減量・分別やリサイクルの推進 |
| 11. 食品ロスの削減 |
| 12. プラスチックごみへの対策 |
| 13. 省エネルギーなどの温室効果ガス排出量の削減対策 |
| 14. 太陽光などの再生可能エネルギーの活用推進 |
| 15. 気候変動(異常気象)に伴う水害や土砂災害の軽減、健康被害への対策 |
| 16. 環境イベントや情報発信などによる意識啓発の推進 |
| 17. 環境教育・環境学習の充実 |
| 18. 市民や事業所が主体となって行う環境活動への支援 |
| 19. その他 (|
|) |

問 16 **地球温暖化対策**について、市が**積極的に進めるべき**だと思う取組は、どれだと思いますか。あてはまる番号を**3つまで○**で囲んでください。

- | |
|--|
| 1. 地球温暖化や気候変動に関する情報提供・PRの充実 |
| 2. 太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する助成等の充実 |
| 3. 温暖化対策に取り組んでいる事業所の優遇措置(補助金等)の充実 |
| 4. 市施設や市内への太陽光など再生可能エネルギーの積極的な活用 |
| 5. 再生可能エネルギーを面的 [※] ・効率的に利用できるまちづくり |
| 6. 電気自動車(EV)充電設備の整備 |
| 7. 市民・事業者・市の連携による温室効果ガス排出抑制や削減のための仕組みづくり |
| 8. 地球温暖化対策に積極的に取り組んでいる市民団体を応援する制度 |
| 9. 再エネ事業者や地域電力会社の活用 |
| 10. その他 (|
|) |

※エネルギーの面的利用：個々ではなく複数の施設・建物への効率的なエネルギーの供給等を行うこと。

問 17 市が進めている環境に関する取組などの情報を入手するきっかけは何でしたか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 市政だより四街道 | 2. 市のホームページ |
| 3. 市や自治会の掲示板 | 4. 市施設を利用した際のチラシ等 |
| 5. 区・自治会の回覧 | 6. 友人・知人から |
| 7. 学校から | 8. メール配信サービス「よめる」 |
| 9. 市の公式 SNS (Twitter, Facebook, YouTube, Instagram, LINE) から | |
| 10. その他 (|) |

問 18 上記以外で入手しやすい方法がありますか。ご自由にご記入ください。

◆最後に、環境に関わるご意見等があれば、ご自由にお書き下さい。◆

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
本調査票を返信用封筒に入れ、
令和 5 年 1 月 13 日 (金) までにご投函ください。

② 事業者アンケート調査票

四街道市の環境についての事業者アンケート調査 ご協力をお願い

事業者の皆様には、日ごろより、四街道市の環境行政の推進にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

市では、平成26年6月に「第2次四街道市環境基本計画」を策定し、「みどりと都市が調和した心地よく暮らせるまち」を目指すべき環境像として掲げ、計画に沿ってさまざまな取り組みを進めてきました。

このたび、現計画の期間が満了を迎えることと、気候変動対策など昨今の国内外の動向の変化を受け、令和6年度を初年度とする「第3次四街道市環境基本計画」を策定することとなりました。

新たな計画を策定するにあたり、事業者の皆様から、環境活動への取組状況や課題など、ご意見をお伺いするため、アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年12月

四街道市長 鈴木 陽介

- ◆ 四街道市内の事業所から200事業所を無作為に抽出しています。
- ◆ ご回答いただきました内容は、本調査の目的以外に使用することはありません。また、統計的に処理したうえで利用しますので、貴事業所が特定されることはありません。
- ◆ 本調査票の整理番号は、重複回答を避けるためのもので、事業者を特定するものではありません。
- ◆ 返信用封筒のバーコードは、郵便手続のためのもので、事業者を特定するものではありません。

ご回答の方法

① 郵送でのご回答

本調査票に直接ご記入頂き、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへご投函（切手貼付不要）ください。

② WEBでのご回答

下記サイトより、サイトの指示に従ってご回答をお願いいたします。

<https://forms.gle/S9PLZ9YG5mzYpYvK8>

※Google フォームを使用しています。入力しやすいよう、短縮アドレスを記載しています。

ご回答は、**令和5年1月13日（金）**までをお願いいたします。



◇調査についてのお問い合わせ◇

四街道市 環境経済部環境政策課 環境政策係
〒284-8555 千葉県四街道市鹿渡無番地（四街道市役所新館4階）
電 話：043-421-6131 F A X：043-424-2013

◆ 貴事業所の環境活動についてお伺いします ◆

問 6-1 貴事業所では、どのような環境活動に取り組んでいますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~4 の中から 1つだけ ○で囲んでください。

項 目	既に取り組んでいる	取組を検討中	取り組む予定はない	当社には該当しない
記入例 ⇒	①	2	3	4
① 大気汚染防止（設備等の設置など）	1	2	3	4
② 排水対策の実施	1	2	3	4
③ 防音対策の実施（低騒音型機器の導入など）	1	2	3	4
④ 悪臭防止対策の実施	1	2	3	4
⑤ 有害物質の使用削減	1	2	3	4
⑥ 事業所敷地内や周辺の自然環境の保全・再生	1	2	3	4
⑦ 温室効果ガス排出量の把握・抑制	1	2	3	4
⑧ 特定フロンの使用削減	1	2	3	4
⑨ 電気やガス使用量の削減など省エネルギーの実践	1	2	3	4
⑩ 省エネルギー診断等の受診	1	2	3	4
⑪ 水の有効利用（雨水利用等）	1	2	3	4
⑫ エコ・ドライブの実践	1	2	3	4
⑬ 共同輸配送等の物流の合理化	1	2	3	4
⑭ 廃棄物の減量化や有効利用、再利用	1	2	3	4
⑮ 使用済み製品や容器等の回収	1	2	3	4
⑯ 自社製品のリサイクル	1	2	3	4
⑰ 環境にやさしい商品の開発	1	2	3	4
⑱ ISO14001 やエコアクション 21 等の EMS（環境マネジメントシステム）の導入	1	2	3	4
⑲ 社員に対する環境教育の実施	1	2	3	4
⑳ 環境情報の開示（CSR レポート等）	1	2	3	4

問 6-2 このほか、貴事業所が取り組まれている環境活動がありましたら、ご記入ください。

◆気候変動について、お伺いします◆

問7 地球温暖化防止につながる機器や設備を導入していますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1～4の中から**1つだけ**○で囲んでください。

項 目	導入済み	導入検討中 (予定含む)	導入予定は ないが、 関心はある	導入予定は ない
記入例 ⇒	①	2	3	4
① LEDなどの高効率照明	1	2	3	4
② 省エネ性能の高いエアコン、モニター、PCなどの導入	1	2	3	4
③ 高効率ボイラー、モーターなどの動力機	1	2	3	4
④ ヒートポンプ、潜熱回収、ガスエンジンなどの高効率空調機	1	2	3	4
⑤ 冷水・冷却水ポンプ、空調機などのインバーター制御	1	2	3	4
⑥ コージェネレーションシステム	1	2	3	4
⑦ 建築物の省エネ性能の向上	1	2	3	4
⑧ 高効率な自家発電設備	1	2	3	4
⑨ BEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）※1	1	2	3	4
⑩ PHV / PHEV（プラグイン・ハイブリッド・カー）※2	1	2	3	4
⑪ EV（電気自動車）	1	2	3	4
⑫ 太陽光発電システム	1	2	3	4
⑬ 蓄電池システム	1	2	3	4
⑭ その他（ ）	1	2	3	4

※1 BEMS:「ビルエネルギーマネジメントシステム」の略で、建物全体のエネルギー設備を統合的に監視し、自動制御することにより、省エネルギー化や運用の最適化を行う管理システム。

※2 PHV / PHEV: 搭載したバッテリー（蓄電池）に外部から給電できるハイブリッド車。

日本では、「2050年までのカーボンニュートラル」を目指すとともに、地球温暖化対策を新たな成長戦略として位置づけ、取組を加速することとしています。事業所では**脱炭素経営**への転換が求められています。

脱炭素経営とは?

脱炭素経営とは、事業所から排出される温室効果ガスを実質ゼロに近づけ、カーボンニュートラル※1を目指すこと。国内外において、事業者の格付けや投資家及び消費者からの信用・支持の基準としても注目されており、これらは大企業のみではなく、サプライチェーン※2全体として取り組むことが必要とされています。資金調達（融資、補助金等）でのメリットがあるほか、法改正に伴い対応が迫られることが予想されます。持続的な企業経営と競争力確保のためにも、今後取り組むべきものとして求められています。

環境省のホームページに、脱炭素経営推進のための各種ガイドブックが掲載されています。

<http://www.env.go.jp/earth/datsutansokeiei.html>

※1 人為的に排出されるCO₂（二酸化炭素）と森林などで吸収されるCO₂（二酸化炭素）が同じ量となること。

※2 商品や製品が消費者の手元に届くまでの材料調達・製造・販売・消費などの一連の流れのこと。

問8 以下は、設備導入が伴わない脱炭素経営の取組です。貴事業所で取り組んでいること、また**関心があること**はありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~4 の中から **1つだけ**○で囲んでください。

項 目	既に 取り組ん でいる	取組を 検討中	予定はな いが、関心 はある	取り組む 予定はな い
記入例 ⇒	①	2	3	4
① 再生可能エネルギーなどを電源としたCO ₂ 排出係数 ^{※1} の低い電力会社の利用	1	2	3	4
② カーボンオフセット ^{※2} の利用（オフセット・クレジットの購入）	1	2	3	4
③ 脱炭素経営に向けた計画や方針の作成	1	2	3	4
④ SBT ^{※3} の認定取得、RE100 ^{※4} 、TCFD ^{※5} などへの参画	1	2	3	4
⑤ その他（ ）	1	2	3	4

- ※1 電気の供給 1kWh あたりどれだけの CO₂(二酸化炭素)を排出したかを推し測る指標。排出係数の数字が小さい(低い)ほど、CO₂(二酸化炭素)排出量が少なくなる。
- ※2 事業等から排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせること。
- ※3 パリ協定に基づき、産業革命時期比の気温上昇を「2℃未満」にするために、企業が気候科学(IPCC)に基づく削減シナリオと整合した削減目標を設定すること。
- ※4 Renewable Energy 100%のことで、企業活動に必要な電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が加盟するイニシアチブ。
- ※5 気候関連財務情報開示タスクフォースのことで、企業等に対し、気候変動関連リスク、及び機会に関する4つの項目(ガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標)について開示することを推奨している。

問9 気候変動対策について、**市が重点的に進めるべき施策**は、どれだと思いますか。あてはまる番号を **3つまで**○で囲んでください。

1. 地球温暖化や気候変動に関する情報提供・PRの充実
2. 太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する助成等の充実
3. 温暖化対策に取り組んでいる事業所の優遇措置(補助金等)の充実
4. 市施設や市内への太陽光など再生可能エネルギーの積極的な活用
5. 再生可能エネルギーを面的[※]・効率的に利用できるまちづくり
6. 電気自動車(EV)充電設備の整備
7. 市民・事業者・市の連携による温室効果ガス排出抑制や削減のための仕組みづくり
8. 地球温暖化対策に積極的に取り組んでいる市民団体を応援する制度
9. 再エネ事業者や地域電力会社の活用
10. その他（ ）

※エネルギーの面的利用:個々ではなく複数の施設・建物への効率的なエネルギーの供給等を行うこと。

◆食品ロス、プラスチックごみについて、お伺いします◆

問 10 令和元年 10 月 1 日に「食品ロス削減推進法」が施行されました。食品ロス（フードロス）対策として、貴事業所で取り組んでいることはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

項 目	既に取り組んでいる	取組を検討中	取り組む予定はない	当社には該当しない
記入例 ⇒	①	2	3	4
① バラ売り・少量パックなどの販売をしている	1	2	3	4
② 行事の時期は予約販売をしている	1	2	3	4
③ 賞味期限間近の商品の値引きや還元をしている	1	2	3	4
④ 商品の納品期限を緩和している	1	2	3	4
⑤ 提供する料理を小盛に選択できるようにしている	1	2	3	4
⑥ 食べきれなかった料理の持ち帰りをできるようにしている	1	2	3	4
⑦ 食品ロスの量を把握している	1	2	3	4
⑧ フードバンクに寄贈している	1	2	3	4
⑨ その他（ ）	1	2	3	4

問 11 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が令和 4 年 4 月 1 日に施行されました。プラスチックごみ対策として、貴事業所で取り組んでいることはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

項 目	既に取り組んでいる	取組を検討中	取り組む予定はない	当社には該当しない
記入例 ⇒	①	2	3	4
① マイバッグの利用推奨	1	2	3	4
② マイボトル（タンブラー）の利用推奨	1	2	3	4
③ ワンウェイプラスチック製品（フォーク、ストロー等）の提供廃止、代替品への転換	1	2	3	4
④ 製品・容器へのプラスチック使用量の削減	1	2	3	4
⑤ 製品・容器への再生プラスチックやバイオプラスチックの使用	1	2	3	4
⑥ 製品や商品の包装の簡素化	1	2	3	4
⑦ プラスチック製品用回収 BOX の設置	1	2	3	4
⑧ 廃プラスチックをリサイクル業者を通じて再生化	1	2	3	4
⑨ その他（ ）	1	2	3	4

◆市の支援や協力・連携について、お伺いします◆

問 12 貴事業所において、環境活動に取り組んだことで得られた効果は何ですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 企業イメージ・信用性の向上
2. 業務の効率化によるコスト削減
3. 提供している製品・サービスの品質向上
4. 提供している製品・サービスの売上向上
5. 従業員の環境意識の向上
6. 活動に取り組んでいるが、特に効果はない
7. 特に取り組んでいない
8. その他 ()

問 13 貴事業所において、環境活動を進めるにあたり、どのようなことが課題であるとお考えですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 消費者・利用者の環境に対する理解向上
2. 取引先の環境に対する理解向上
3. 従業員の環境に対する理解向上
4. 環境に関する情報の不足
5. コスト的な問題
6. 人材不足
7. 環境活動推進のための組織体制の整備
8. 企業間の協力・連携体制
9. 課題は特になし
10. その他 ()

問 14 貴事業所が、環境活動を進めるために、市が実施すると望ましいサポート等がありますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

1. 市のホームページや広報等での環境情報提供の充実
2. 事業所の環境活動に関する講演会やセミナーの開催
3. 事業所の環境活動推進に対しての融資や助成制度
4. 環境活動を実施している事業所への優遇措置（補助金等）
5. 事業所の環境活動をPRする場の提供（イベントやキャンペーンの実施）
6. 事業所間での情報交換・連携体制を整備する場の提供
7. 産・学・民・官の協働による環境活動推進体制の整備
8. 事業所が行うべき環境配慮指針（ガイドライン）の作成
9. 特になし
10. その他 ()

◆最後に、環境に関わるご意見等があれば、ご自由にお書き下さい。◆

アンケートの質問は以上となります。
ご協力いただき、ありがとうございました。
お手数ですが、この調査票を返信用封筒に入れ、
令和5年1月13日（金）までにご投函ください。

今後、市では新たな環境基本計画の策定を行うにあたり、より多くの方から広くご意見を伺う機会を設けたいと考えています。ご関心のある事業所様は、**お差支えない範囲**で下記にご連絡先をご記入ください。市よりご連絡させて頂く場合がございます。

① 貴事業所名：

② ご担当部署・ご担当者：

③ 所在地：

④ ご連絡先 (e-mail)：